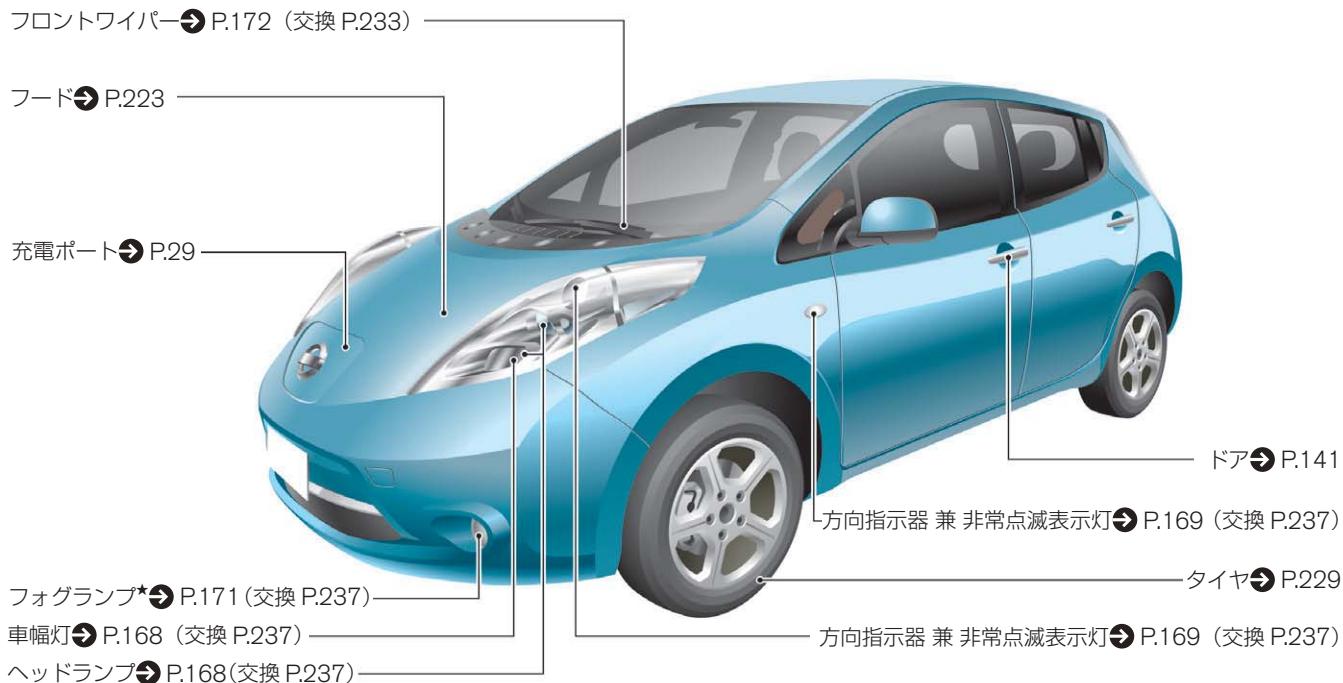


■ 外観フロント .2	■ 外観リヤ .3	■ 車室内 .4	イラスト目次	P.2
■ 運転席まわり .5	■ インストルメントパネル① .6	■ インストルメントパネル② .7		
■ 電気自動車の特徴 .10	■ 安全にご利用いただくために .11	■ EV の上手な運転のしかた .13	リーフとは	P.9
■ 便利なサポート機能 .15				
■ 充電する前に .22	■ 充電する .35		充電のしかた	P.21
■ SRS エアバッグについて .50	■ お子さまの安全のために .60	■ 運転する前に .68	運転をするときは	P.49
■ 始動する .80	■ 走行する .82			
■ メーターの見かた .100	■ 警告灯・表示灯 .111	■ 車両情報ディスプレイの見かた .121	メーター	P.99
■ ドアの施錠と解錠 .136	■ ウィンドーの開閉 .148	■ エアコンの使いかた .150	各部の操作	P.135
■ スイッチの操作 .168	■ 室内装備 .177			
■ タイヤのパンク .190	■ ドアが開かない .196	■ 始動しない .197	トラブルが	
■ バッテリー残量がなくなったとき .201	■ 充電ができない .202	■ 各種警告機能について .206	おきたときは	
■ くもりが取れない .212	■ 動かないとき .214	■ 故障したとき .217		P.189
■ 点検・整備 .220	■ 清掃・お手入れ .246	■ サービスデータ .252	メンテナンス	P.219

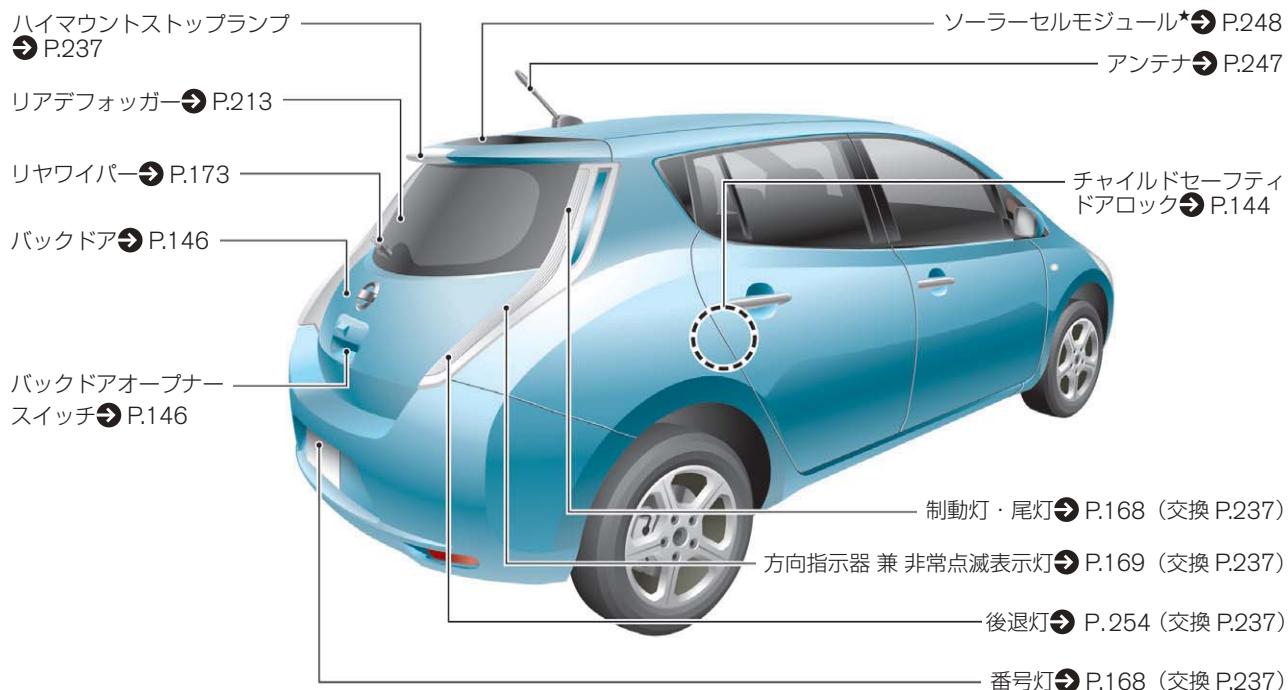
外観フロント

車両前方から見た外観の名称と配置図です。



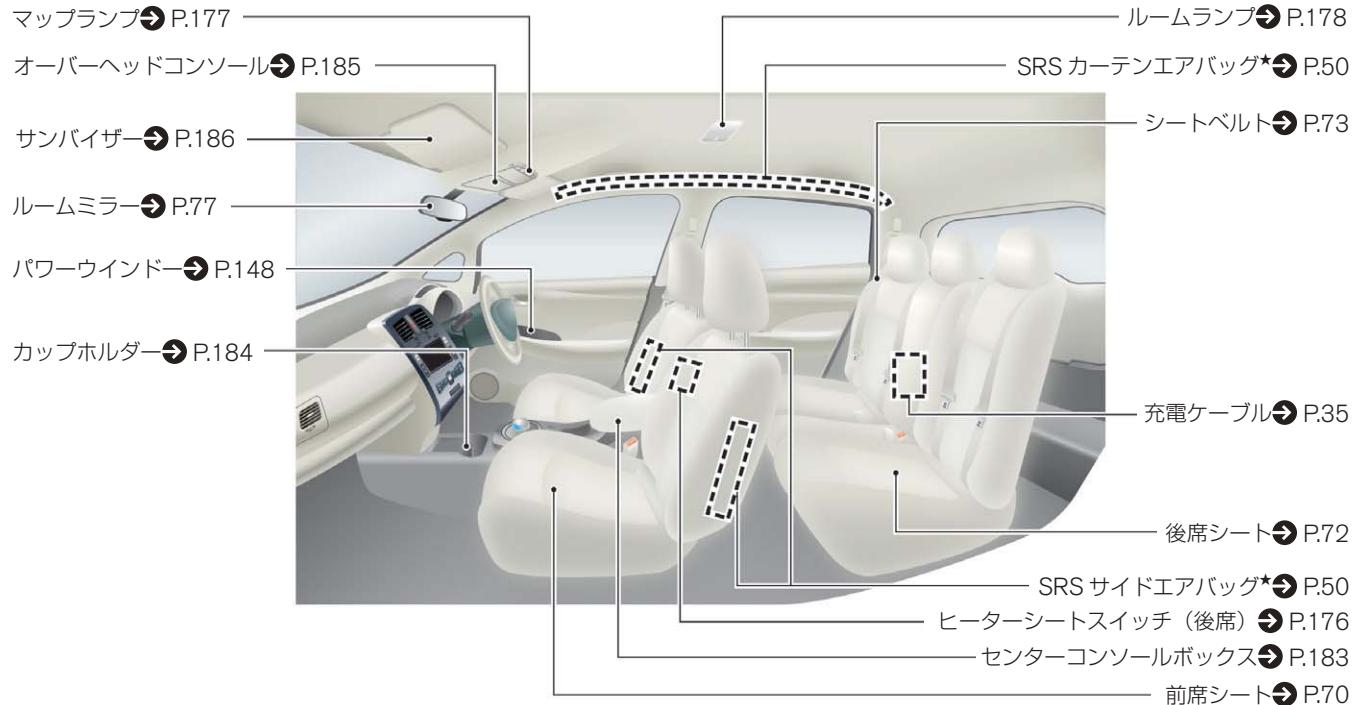
外観リヤ

車両後方から見た外観の名称と配置図です。



車室内

車室内の名称と配置図です。



運転席まわり

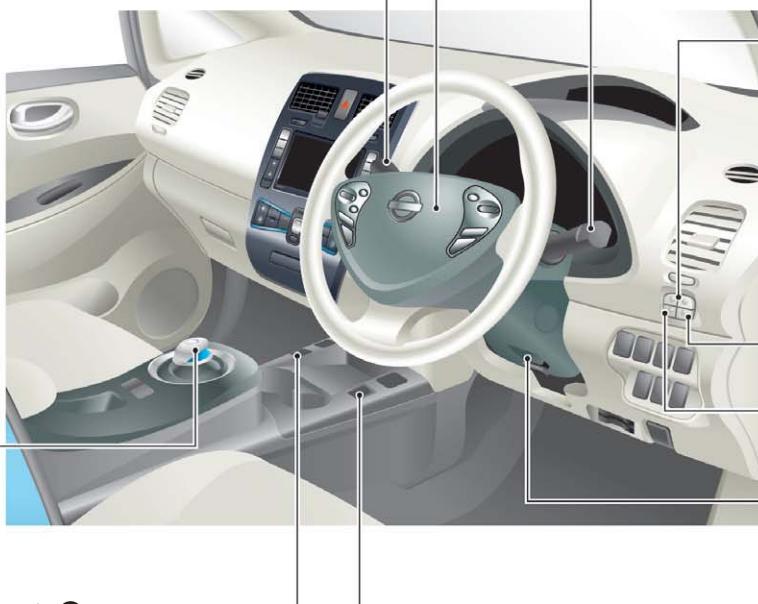
運転席まわりの名称と配置図です。

運転席 SRS エアバッグ  P.50

ワイパー・ウォッシャースイッチ  P.172

セレクトレバー  P.82

ヒーターシートスイッチ（前席）  P.176



ライトスイッチ  P.168

方向指示器スイッチ  P.169

ドライブコンピューター
スイッチ  P.128

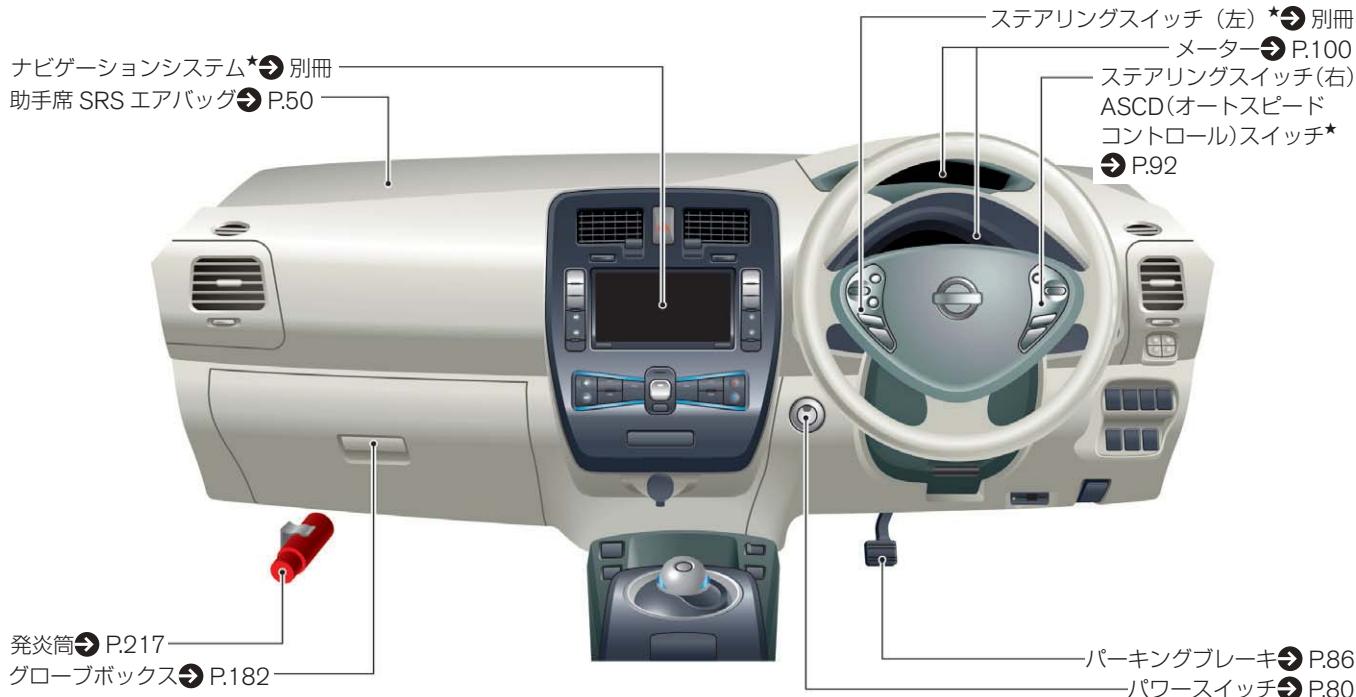
イルミネーション
コントロールスイッチ
 P.109

ツイントリップメーター用
TRIP/RESET スイッチ
 P.108

ハンドル位置調節レバー
 P.76

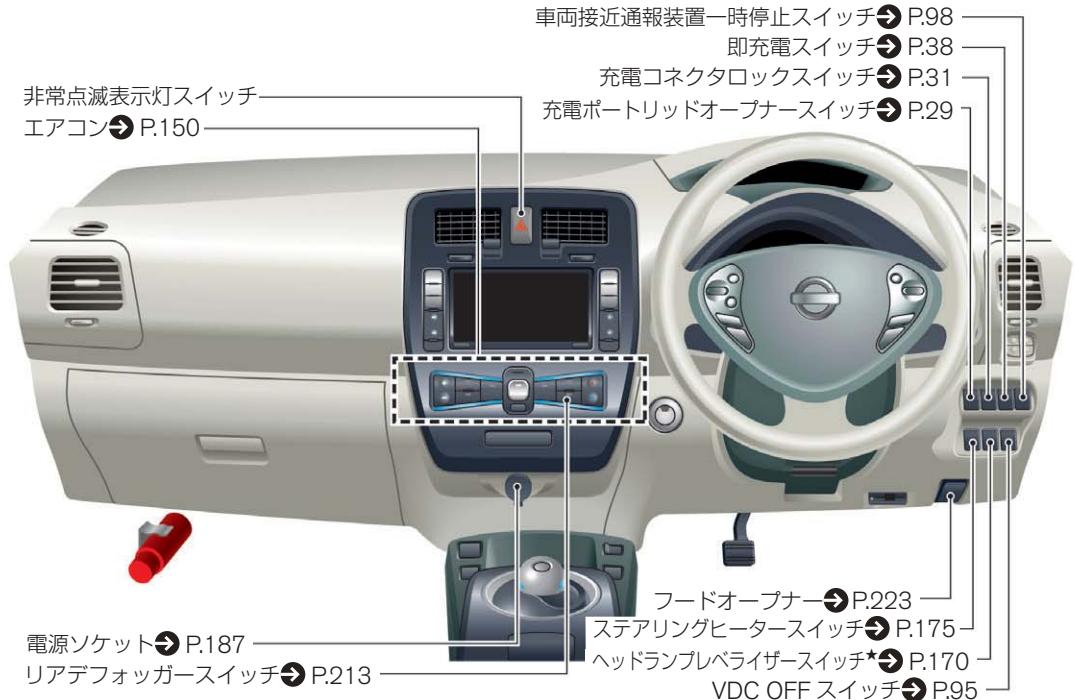
インストルメントパネル①

インストルメントパネルの名称と配置図です。



インストルメントパネル②

インストルメントパネルの名称と配置図です。



MEMO

リーフとは

電気自動車の特徴

電気自動車ってどんな車？

P.10

安全にご利用いただくために

電気自動車の取り扱いに関する注意事項

P.11

電気自動車が事故にあったときの注意事項

P.12

EV の上手な運転のしかた

航続可能距離を延ばす運転

P.13

バッテリーを長持ちさせるには

P.14

便利なサポート機能

タイマー機能

P.15

ナビゲーションシステムのサポート機能
(ナビゲーションシステム付車)

P.16

電気自動車ってどんな車？

電気自動車の特徴

電気自動車（EV）は、従来のエンジン付車と比較して、いくつかの特徴があります。

リチウムイオンバッテリー

EVはガソリンを使用せず、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力で走行します。

そのため、給油する代わりにリチウムイオンバッテリーを充電します。

CO₂（二酸化炭素）や NO_x（窒素酸化物）といった排気ガスを一切出さないため、環境に優しい車両です。

モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤへ動力を伝えます。

回生ブレーキ（減速時、制動時）

アクセルペダルから足を離しているときや、ブレーキペダルを踏んでいるとき、タイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換することで制動力を発生させ、減速しながらリチウムイオンバッテリーを充電します。

車両接近通報装置

EVはエンジンの代わりにモーターで走行するため、エンジン付車に比べて、音と振動が少なくとても静かです。

周囲の人に車両の接近を知らせるために車両接近通報装置を装備しています。

知識

- リチウムイオンバッテリーは、使用を繰り返すと徐々に容量が低下します。これはバッテリー本来の特性であり、家電製品と同様に異常ではありません。使用状況により異なりますが、新車時の容量を100%とする5年が経過したときに約80%になると予測しています。
- 次の場合は回生ブレーキが作動せず、摩擦ブレーキのみで制動力を発生させます。
 - EVシステムまたはブレーキシステムに異常があるとき
 - ABSまたはVDCが作動しているとき
- 回生ブレーキが作動しているときは、ブレーキペダルの踏みごたえが変化することがありますが、異常ではありません。

EVを適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- EVシステムは、最大で約400Vの直流高電圧が使用されるため、走行用モーターの作動中や停止直後に高温になることがあります。車両に貼られているラベルの記載事項に従い、高電圧と高温に注意してください。
- 感電を防ぐため、高電圧配線やコネクター、高電圧部品（インバーターユニットやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。
- リチウムイオンバッテリーは、不適切な方法で処分すると環境汚染につながります。廃車やリチウムイオンバッテリーの処分については、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの損傷を防止するため、次のことをお守りください。
 - 外気温が49℃以上の場所に24時間以上放置しない
 - 外気温が-25℃未満の場所に7日間以上放置しない
 - リチウムイオンバッテリー残量計の目盛りが0(ゼロ)か、ほぼ0(ゼロ)の状態で14日間以上放置しない
- 車両を長期間使用しないときは、3ヶ月に1回ロングライフモード(☞P.25)で充電してください。放置するとリチウムイオンバッテリーを損傷するおそれがあります。

電気自動車が事故にあったときの注意事項

安全にご利用いただくために

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出している場合は、絶対に触れないでください。
- リチウムイオンバッテリーに漏れや損傷が見られる場合は、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。火災が発生するおそれがあります。
- 車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れないでください。万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 走行中に床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検してください。床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れず速やかに日産販売会社にご相談ください。
- リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、できるだけ早く車両から離れてください。消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BC または C タイプ）を使用してください。また、消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消化作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- けん引が必要なときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を損傷するおそれがあります。
- 車両が損傷し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れ日産販売会社にご連絡ください。連絡するときは、電気自動車であることを伝えてください。

次のようなことに気をつけると、1回の充電でより長い距離を走ることができます。

お出かけ前のポイント

- 充電ケーブルが接続されている間にタイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★で車室内を快適な温度にしておく。走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えることができます。
- 上り坂は、航続可能距離に大きく影響するため、目的地までの走行ルートを確認し、上り坂の少ないルートを選択する。ナビゲーションシステム付車は、目的地を設定するときに消費電力の少ないルートを設定できます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 不要な荷物は積んだままにせず、必要な荷物だけを載せる。
- タイヤの空気圧が低下していないことを確認する。

運転するときのポイント

- 急発進、急加速をせず、なめらかに発進、加速する。
- 車間距離に余裕を持ち、急ブレーキを極力避ける。
- 高速道路などでスピードを出しすぎないようにする。
- エアコンの温度設定を控えめにし、必要のないときはエアコンをOFFにするよう心がける。エアコンを送風で使うと効果的です。
- 寒いときは、エアコンの代わりにシートヒーター、ステアリングヒーターを使用する。エアコンに比べて消費電力を抑えることができます。
- ECO モード(☞P.91)をONにして走行する。加速時やエアコン作動時の消費電力を抑えたり、回生ブレーキを強くして回収する電力を増やすことができます。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

知識

- 航続可能距離が大幅に減少する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
 - 走行するルートの地形に上り坂が多い
 - 高速道路など、速度の速い走行を続けている
 - 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている
 - 急速充電、高速走行の繰り返しだけでリチウムイオンバッテリーが高温になっている
 - 荷物を積みすぎている
 - 経年使用により、リチウムイオンバッテリーの容量自体が低下している

バッテリーを長持ちさせるには

EV の上手な運転のしかた

次のようなことに気をつけるとリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

充電するときのポイント

- ・長距離走行をしないときは、ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。
- ・満充電に近い状態で繰り返し充電を行わない。
- ・できるだけ急速充電を控え、普通充電で充電する。
- ・急速充電を頻繁に行うときは、ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。

知識

- ・リチウムイオンバッテリーは、時間の経過、充電と走行を繰り返すことで、徐々に蓄電能力が低下します。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、異常ではありません。

運転するときのポイント

- ・高速道路などでスピードを出しすぎない。
- ・車間距離に余裕を持ち、急な加速や減速をしない。
- ・不要な荷物を積んだままにしない。

そのほかのポイント

- ・外気温が極端に高い、または低い場所で車両を保管しない。
- ・充電量が極端に低いまま放置しない。
- ・車両を長期間使用しないときは、3ヶ月に1回ロングライフモード（充電量 80%）で充電する。

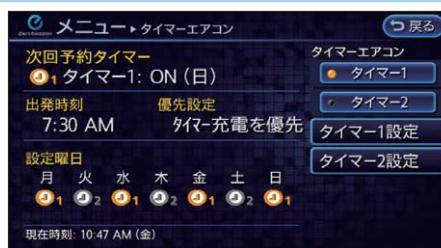
■ タイマー充電

普通充電にはタイマー機能があり、充電の開始・停止時刻を予約できます。ナビゲーション画面で充電を行う時間帯を予約しておくことにより、料金の安い夜間電力時間帯に充電ができます。



■ タイマーエアコン

エアコンにはタイマー機能があります。ナビゲーション画面で出発時刻を予約しておくことにより、出発前に冷房または暖房を作動させて車室内を快適な温度にします。



知識

- ナビゲーションシステム無車は、メーターでタイマー充電、タイマーエアコンを設定できます。

ナビゲーションシステムのサポート機能（ナビゲーションシステム付車）

便利なサポート機能

初めて電気自動車を運転される方やドライブ計画を立てるのに便利なサポート機能が装備されています。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

地図画面で確認する

● 到達予想エリア

現在のリチウムイオンバッテリー残量でどのくらいの範囲が走行できるのかを地図上で確認できます。



● 充電スポット検索

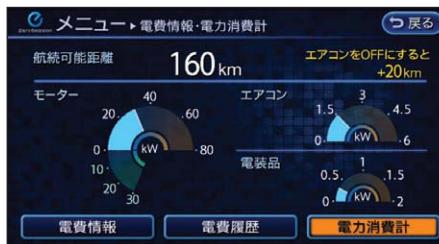
地図上に急速充電スポットアイコンおよび普通充電スポットアイコンを表示できます。アイコンをタッチすると、目的地に設定したり、充電スポット情報を見たりすることができます。



走行中に表示する

● 電力消費表示

モーター、エアコン、電装品の消費電力を表示します。また、エアコンのON・OFFによる航続可能距離の増減も確認できます。



● バッテリー残量低下通知

現在の航続可能距離では目的地に到達できない場合やメーター内のバッテリー残量警告灯  が点灯した場合、ナビゲーション画面にバッテリー残量低下通知を表示します。



ナビゲーションシステムのサポート機能（ナビゲーションシステム付車） 便利なサポート機能

お持ちのパソコンや携帯電話を使用して、充電状況や充電プラグの挿し忘れを通知したり、充電やエアコンを離れた場所からリモート操作できます。詳しい操作方法については、“N-Link OWNERS サイト(<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>)”をご覧ください。

充電情報を通知する*

- バッテリー状態チェック

離れた場所からでも現在のリチウムイオンバッテリーの状態を確認できます。

- プラグ挿し忘れ通知

よく充電を行う場所を登録しておくと、充電をするときにプラグ挿し忘れがあった場合、メールで通知します。

- 充電停止通知

充電が停止すると（リモート充電の場合は開始も含む）メールで通知します。



リモート機能★

- リモート充電

離れた場所からすぐに充電開始を操作できます。



- 乗る前エアコン（リモート）

タイマーエアコンを設定していなくても、車に乗る前にエアコンの作動開始を操作できます。

MEMO

充電する前に

充電方法	P.22
充電量の確認	P.24
ロングライフモード	P.25
充電に関する注意事項	P.27
充電ポート	P.29

充電する

充電ケーブル（コントロールボックス付）	P.35
充電インジケーター	P.36
普通充電	P.38
タイマー充電	P.41
急速充電	P.45

充電方法

充電する前に

この車両は、ガソリンスタンドで給油する代わりに、自宅などでバッテリーを充電して走行します。充電方法には普通充電と急速充電の2種類があります。

普通充電

主に自宅の電源（コンセント）に充電ケーブルを接続して充電する日常的な充電を「普通充電」といいます。

普通充電には、次の3種類の充電方法があります。

● 即充電（☞ P.38）

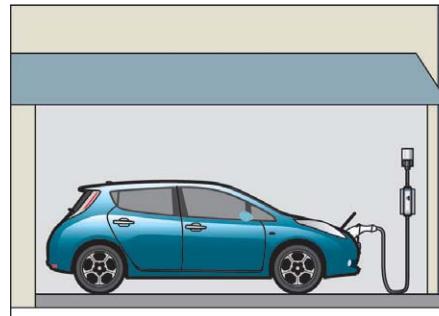
充電ケーブルを接続するだけで、すぐに充電を開始できます。

● リモート充電*

携帯電話やパソコンを使用して離れた場所から充電を開始することができます。

● タイマー充電（☞ P.41）

充電を行う時間帯をあらかじめ予約しておくことができます。



8 時間*

※バッテリー残量警告灯が点灯した時点から、満充電までのおおよその目安です。（低温時、高温時は充電時間が2時間程度長くなることがあります。）

知識

- 普通充電にかかる時間は、リチウムイオンバッテリーの温度、充電状態、経年数、接続した電源の状態などにより長くなることがあります。
- AC100V用充電ケーブルを使用すれば、AC100V電源でも充電は可能ですが、充電時間が短く実用的なAC200V用充電ケーブルの使用をおすすめします。AC100V用充電ケーブルについては、日産販売会社にご相談ください。
- リモート充電*の詳細については、“N-Link OWNERS サイト (<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>)”をご確認ください。

急速充電

外出先などに設置された急速充電器を使い、短時間で行うことのできる充電を「急速充電」といいます。

この車両は、CHAdeMO^{※1}（チャデモ）仕様の急速充電器を使用してください。

急速充電…P.45

※ 1 CHAdeMO とは、日本の電気自動車用急速充電規格です。



※ 2: バッテリー残量警告灯が点灯した時点から、充電量 80% までのおおよその目安です。（低温時、高温時は充電時間が大幅に長くなることがあります。）

急速充電にかかる時間について…P.48

警告

- 急速充電器は、必ずリーフに対応したものを使用してください。対応していない急速充電器を使用すると、火災や故障などのおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電は、必ず急速充電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または急速充電器を破損するおそれがあります。

知識

- 急速充電器の利用は、基本的に有料です。料金については、急速充電器が設置されている店舗または急速充電器の管理者にお問い合わせください。

充電量の確認のしかたには次の3種類があります。

メーターで確認する

充電中に電源ポジションをONにすると、リチウムイオンバッテリー残量計で確認できます。

☞ リチウムイオンバッテリー残量計
…P.104



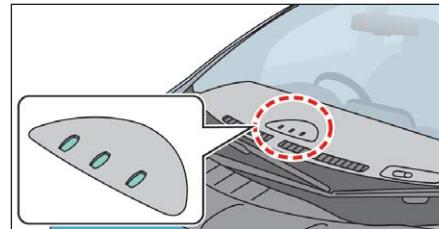
知識

- 充電中にパワースイッチを押し、電源ポジションをONに切り替えるても、充電は継続されます。

充電インジケーターで確認する

充電中にインストルメントパネル上部の充電インジケーターで、おおよその充電量が確認できます

☞ 充電インジケーター…P.36



パソコンや携帯電話で確認する*

離れた場所からでも、お手持ちのパソコンや携帯電話から充電量の確認ができます。



知識

- 詳細は、“N-Link OWNERS サイト (<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>)”をご確認ください。

充電量を 80%に制限し、リチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

ロングライフモードの設定のしかた（ナビゲーションシステム付車）

1 Zero Emission（ゼロエミッション）ボタンを押します。



2 設定をタッチします。



3 ロングライフ充電（80%充電）をタッチします。



4 ロングライフモードが ON になると、表示灯が点灯します。



知識

• タイマー充電のロングライフモードの設定は、タイマー充電の予約画面で行います。

タイマー充電…P.41

• ロングライフモードを ON にして即充電やリモート充電★を行っているとき、充電量 100%に設定したタイマー充電が同時に作動すると、タイマー充電が優先され充電量は 100%になります。

ロングライフモードの設定のしかた（ナビゲーションシステム無車）

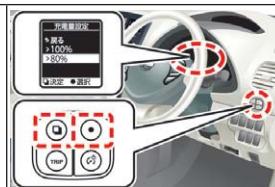
- 1 メーターのドライブコンピューターで決定スイッチ  を数回押し、[設定] 画面を表示します。
② ドライブコンピューター…P.128



- 2 選択スイッチ  を押して [充電量設定] を選択し、決定スイッチ  で決定します。



- 3 選択スイッチ  を押して [80%] を選択し、決定スイッチ  で決定します。



- 4 次回の充電から、充電量が 80%に設定されます。

知識

- 充電量を 100%にするときは、もう一度同じ手順を行い、手順 3 で [100%] を選択してください。

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は次のことをお守りください。
 - 機器に及ぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行う。
 - 充電中は、車室内（ラゲッジルームを含む）に入り込まない。
 - 不慣れな方だけで充電作業を行ったり、充電ケーブルを幼児の手の届くところで使わないでください。
 - 充電ポート・充電コネクタ・プラグ・コンセントの金属製接点に触れないでください。
- 异臭や煙など、充電中の異常に気づいたときは、ただちに充電を中止してください。
- 雷のときは、充電中でも車両および充電機器には触らないでください。落雷による感電などのおそれがあります。
- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 延長ケーブルや変換アダプターなどは絶対に使用しないでください。
- 大雨などで車両やコンセント周辺が浸水するおそれがあるときは、充電を行わないでください。

⚠ 注意

- 充電中は、モータールーム内の冷却用ファンが突然回転し始める場合があります。手足や衣類・アクセサリー類などが接触したり、巻き込まれたりしないよう注意してください。
- 充電コネクタが根元まで差されていない場合は走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- 充電機器に強い衝撃を与えないでください。
- 充電ケーブルは、必ず日産純正品を使用してください。
- 充電ポートが凍結したときは、解凍してから充電コネクタの接続または取り外しを行ってください。
- 充電ケーブルは、周囲の温度が85℃以上になる場所では保管・使用しないでください。
- 充電機器は、熱器具（ストーブなど）に近づけないでください。
- 充電終了後は、充電ポートのキャップを必ず閉めてください。キャップを閉めずに充電ポートリッドを閉めると、水やゴミが充電ポートに入り故障の原因となります。
- リチウムイオンバッテリーを充電しながら12Vバッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。



知識

- 充電ケーブルを無理に引っ張る・ねじる・折り曲げる・踏みつける・引きするなど、負担をかけないでください。
- 充電前に、充電ポート・充電コネクタ・プラグ部分に水分・サビ・腐食・異物・損傷がないことを確認してください。異物や損傷がある場合は充電を行わず、日産販売会社にご相談ください。
- 充電ポートに充電コネクタ以外の物を差し込まないでください。充電ポートが破損するおそれがあります。
- 充電ポートまたは充電機器の分解・修理・改造は絶対にしないでください。
- コントロールボックスを水につけないでください。
- 車両にボディイカバーをかけたまま充電しないでください。（リーフ純正ボディイカバーを除く）
- 発電機を使用した充電は絶対にしないでください。

充電するときは、車両前部の充電ポートに充電ケーブルを接続します。
充電ポートにはロック機構があり、いたずら防止効果が期待できます。

充電ポートの各部の名称

①充電ポートリッド

充電ポート全体のカバーです。

②充電ポートキャップ

それぞれの充電ポートのカバーです。

③急速充電ポート（黒色）

急速充電のときに使用します。

④普通充電ポート（オレンジ色）

普通充電のときに使用します。

⑤充電コネクタロック解除スイッチ (インテリジェントキー内)

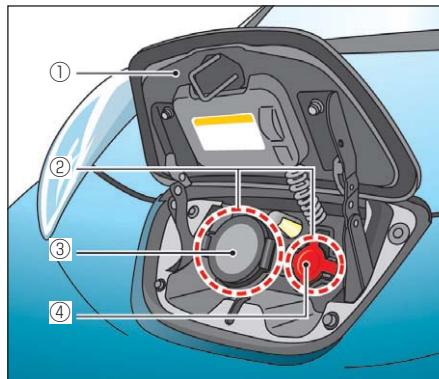
充電ポートリッドを開けるときに1秒以上押します。

⑥充電ポートリッドオープナースイッチ

充電ポートリッドを開けるときに押します。

⑦充電コネクタロックスイッチ

充電コネクタのロック方法を切り替えるときに押します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備



アドバイス

- 充電ポート周辺の雪や泥、水分などを除去するときは、充電ポートキャップを閉めた状態で行ってください。
- 充電ポートリッド周辺が凍結して開閉できないときは、無理に動かさずはせず、必ず解凍してから開閉してください。
- 充電ポートには排水用の穴があります。この穴が詰まるなどして充電ポート内に水がたまつたときは、充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。
- 充電ポートリッドオープナースイッチおよび充電コネクタロック解除スイッチを連続で操作すると、充電ポートが開かなくなることがあります。故障ではありません。しばらくしてから再度操作してください。

- 1** 充電ポートを開けるときは、運転席の右下にある充電ポートリッドオーブナースイッチを押します。
(充電インジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。)



- 2** 充電ポートリッドの先端が少し浮きあがります。すき間に手を入れ、ロックするまで開きます。



- 3** 使用する充電ポートのキャップに付いているツメを押して充電ポートキャップを開きます。



- 4** 閉めるときは、充電ポートキャップを確実に閉めながら、充電ポートリッドを手で軽く押して閉めます。



アドバイス

- 走行する前に、充電ポートリッドが完全に閉まり、ロックされていることを確認してください。ロックされていないと、走行中にリッドが突然開いて車両を破損するおそれがあります。
- 充電ポートリッドを閉めるときは、充電ポートキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

知識

- 充電ポートは、インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチを1秒以上押しても開けることができます。

普通充電をしている間、充電コネクタと車両の接続をロックし、充電コネクタが車両から抜けなくなります。

充電コネクタロックのしかた

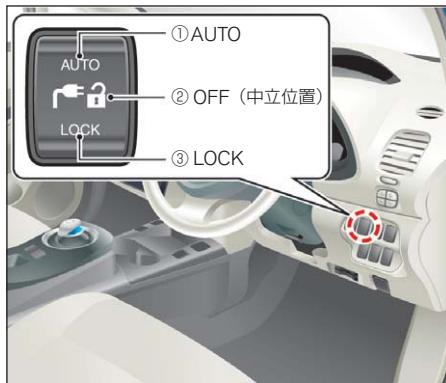
充電コネクタロックスイッチを LOCK または AUTO にしておくと、充電ケーブル接続中、状況に応じて自動的にロックが作動します。

■充電コネクタロックスイッチについて
電源ポジションが ON のとき、充電コネクタロックの方法を切り替えます。

① AUTO

スイッチの上側を押します。
(スイッチの [AUTO] が点灯)

充電中のみロックし、充電が終わると自動的にロックが解除されます。



② OFF

ロックしないときは、スイッチを中立位置にします。
(スイッチの表示灯が消灯)

③ LOCK

スイッチの下側を押します。
(スイッチの [LOCK] が点灯)
普通充電コネクタ接続中は、常にロックします。

知識

- 公共の充電ステーションに設置されている普通充電機の場合、充電コネクタの形状によりロックできない場合があります。
- 充電コネクタロックは、シフトポジションが **P** のときに作動します。
- 充電コネクタロックスイッチ部の表示灯は、電源ポジションを OFF にしてしばらくすると消灯しますが、消灯後に充電ケーブルを接続しても、消灯前のモードで作動します。
- 充電コネクタロックは、充電コネクタが正しく接続されていないと作動しません。
- 充電コネクタロックスイッチが AUTO のときは、停電などで電源が遮断されると、約 5 分後にロックが解除されます。電源が復旧した場合は、復旧と同時に再度ロックが作動します。
- 充電コネクタロックは盗難防止を保障するものではありません。

■充電コネクタロックの各スイッチ位置の使い分けかた

充電コネクタロックスイッチは、状況に応じて次のように使い分けます。

● LOCK

いたずら防止のため、充電中以外の時間帯でも常時ロックしたいときに使用します。

例) 道路に面した自宅の駐車場、外出先で車載の充電ケーブルを使用して充電する場合など

● AUTO

次に順番待ちをしている車両がいるときなどに使用します。充電が終了するとロックが解除されるため、ご自身が車両から離れていても、次に順番待ちをしている車両の使用者が充電ケーブルを取り外すことができます。

例) 公共の充電ステーションなど

● OFF

ロック機能を使わないときに使用します。

例) 自宅のシャッター付ガレージ、公共の充電ステーションで充電コネクタのロックが禁止されているエリアなど

知識

- 公共の充電ステーションで LOCK を使用すると、充電が終了しても充電コネクタが抜けなくなるため、次に順番待ちをしている車両に迷惑がかかることがあります。公共の充電ステーションでの充電は、AUTO または OFF で行ってください。
- 急速充電は、充電コネクタロックスイッチの位置にかかわらず、充電中のみ充電コネクタを抜くことができません。

充電コネクタロックの解除のしかた

充電コネクタロックの解除方法には、次の2種類があります。

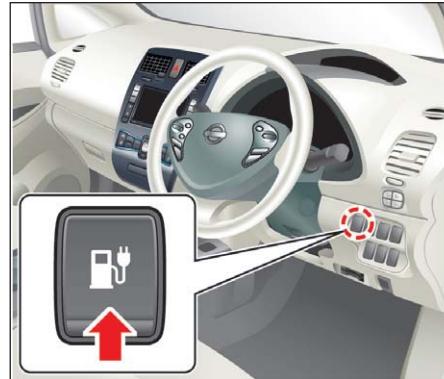
■インテリジェントキーによる解除

- インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチ①を1秒以上押すと、約30秒間ロックが解除されます。



■充電ポートリッドオーブナースイッチによる解除

- 充電リッドオーブナースイッチを押すと、約30秒間ロックが解除されます。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

知識

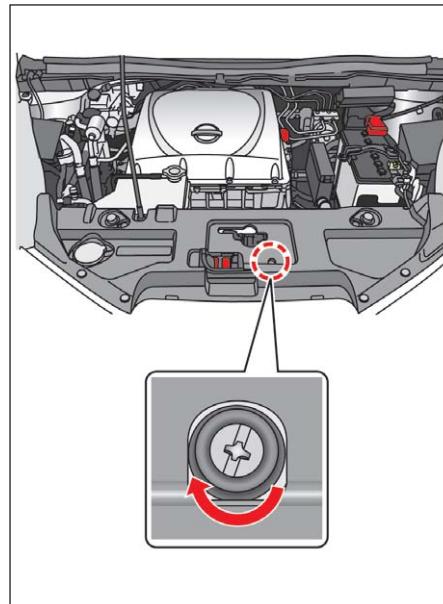
- ロックが解除されている約30秒間に充電コネクタを車両から取り外さなかった場合は、再度ロックされます。
- ロックを解除すると、充電インジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。

充電コネクタロックが解除できないとき

故障などにより充電コネクタロックが解除できなくなったときは、フードを開けて次の操作をしてください。

- ☞ フードの開閉…P.223
- ☞ 工具類の格納場所…P.220

- モータールーム手前側の穴にジャッキハンドルバーの先端またはプラスドライバ、マイナスドライバを差し込みます。
- ネジ部を矢印の方向に約45°回すと、ロックが解除されます。



アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは行わないでください。
- 故障の原因になるため、矢印と逆方向には回さないでください。

充電ケーブルの各部の名称

① コントロールボックス

表示灯で故障などを知らせます。

② プラグ

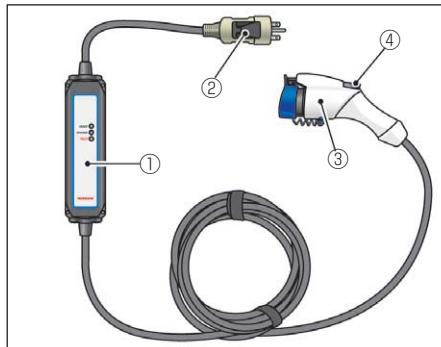
電源に接続します。

③ 充電コネクタ

車両の普通充電ポートに接続します。

④ リリーススイッチ

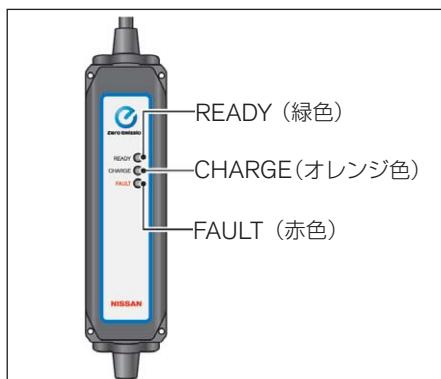
車両から充電コネクタを抜くときに押します。



コントロールボックスの表示灯について

充電ケーブルのコントロールボックスには、故障などを知らせる表示灯があります。

- 正常なときは、プラグを電源に接続すると、緑色のランプ (READY) が点灯します。(接続直後は一度すべてのランプが点灯し、すぐに消灯します。)
- 充電中は、緑色のランプ (READY) と同時にオレンジ色のランプ (CHARGE) が点灯します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

アドバイス

- 次のようなときは、すみやかに充電ケーブルの使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。

- プラグを電源に接続しても、表示灯が点灯しない
- 表示灯のいずれかのランプが点滅している
- 赤色のランプ (FAULT) が点灯している

- 充電ケーブルは、日産自動車の推奨する工事に準拠したアース設置工事が行われているコンセントを使用してください。

充電ケーブルは、コンセントに接続したときにアースの接続を自動的に確認しており、コンセント側のアースが正しく接続されていない場合、表示灯が点滅し充電が開始しません。

知識

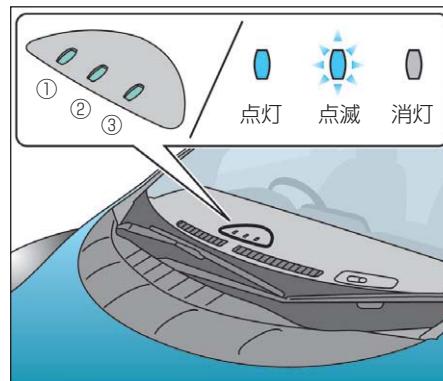
- 充電ケーブルは、ラゲッジルームの充電ケーブル格納バッグ(☞P.181)に格納されています。

充電インジケーターは、充電の状態などを車内外から確認できます。

■充電インジケーターの見かた

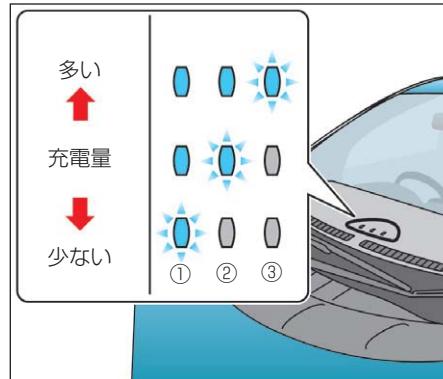
充電インジケーターは、インストルメントパネル上部にあり、充電の状態などを確認できます。

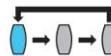
- 充電中以外の作動については、次ページの表をお読みください。



■充電中の作動

- 充電中は、充電量の増加にあわせて充電インジケーターが運転席側から順に点灯します。



種類	充電インジケーターの状態	説明
充電完了時		指定した充電量になると、すべてのインジケーターが約5分間点灯します。
タイマー充電受付状態		タイマー充電を予約した状態で、充電ケーブルを接続すると、運転席側から順に点灯を繰り返します。 (約5分後に消灯)
即充電受付状態		即充電スイッチを押すと、中央のインジケーターが約15分間点灯します。充電インジケーターが点灯している間に充電コネクタを接続すると、充電を開始します。
EVシステムON状態		次のような場合、EVシステムが自動的にONになり、助手席側のインジケーターが点滅します。 - 12Vバッテリーを充電しているとき - タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★が作動しているとき - 充電中にコンセントからプラグを抜いたとき
充電コネクタロック解除時／充電ポートリッド開時		充電ポートリッドオープナースイッチを押すか、インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチを1秒以上押すと、ブザーが鳴るとともにすべてのインジケーターが3回点滅します。
普通充電コネクタ半勘合警告		充電コネクタが車両に正しく接続されていないときは、約30秒間点滅します。この状態になったときは、充電が行われません。充電コネクタを正しく接続し直してください。

すぐに充電を開始するときの手順を説明しています。

充電ケーブルを接続するときは、必ず次の手順に従ってください。

即充電のしかた

- 1 停車して、セレクトレバー上部の②スイッチを押し、シフトポジションを **P** に切り替えます。



- 2 充電コネクタロックを行うときは、電源ポジションを ON にする前に 充電コネクタロックスイッチ (☞ P.31) を切り替えます。
パワースイッチ (☞ P.80) を押し、電源ポジションを OFF にします。



- 3 即充電スイッチを押します。
(タイマー充電 (☞ P.41) 設定時のみ)

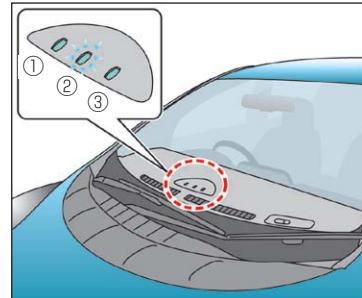


- 4 充電ポートリッドオープナースイッチ ④を押し、充電ポートリッド ⑤を開けます。
(充電ポートの照明は、充電ポートリッドオープナースイッチを押してからしばらく点灯します。)



知識

- 電源ポジションが OFF 以外のときは、充電を開始できません。充電するときは、必ず電源ポジションを OFF にしてください。
- 即充電スイッチを押すと、充電インジケーター (☞ P.36) の②が約 15 分間点灯し、即充電受付状態になります。その間に充電ケーブルを接続すると、すぐに充電が開始します。即充電受付状態を取り消すときは、もう一度即充電スイッチを押してください。



次のページへ続く



前のページから

5

ラゲッジルームの充電ケーブル格納バッグ(❷P.181)から充電ケーブルを取り出し、プラグをコンセントに接続します。



6

充電コネクタの保護キャップを外します。



7

充電ポートのキャップ(オレンジ色)を開けます。
(キャップはツメを押すと開きます。)



8

充電コネクタを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
正常に接続されると、ブザーが1回鳴ります。
また、しばらくすると充電ポートの照明が自動的に消灯します。



アドバイス

- 故障の原因になるため、車両に充電コネクタを接続するときは、充電コネクタのリリーススイッチを押したまま接続しないでください。



知識

- コントロールボックスの穴にひもなどを通し、コントロールボックスを壁に掛けることができます。

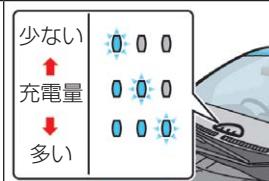


次のページへ続く

前のページから

- 9** 正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル上部の充電インジケーターで、おおよその充電量が確認できます。

☞充電インジケーター…P.36



- 10** 充電を終了する場合、充電コネクタをロックしているときは、インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチ④を1秒以上押し、ロックを解除します。

☞充電コネクタロックの解除のしかた…P.33



- 11** 充電コネクタのリリーススイッチを押しながら、充電ポートから充電コネクタを引き抜きます。充電ポートの照明が数秒後に消灯します。



- 12** 充電ポートのキャップ④を閉めてから、充電ポートリッド⑤を閉めます。プラグをコンセントから抜き、充電ケーブルをバッグに収納します。

☞充電ケーブル格納バッグ…P.181



知識

- 充電中は、電源ポジションをONにしてエアコンなどを使用できますが、電力は消費されるため、充電時間は通常よりも長くなります。
- 充電中でも充電コネクタを抜くことで、充電を中断できます。なお、充電コネクタロックをしているときは、ロックを解除してから充電コネクタを抜いてください。
- 充電ポートの照明が消灯しているときに充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が数秒間点灯後、消灯します。

普通充電にはタイマー機能があり、充電を行う時間帯をあらかじめ設定しておくことができます。

タイマー充電の設定のしかた（ナビゲーションシステム付車）

- 1 Zero Emission（ゼロエミッション）ボタンを押します。



- 2 タイマー充電をタッチします。



- 3 タイマー1設定またはタイマー2設定をタッチします。



- 4 開始時刻を入力します。停止時刻を入力するときは、停止時刻設定をタッチします。また、充電量設定をタッチすると、充電量を80%充電または100%充電から選択できます。



知識

- 開始時刻のみ設定したときは、充電を停止するか、指定の充電量になるまで充電されます。
- 停止時刻のみ設定したときは、車両が充電量に応じて開始時刻を逆算し、充電を開始します。また、タイマー エアコンが設定されているときは、充電とエアコンの作動が重ならないように自動的に充電開始時刻を早めます。
- 開始時刻と停止時刻の両方を設定しているときは、その時間帯のみ充電を行うため、指定した充電量まで充電されないことがあります。
- タイマー充電中に設定を変更すると一旦充電が停止し、すぐに変更した内容に従って充電を開始または待機状態になります。

次のページへ続く



前のページから

- 5 曜日の指定をタッチし、曜日ごとに作動させたい設定を選択したあと決定をタッチします。



- 6 設定が完了したら決定をタッチすると、確認画面が表示されます。
内容に間違いがなければはいをタッチします。



- 7 設定が保存され、タイマー1またはタイマー2の表示灯が点灯します。



- 8 充電ケーブルを接続します。
充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた(☞ P.38)の手順1～8をお読みください。
※予約した時刻に自動的に開始されます。

知識

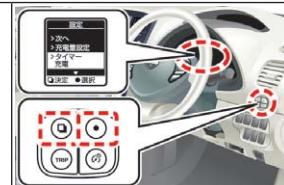
- 曜日の指定でOFFを選択すると、その曜日はタイマー充電が行われず、次回の予約まで待機します。

タイマー充電の設定のしかた（ナビゲーションシステム無車）

- 1 メーターのドライブコンピューターで決定スイッチ  を数回押し、[設定] 画面を表示します。
⇒ ドライブコンピューター…P.128



- 2 選択スイッチ  を押して [タイマー充電] を選択し、決定スイッチ  で決定します。



- 3 現在の設定内容が表示されるので、選択スイッチ  を押して変更画面へ進みます。



- 4 選択スイッチ  を押して [On] を選択し、決定スイッチ  で決定します。
タイマー充電が ON になると、時刻を入力する画面へ進むので、充電を完了させたい時刻を入力します。



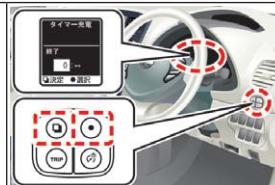
知識

- 停止時刻を入力することで、車両が充電量に応じた充電開始時刻を逆算します。また、タイマー エアコンが設定されているときは、充電とエアコンの作動が重ならないように自動的に充電開始時刻を早めます。
- タイマー充電中に設定を変更すると一旦充電が停止し、すぐに変更した内容に従って充電を開始または待機状態になります。

次のページへ続く

 前のページから

- 5 選択スイッチ (●) を押して“時”を調整し、決定スイッチ (□) で決定します。
選択スイッチ (●) を押し続けると速く進みます。



- 6 選択スイッチ (●) を押して“分”を調整し、決定スイッチ (□) で決定します。
選択スイッチ (●) を押し続けると速く進みます。
“分”を決定すると入力完了です。



- 7 設定した内容が表示されるので、間違いがないか確認し、決定スイッチ (□) を押します。(タイマー充電がセットされます)
時刻を変更するときは、もう一度手順 3 からやり直します。



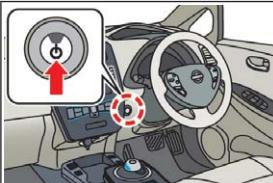
- 8 充電ケーブルを接続します。
充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた(→ P.38)の手順 1 ~ 8 をお読みください。
※予約した時刻に自動的に開始されます。

急速充電器を使った外出先での充電の手順を説明しています。

- 1 停車して、セレクトレバー上部の②スイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。



- 2 パワースイッチを押し、電源ポジションをOFFにします。



- 3 充電ポートトリッドオーブナースイッチⒶを押し、充電ポートトリッドⒷを開きます。
(充電ポートの照明は、充電ポートトリッドオーブナースイッチを押してからしばらく点灯します。)



- 4 急速充電ポートのキャップ（黒色）を開けます。
(キャップはツメを押すと開きます。)



アドバイス

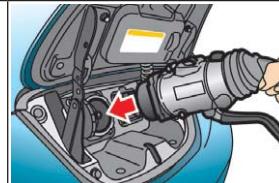
- 急速充電は、必ず急速充電機本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または急速充電器を破損するおそれがあります。
- 急速充電器の操作手順や充電にかかる時間は、急速充電器の種類により異なります。
- 電源ポジションがOFF以外のときは充電を開始できません。充電するときは、必ず電源ポジションをOFFにしてください。
- 急速充電は、普通充電に比べリチウムイオンバッテリーに大きな負担がかかります。

週に1回以上の頻度で急速充電を行う場合は、充電量を80%以下に指定してください。

次のページへ続く

◀ 前のページから

- 5 急速充電コネクタを根元まで確実に差し込みます。



- 6 ロックレバーを握り、充電コネクタを固定します。
充電ポートの照明が数秒後に消灯します。



- 7 急速充電器本体の手順に従い、充電を開始します。



⚠ 注意

- 急速充電コネクタを差し込むときは、ロックレバーが下がった状態で充電ポートの溝に合わせ、根元まで確実に差し込んでください。

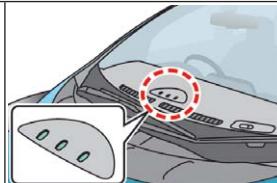
◀ 次のページへ続く



前のページから

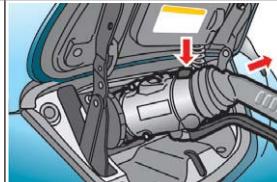
8

正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル上部の充電インジケーター(☞P.36)で、およその充電量が確認できます。



9

充電が停止したら、ロック解除ボタンを押してロックを解除しながら、充電ポートから充電コネクタを引き抜きます。充電ポートの照明が数秒後に消灯します。



10

充電ポートのキャップ⑥を閉めてから、充電ポートトリッド⑦を確実に閉めてください。



アドバイス

- 指定の充電量になる前に充電が停止したときは、再度急速充電器の開始スイッチを押し、充電を再開してください。急速充電は次のような場合、指定した充電量になる前に停止する場合があります。

－ 急速充電器に設定されている最大充電時間を経過したとき。

－ 車両に設定されている最大充電時間を経過したとき。(リチウムイオンバッテリーの温度に応じて30～60分の範囲で変化します)

- 急速充電にかかる時間は、外気温などの影響で変化します。

☞急速充電にかかる時間について…
P.48

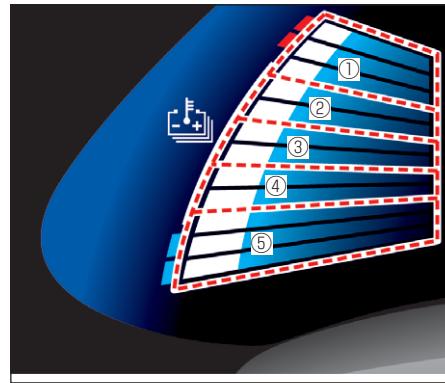


知識

- 充電ポートの照明が消灯しているときに充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が数秒間点灯後、消灯します。

急速充電にかかる時間について

- 急速充電にかかる時間は、リチウムイオンバッテリーの温度により大きく変化します。
- 次の表は、リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りを基準に、バッテリー残量警告灯  が点灯してから充電量80%までにかかる時間の目安です。



知識

- 急速充電は、リチウムイオンバッテリーの温度以外にも、充電状態、経年数、接続した急速充電器の種類により変化することがあります。

目盛りの数	充電にかかる時間
① (10 目盛以上)	60 分以上
② (8 ~ 9 目盛)	約 30 分 ~ 60 分
③ (6 ~ 7 目盛)	約 30 分
④ (4 ~ 5 目盛)	約 30 分 ~ 90 分
⑤ (3 目盛以下)	90 分以上

運転をするときは

SRS エアバッグについて

SRS エアバッグ	P.50
運転席・助手席 SRS エアバッグシステム	P.52
運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム*	P.56
SRS カーテンエアバッグシステム*	P.58

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは	P.60
チャイルドシート	P.62
チャイルドシート適合表	P.64

運転する前に

運転するときに注意すること	P.68
正しい運転姿勢について	P.69
シート	P.70
ELR (緊急固定) 付 3 点式シートベルト	P.73
ハンドル	P.76
ルームミラー	P.77
ドアミラースイッチ	P.78

始動する

パワースイッチ	P.80
---------	------

走行する

セレクトレバー (ナビゲーションシステム付車)	P.82
セレクトレバー (ナビゲーションシステム無車)	P.84
パーキングブレーキ	P.86
発進	P.87
走行	P.89
停車・駐車	P.90
ECO モード	P.91
ASCD (オートスピードコントロール) *	P.92
ABS (アンチロックブレーキシステム)	P.94
VDC (ビークルダイナミクスコントロール)	P.95
ヒルスタートアシスト	P.97
車両接近通報装置	P.98

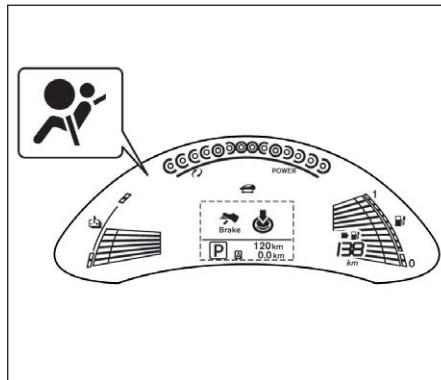
SRS エアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。
シートベルトは必ず着用してください。

SRS エアバッグの作動

SRS エアバッグは、電源ポジションが ON のときに作動可能です。

電源ポジションを ON にしたあと、約 7 秒間はメーター内の SRS エアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRS エアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRS エアバッグは、正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。



⚠ 警告

- 電源ポジションを ON にしても SRS エアバッグ警告灯が点灯しないときや、点灯または点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- 廃車にするときや SRS エアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRS エアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

📖 知識

- SRS とは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRS エアバッグの注意事項

⚠ 警告

- SRS エアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRS エアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRS エアバッグの効果を發揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRS エアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、前席シートまわり、センターピラー（ロックピラー）まわり、センター コンソールまわり、ルーフサイド

部などの SRS エアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRS エアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。

- SRS エアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使って SRS エアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

⚠ 注意

- SRS エアバッグは膨らんだあと高温になるため、30 分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRS エアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRS エアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRS エアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

運転席・助手席 SRS エアバッグシステム

SRS エアバッグについて

車両前方から強い衝撃を受けたとき SRS エアバッグが瞬時に膨らみ、
乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

■ 格納場所

運転席 SRS エアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席 SRS エアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。



SRS エアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h 以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- 車両前方左右、約 30° 以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき

次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき

SRS エアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約 50km/h 以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約 30km/h 以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRS エアバッグが作動しないとき

一度、SRS エアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

▲ 注意

- 助手席 SRS エアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れことがあります。

□ 知識

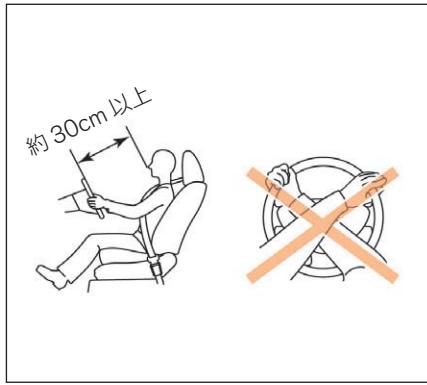
- 運転席、助手席 SRS エアバッグは膨らんだあとすぐにしほむので、視界の妨げになることはありません。

■ 運転席・助手席 SRS エアバッグシステムの注意事項

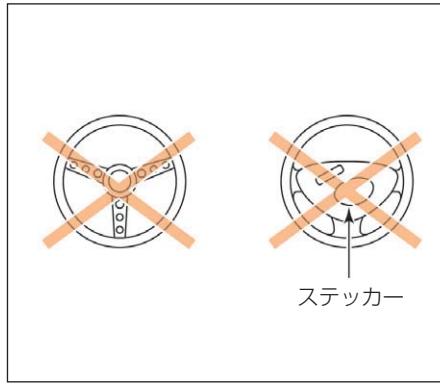
⚠ 警告

運転席 SRS エアバッグシステム

- ハンドルから顔ができるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど SRS エアバッグ格納部に手や顔、胸などを必要に近づけないでください。また、内掛けでのハンドル操作はしないでください。



- 不適正なハンドルに交換したり、センター部（SRS エアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。



- 前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。

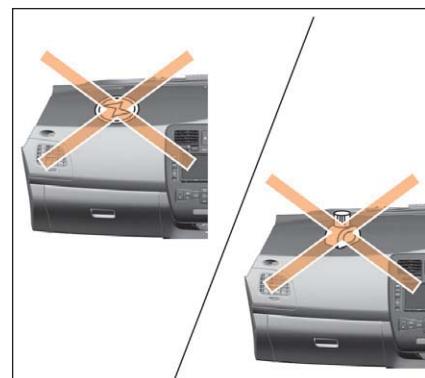
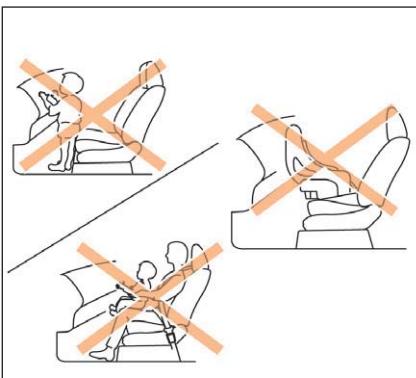
⚠ 警告

助手席 SRS エアバッグシステム

- インストルメントパネル（SRS エアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまを SRS エアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。やむを得ず助手席シートに取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。

- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

- インストルメントパネル上面および前面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。



車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側の SRS サイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

■ 格納場所

SRS サイドエアバッグは、シート背もたれ側面（外側）に格納されています。助手席は乗員がいなくても作動します。



⚠ 警告

- ドアにもたれるなど、前席シート背もたれ側面（外側）の SRS サイドエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。
- 前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRS エアバッグが誤作動するおそれがあります。
- シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものをお使いください。日産純正シートカバーをおすすめします。

■ SRS エアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- － 一般的な乗用車に 25km/h 以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

■ SRS エアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- － 側面に斜め方向から衝突されたとき
- － 側面にバイクが真横から衝突したとき
- － モータールーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- － 横転、転覆したとき
- － 斜め前方から衝突したとき
- － 電柱などに衝突したとき

■ SRS エアバッグが作動しないとき

一度、SRS エアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- － 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- － 後ろから衝突されたとき

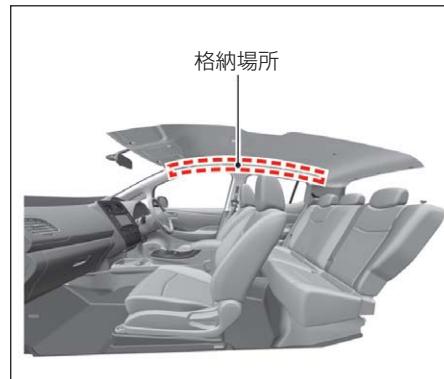
SRS カーテンエアバッグシステム*

SRS エアバッグについて

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側の SRS カーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

■ 格納場所

SRS カーテンエアバッグは左右のルーフサイドに格納されています。助手席側は乗員がいなくても作動します。



⚠ 警告

- ドアにもたれるなど、前席シート背もたれ側面（外側）の SRS カーテンエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。
- 前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRS エアバッグが誤作動するおそれがあります。
- センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などの SRS カーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けないでください。

■ SRS エアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- － 一般的な乗用車に 25km/h 以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

■ SRS エアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- － 側面に斜め方向から衝突されたとき
- － 側面にバイクが真横から衝突したとき
- － モータールーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- － 横転、転覆したとき
- － 斜め前方から衝突したとき
- － 電柱などに衝突したとき

■ SRS エアバッグが作動しないとき

一度、SRS エアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- － 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- － 後ろから衝突されたとき

お子さまを乗せるときは

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

■ お子さまは後席に

- 助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。また、助手席 SRS エアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などで SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまにもシートベルトを着用

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
⇒シートベルトのつけかた…P.73
- シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
⇒チャイルドシート…P.62

■ チャイルドシートは後席に

- チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティードアロック (☞ P.144) やパワーウインドーロックスイッチ (☞ P.148) を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

■ 窓から手や顔を出さない

- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

チャイルドシートの固定機構を使ってチャイルドシートを固定することができます。

チャイルドシートの種類

乳児用チャイルドシート：ECE R44 基準のグループ 0、0+に相当します。

チャイルドシート：ECE R44 基準のグループ 0+、I に相当します。

ジュニアチャイルドシート：ECE R44 基準のグループ II、III に相当します。

● 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

● この車は ECE R44 の基準に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

チャイルドシートの質量グループ

ECE R44 の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により次のように分類されます。

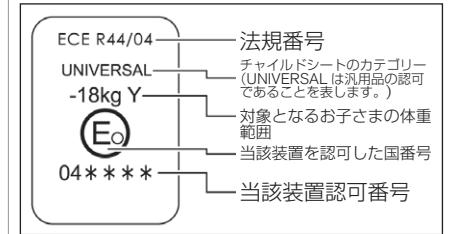
質量グループ	お子さまの体重
グループ 0	10kg まで
グループ 0 +	13kg まで
グループ I	9 ~ 18kg まで
グループ II	15 ~ 25kg まで
グループ III	22 ~ 36kg まで

注意

- お子さまの年齢や体格にあつた、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

知識

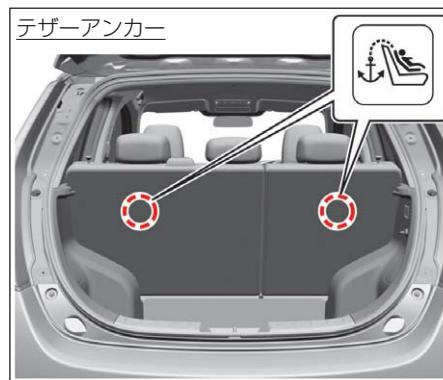
- ECE R44 はチャイルドシートに関する国際法です。ECE R44 の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



アンカーの位置

後席シートの左右にはISO FIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

- ISO FIX 対応チャイルドシート用ロアアンカーは、マークの下側にあります。
- テザーアンカーは、背もたれの後ろ側にあります。
- 取り付けたおよび取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。



警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカーパーツ周辺に異物がないことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- ISO FIX 対応チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストをロックする位置まで上げてください。

チャイルドシート適合表

お子さまの安全のために

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付ける方法があります。
次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	着席位置		
	前席（助手席）	後席左右	後席中央
0 (10kg まで)	×	U	U
0+ (13kg まで)	×	U	U
I (9 ~ 18kg)	L	U	U
II (15 ~ 25kg)	L	U	U
III (22 ~ 36kg)	L	U	U

U：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分のチャイルドシートに適合しています。

L：次の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

×：チャイルドシートを取り付けることはできません。

▲ 注意

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

■日産純正チャイルドシート

質量グループ	取り付け向き	商品名	
I (9 ~ 18kg)	前向き	チャイルドセーフティシート (E4 04443812)	ISO FIX 対応チャイルドセーフティシート (E4 04443716)
II (15 ~ 25kg)	前向き	ジュニアセーフティシート (E4 04443515)	
III (22 ~ 36kg)	前向き		



アドバイス

- ジュニアセーフティシートを使用するときは、ヘッドレストを外してください。

■ ISO FIX 専用アンカーで取り付けるチャイルドシートについて

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISO FIX 位置（車両側）	
			後席左右	後席中央
キャリコット	F	ISO/L1	×	-
	G	ISO/L2	×	-
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	×	-
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL	-
	D	ISO/R2	×	-
	C	ISO/R3	×	-
	D	ISO/R2	×	-
	C	ISO/R3	×	-
I (9~18kg)	B	ISO/F2	IUF	-
	B1	ISO/P2X	IUF	-
	A	ISO/F3	IUF	-
II (15~25kg)	-	(1)	-	-
III (22~36kg)	-	(1)	-	-

IUF：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートに適合しています。

IL：この質量グループでの使用を認可された、次の表に記載されている「ISO FIX 対応ベビーシート」に適合しています。

×：チャイルドシートを取り付けることはできません。

(1)：サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置での ISO FIX 対応ベビーシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

⚠ 注意

- ISO FIX 対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前に ECE R44 の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

● 日産純正 ISO FIX 対応チャイルドシートについて

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	ISO FIX 対応 ベビーシート	後向き	準汎用

▲ 注意
● 日産純正 ISO FIX 対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

アクセサリーと改造

- ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流の調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
- 次のような場合には日産販売会社にご相談ください。

- タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

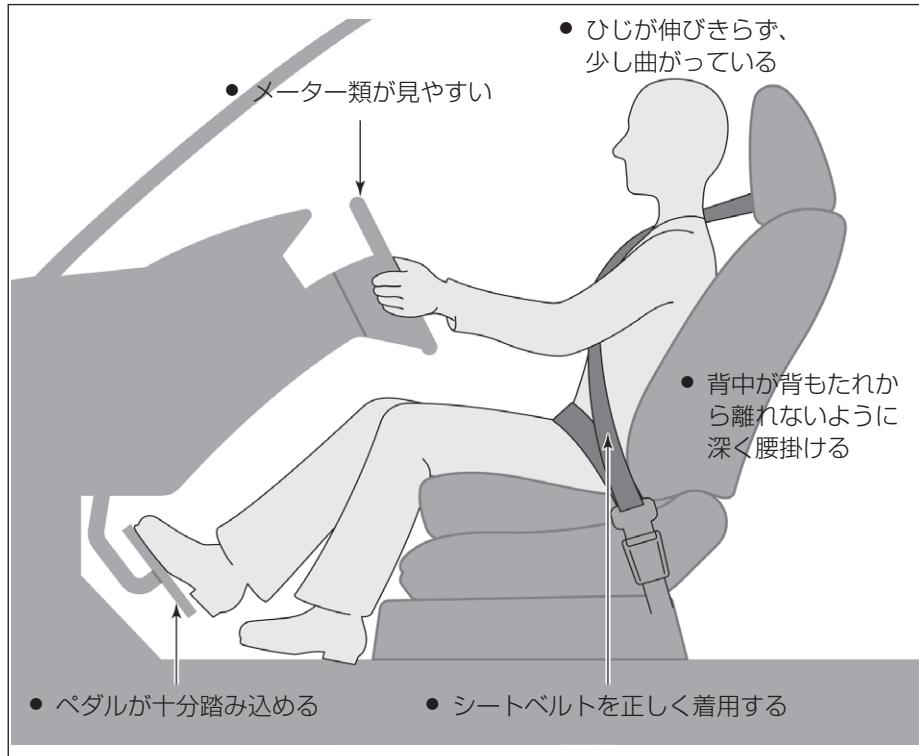
- 電気品、無線機などの取り付け

適切でない電気品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、バッテリー端子に電気品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーが上がる可能性があります。

- ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



⚠ 警告

- シート、ハンドル、ミラーの調節は、安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されていることを確認してください。シートやハンドルが固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

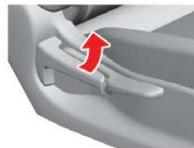
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■前席シートの調節



■背もたれの角度調節

- レバーを引いたまま調節したい方向に背もたれを動かします。



■前後位置の調節

- レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



■上下位置の調節（運転席）

- 引き上げると高くなります。
押し下げると低くなります。



⚠ 警告

- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

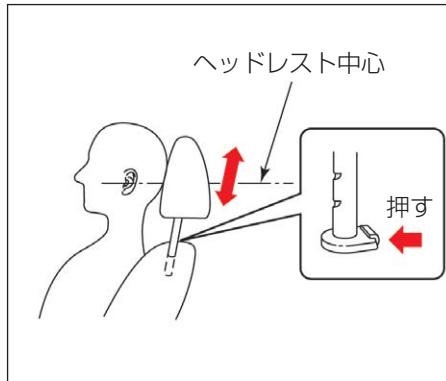
⚠ 注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体にあたり思わずケガをするおそれがあります。
- 車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

■ヘッドレストの使いかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げ、下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



■ヘッドレストの脱着

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

⚠ 警告

- ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。
- 取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わずケガをするおそれがあります。

■後席シートの調節

■背もたれの倒しかた

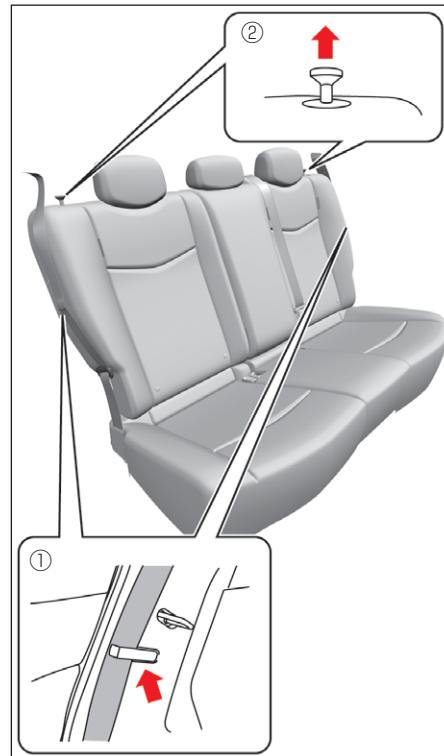
後席シートを折りたたみ、ラゲッジルームのスペースを広げることができます。左右別々に倒すことができます。

- ・シートベルトをクリップ①で留めてから操作してください。

- ・後席シート左右にあるノブ②を引いたままゆっくりと背もたれを前に倒します。
- ・元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押しつけてロックします。

■ヘッドラストの使いかた

- ・ヘッドラストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
- ・脱着のしかたは、前席シート（ ヘッドラストの脱着…P.71）と同じです。



⚠ 警告

- ・ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ・後席に人が乗っていたり、物や飲み物などを置いたまま操作を行うと、ケガをしたり、物を壊したり、車室内を汚すおそれがあります。特にラゲッジルーム側から背もたれを倒すときは、後席が見えにくいで注意してください。
- ・ヘッドラストはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

車 アドバイス

- ・背もたれを元に戻したとき、ノブの赤い部分が見える場合は、シートが正しくロックされていません。

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

シートベルトのかけかた

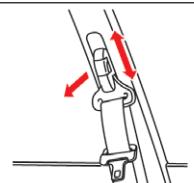
- 1 タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



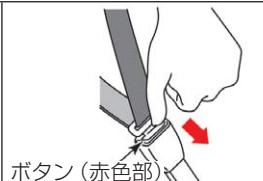
- 2 ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 3 肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。(前席のみ)
- ノブを引きながらアンカーボルトを上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。
 - 手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



- 4 外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



警告

- 肩ベルトのアンカー位置は確実に肩に掛かるように調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

■ 前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

- 正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。
 - 運転席・助手席 SRS エアバッグシステムと同時に作動します。
- ☞ SRS エアバッグ…P.50
- 運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。ラップアウタープリテンショナーが腰部シートベルトの緩みを引き込み、肩部のロードリミッター付プリテンショナーと合わせて乗員の拘束性能を高めます。

⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電源ポジションを ON 後約 7 秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRS エアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。
- 廃車にするとときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。使用方法、警告に従って正しく着用してください。

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
 - 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
 - ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けたことがあります。
 - 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
 - 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
- シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。
- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けることがあります。
- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。

⇒チャイルドシート…P.62

- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。
- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で洗い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

■ ハンドル位置の調節

- ①レバーを引き上げます。
- ②ハンドルを動かし、適切な位置で止めます。
- ③レバーを押し下げ、固定します。



⚠ 警告

- ハンドルの調節は、安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると、前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認してください。ハンドルが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります

■ ホーンの使いかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。

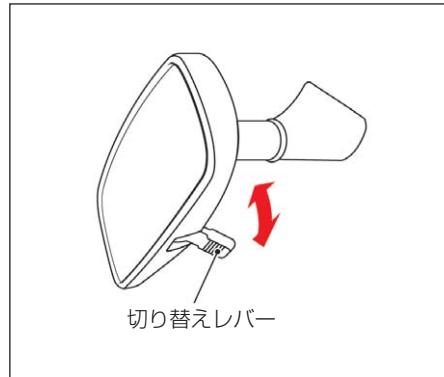


ルームミラーの調節

ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。

夜間など後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。

昼間など通常走行時は防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



警告

- ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



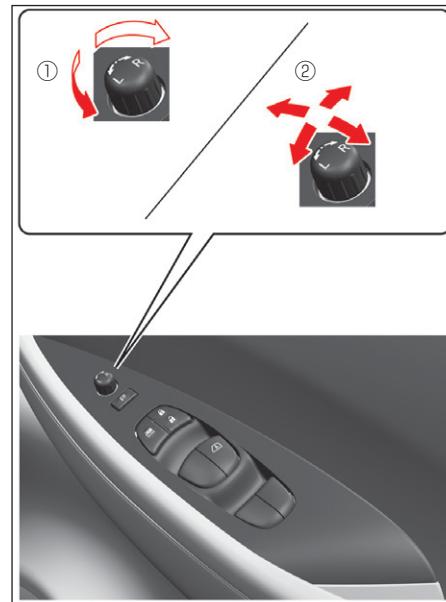
アドバイス

- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリーなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。インテリジェントキーの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠やEVシステムの始動などができなくなるおそれがあります。

ドアミラースイッチは運転席のアームレストにあります。
電源ポジションが ACC または ON のときに操作できます。

角度の調節

- ①調節するドアミラー側にスイッチを回します。
(左側は L、右側は R)
- ②スイッチを動かして、鏡面角度を調節します。



⚠ 警告

- ドアミラーの調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

📖 知識

ヒーター付ドアミラー付車★

- 電源ポジションが ON のとき、リアデフォッガースイッチ(⇒P.213)を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

■ 格納のしかた

スイッチを押すと、左右のミラー本体が格納されます。

スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



▲ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- 手動で開閉すると走行中ミラーが前方または後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。

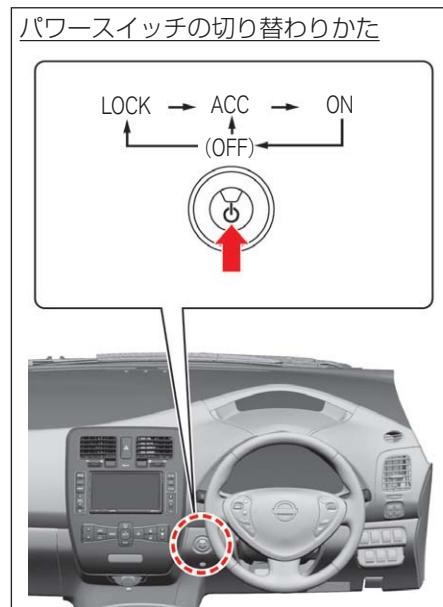
■ 知識

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、電源ポジションをACCまたはONにしたときにミラーが動き出すことがあります。

各電源ポジションの働き

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

電源ポジション	働き
LOCK	電源ポジションが OFF のとき、いずれかのドアを開けるか、または閉めると電源ポジションが LOCK に切り替わります。
ACC	オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置
OFF	電源が切れる位置



アドバイス

- 次の条件がそろった状態で約 60 分経過すると自動的に電源ポジションが OFF になります。
 - 電源ポジションが ACC のとき
 - 全ドアが閉まっているとき
 - シフトポジションが P のとき

知識

- ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、電源ポジションが走行可能状態になります。

⇒始動のしかた…P.87

警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行ってください。EV システムを停止するとブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

EV システムの非常停止のしかた

緊急時など、走行中に EV システムを強制的に停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをしばらく 3 回押す
- パワースイッチを 2 秒以上押し続ける

■ イモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、インテリジェントキーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、**セキュリティーインジケーター**（☞P.120）が点滅します。



アドバイス

- 電源ポジションを ON にしたときにセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- インテリジェントキーに登録された信号は、インテリジェントキーごとに異なります。

セレクトレバー（ナビゲーションシステム付車）

走行する

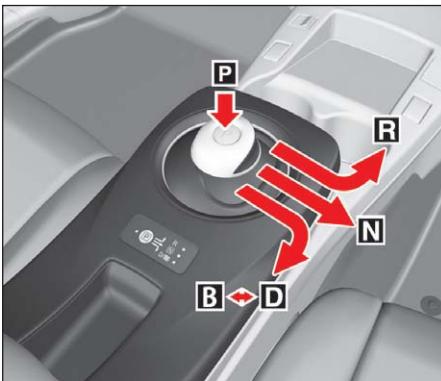
走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。

運転をするときは

セレクトレバーの操作

セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。メーター内の車両情報ディスプレイのポジションインジケーターで、目的のシフトポジションが切り替わったことを必ず確認してください。

P	セレクトレバー上部の②スイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方にスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	Dのときに右手前へスライドするとBに切り替わります。もう一度スライドするとDに戻ります。



注意

- セレクトレバーには物を掛けないでください。車両が突然発進するなど事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。故障の原因になります。

知識

- セレクトレバーが中央に無いときは、②スイッチを押してもPに切り替えられません。また、②スイッチを押しながら、セレクトレバーを操作しても、他のシフトポジションには切り替えられません。
- シフトポジションをRに切り替えるとブザーが鳴ります。

各シフトポジションの働き

シフトポジション	役割
P	駐車およびEVシステムを始動するときの位置
R	後退するときの位置
N	動力が伝わらない状態の位置
D	通常走行するときの位置
B	下り坂などで、強いブレーキが必要なときの位置 (満充電時、低温時などはブレーキが弱くなることがあります。)

知識

- シフトポジションをPに切り替えずに電源ポジションをOFFにすると、自動的にシフトポジションがPに切り替わります。（オートP機能）
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションはNに切り替わります。
 - 前進中にシフトポジションをRに切り替える
 - 後退中にシフトポジションをDに切り替える
- 充電中はシフトポジションを切り替えることができません。

セレクトレバー（ナビゲーションシステム無車）

走行する

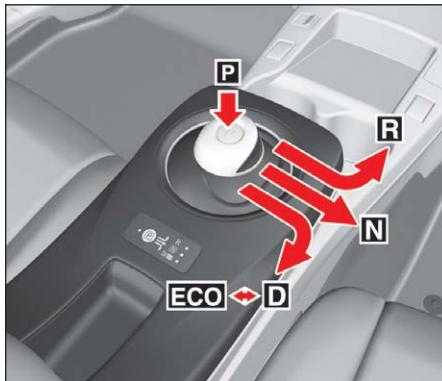
走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションへ切り替えることができます。

運転をするときは

セレクトレバーの操作

セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。メーター内の車両情報ディスプレイのポジションインジケーターで、目的のシフトポジションが切り替わったことを必ず確認してください。

P	セレクトレバー上部の②スイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方にスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
ECO	Dのときに右手前へもう一度スライドすると ECO モードの ON・OFF が切り替わります。 → ECO モード…P.91



注意

- セレクトレバーには物を掛けないでください。車両が突然発進するなど事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。故障の原因になります。

知識

- セレクトレバーが中央に無いときは、②スイッチを押しても P に切り替えられません。また、②スイッチを押しながら、セレクトレバーを操作しても、他のシフトポジションには切り替えられません。
- シフトポジションを R に切り替えるとブザーが鳴ります。

各シフトポジションの働き

シフトポジション	役割
P	駐車およびEVシステムを始動するときの位置
R	後退するときの位置
N	動力が伝わらない状態の位置
D	通常走行するときの位置
ECO	航続可能距離を延ばしたいときにONにします ☞ ECOモード…P.91

知識

- シフトポジションをPに切り替えずに電源ポジションをOFFにすると、自動的にシフトポジションがPに切り替わります。（オートP機能）
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションはNに切り替わります。
 - 前進中にシフトポジションをRに切り替える
 - 後退中にシフトポジションをDに切り替える
- 充電中はシフトポジションを切り替えることができません。

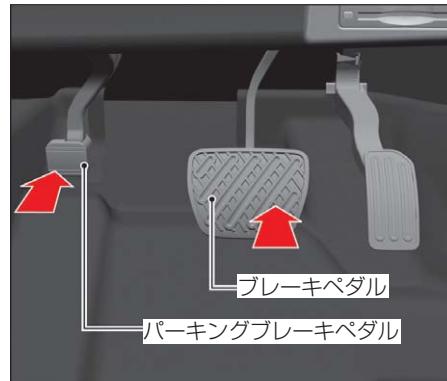
パーキングブレーキ

走行する

パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

パーキングブレーキのかけかた

- パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



パーキングブレーキの解除

- 解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱しブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけたあとにパーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

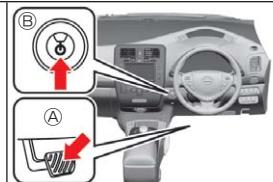
インテリジェントキーが作動範囲内にあるときは、キーを取り出すことなく始動できます。
インテリジェントキーは、必ず運転者が携帯してください。

始動のしかた

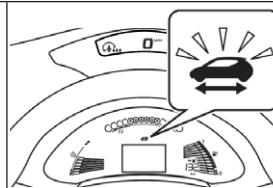
- 1 アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（☞P.69）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



- 2 ブレーキペダルⒶをしっかりと踏みながら、パワースイッチⒷを1回押します。



- 3 メーター内の走行可能表示灯が点灯し、走行可能状態になります。



⚠ 警告

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠ 注意

- 始動するときは、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、「カチッ」と音が聞こえることがあります。異常ではありません。

発進のしかた

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを右手前にスライドさせ、シフトポジションを **D** に切り替えます。



- 2 シフトポジションが切り替わったことを目で確認します。



- 3 パーキングブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを解除します。



- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



⚠ 警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シフトポジションが **P**、**N** 以外にあると、クリープ現象で車が動き出しますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

📖 知識

- 電制シフトの故障などにより、メーター内の車両情報ディスプレイでシフトポジションを確認できないときは、セレクトレバー手前のシフトインジケーターで確認してください。
- 急な上り坂で発進するときは、**ヒルスタートアシスト**(☞ P.97)が作動します。

■ 走行のしかた

- シフトポジションを **D** にしたまま走行します。アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと急加速します。
- 下り坂では、回生ブレーキ (☞ P.10) を併用して走行します。シフトポジションが **D** のときより **B** (ナビゲーションシステム付車) または ECO モードが ON (ナビゲーションシステム無車) のほうが、回生ブレーキが強くなります。スピードが出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

⚠ 警告

- 走行中はシフトポジションを **N** に切り替えないでください。回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。
- 上り坂でシフトポジションを **D** または **B** (ナビゲーションシステム付車) のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で **R** のまま故意に車両を前進させたりしないでください。事故につながるおそれがあります。

ておく知識

- 走行中にセレクトレバー上部の②スイッチを押した場合、操作が無効とされ、ブザーが鳴るとともにそのときのシフトポジションが維持されます。

停車・駐車のしかた

1 停車するときは、シフトポジションは **D** または **B** (ナビゲーションシステム付車) のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。



2 そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。



3 セレクトレバー上部の②スイッチを押し、シフトポジションを **P** に切り替えます。



4 パワースイッチを 1 回押します。
電源ポジションが OFF になり、EV システムが停止します。



⚠️ 警告

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 上り坂で停車するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ECO モードを ON にすると、航続可能距離を延ばすことができます。

■ ECO モードについて

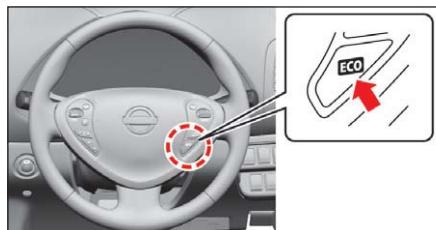
ECO モードは、次のような消費電力を抑えることにより、航続可能距離を延ばします。

- 走行用モーターに供給する電力
- エアコンの電力

■ ECO モードの使いかた

■ ナビゲーションシステム付車

- ハンドルにあるスイッチを押すごとに ON / OFF が切り替わります。(ON になるとメーター内にある車両情報ディスプレイのインジケーターが点灯)



■ ナビゲーションシステム無車

- シフトポジションが **D** のとき、セレクトレバー(→P.84)を **D** の方向にスライドさせすごとに ON / OFF が切り替わります。(ON になるとメーター内にある車両情報ディスプレイのインジケーターが点灯)



知識

- ECO モードの設定の ON · OFF は、電源ポジションを OFF にしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- ECO モードを解除するときは、スイッチを操作したあと、一旦アクセルペダルから足を離し、再度必要な分だけ踏み込んでください。
- 次のような加速が必要な場合は、必要に応じて ECO モードを OFF にしてください。
 - 乗車人員や荷物量が多いとき
 - 急ごう配を登坂走行するとき
- ASCD (オートスピードコントロール)★を使用しているときは、ECO モードを ON にしても航続可能距離を延ばすことはできません。

ASCD をセットすると、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度 (約 40 ~ 100km/h) で走行できます。

■表示灯・スイッチの機能

■ステアリングスイッチ

①キャンセルスイッチ

- ASCD を解除します。

②リデューム／アクセラレートスイッチ (上押し)

- 設定速度を上げます。

● ASCD を解除後、解除前の設定速度に 再度セットします。

③セット／コーストスイッチ (下押し)

- 設定速度を下げます。

● ASCD をセットします。

④メインスイッチ

- ASCD の ON · OFF ができます。

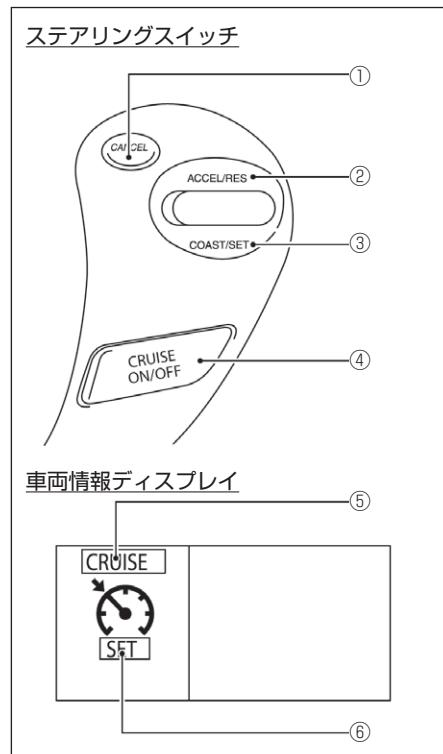
■車両情報ディスプレイ

⑤クルーズ表示

- メインスイッチを ON にすると点灯し
ます。

⑥セット表示

- ASCD 作動中に点灯します。

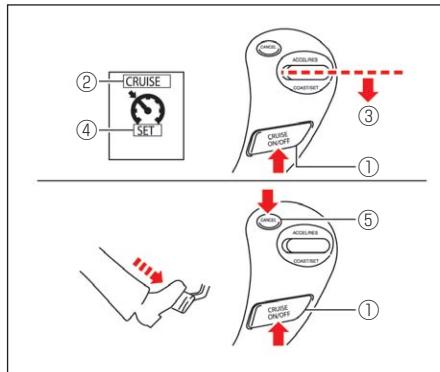


注意

- ASCD を使用する場合は、十分な車間距離をとってください。
- 次の状況では、ASCD を使用しないでください。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - 急な下り坂
- ASCD を使用しないときは、メインスイッチを必ず OFF にしてください。
- セット表示が点滅した場合は、一度パワースイッチを OFF にしてから再度セットしてください。点滅が続いたりセットできない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

■ セットのしかた／解除のしかた

- メインスイッチ①を押します。
(メーター内にある車両情報ディスプレイのクルーズ表示②が点灯)
- 設定したい速度まで加速または減速し、
セット／コーストスイッチ③を押します。
(メーター内にある車両情報ディスプレイのセット表示④が点灯)
- 解除するときは、キャンセルスイッチ
⑤またはメインスイッチ①を押すか、
ブレーキペダルを踏みます。



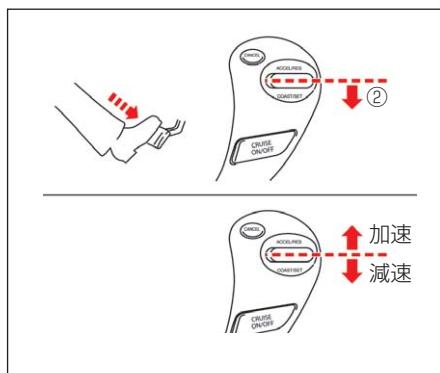
■ 設定速度の変えかた

● ペダルで変えるとき

アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み、速度を変えます。希望の速度になったらセット／コーストスイッチ②を押します。

● ステアリングスイッチで変えるとき

リリューム／アクセラレートスイッチを押し続けると加速し、セット／コーストスイッチを押し続けると減速します。希望の速度で手を離します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ アドバイス

- 一時に加速したい場合は、アクセルペダルを踏みます。
- 解除後は、セット待機状態になります。もう一度、定速走行にする場合は、再度リリューム／アクセラレートスイッチを押します。(メーター内にある車両情報ディスプレイのセット表示が再点灯)
- 次の場合は、自動解除されます。
 - VDC が作動したとき
 - タイヤが空転したとき
 - シフトポジションを N に切り替えたとき
 - システムに異常があるとき

ABS (アンチロックブレーキシステム)

走行する

ABS とは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

■ ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABS が作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これは ABS の正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- 電源ポジションを ON にしたときや、始動後最初の発進時に、モータールームから音が聞こえることがあります、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停止させるため ABS は低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約 10km/h 以下では作動しません。

⚠ 警告

- ABS はあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABS の付いていない車と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABS はブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABS の付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とて運転してください。
- ABS は各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを 4 輪に装着してください。指定サイズ以外では ABS が正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC は横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDC について

- VDC の作動と表示灯
 - VDC が実際に作動しているとき、メーター内の警告灯  が点滅します。
 - VDC システム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときも 警告灯  が点滅します。
 - 警告灯  が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- VDC には「ブレーキ LSD」機能があります。これは滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する LSD (リミテッドスリップデフ) 機能です。
- VDC 作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

▲ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDC の作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 次のときは VDC 警告灯が点灯し、VDC が正常に作動しないことがあります。
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどが著しく摩耗及び劣化した状態で走行したとき
- 次のような状況では、VDC 警告灯が点灯することがあります。この場合は一度電源ポジションを OFF にし、再度走行可能状態にすると消灯します。
 - 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - 極端に傾いた特殊な路面 (サークル路に見られるバンクなど) を走行したとき
- VDC 付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

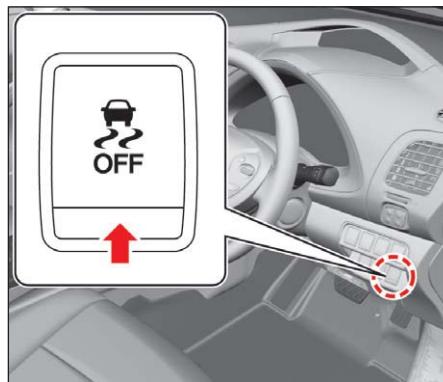
■ VDC OFF スイッチの使いかた

VDC の作動をやめたいときに使います。

- VDC OFF スイッチを押すと、VDC の働きを停止します。

(メーター内の表示灯  が点灯)

- もう一度スイッチを押すか、EV システムを再始動すると VDC は作動を回復し、メーター内の表示灯が消灯します。



アドバイス

- ぬかるみや雪道から脱出するときは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでも出力が上がらないことがあります。回転数を上げたいときは VDC OFF スイッチを押してシステムを OFF にしてください。
- VDC OFF スイッチを押すと、ABS 機能およびブレーキ LSD 機能を除く VDC のすべての機能が停止します。

知識

- VDC が作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- 電源ポジションを ON にしたときや、始動後最初の発進時に、モーターラームから音が聞こえることがあります。システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシストは、坂道での発進を補助します。

ヒルスタートアシストについて

- 急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を一定時間保持し、発進を容易にするシステムです。
- シフトポジションが **P**、**N** 以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約 2 秒間ブレーキ力を保持します。

▲ 注意

- この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進は特に安全運転に心がけてください。
- 坂道で駐停車するためにヒルスタートアシストを使わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

□ 知識

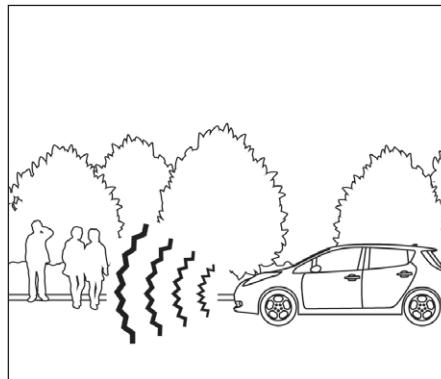
- VDC 警告灯( P.114)が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせます。

■ 車両接近通報装置について

車両接近通報装置は、電源ポジションが走行可能状態で次の場合に作動します。

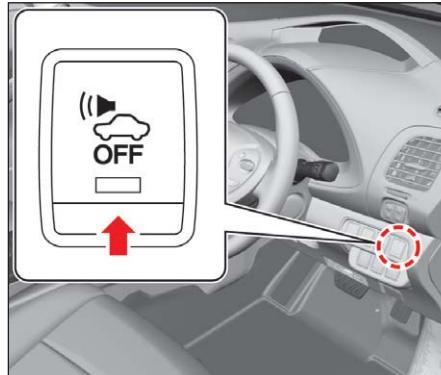
- 発進時、車速が 30km/h 以内のとき
- 減速時、車速が 25km/h 以下になったとき
- シフトポジションが **R** のとき



■ 車両接近通報装置一時停止スイッチ

車両接近通報装置は、音を消すことができます。

- スイッチを押すと、一時的に音が出なくなります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- もう一度スイッチを押すか、EV システムを再始動すると、再び音が出るようになります。
(スイッチの表示灯が消灯)



▲ 注意

- 車両接近通報音は高速道路での渋滞など、周囲に音を出して注意を知らせる必要が明らかにない場合を除き、一時停止状態にしないでください。
- 車両接近通報装置を一時停止状態にして走行すると、車両の接近に歩行者が気付かず、事故の原因になることがあります。
- 車両接近通報音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか点検してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを **R** にし、窓を開けて音が聞こえるか確認してください。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社へご連絡ください。

メーター

メーターの見かた

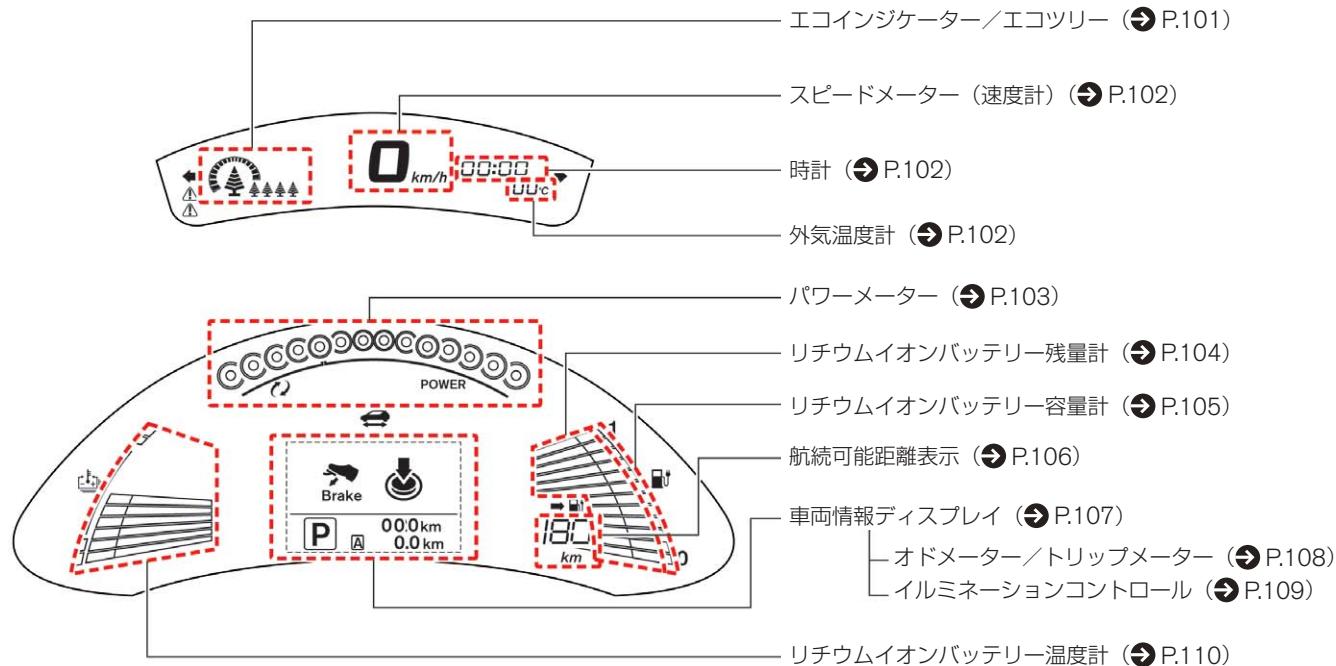
各部名称と機能	P.100
アッパー・メーター（メーター上部）	P.101
ロア・メーター（メーター下部）	P.103

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.111
警告灯	P.112
表示灯の表示位置	P.118
表示灯	P.119

車両情報ディスプレイの見かた

ドライブインジケーター	P.121
ドライブコンピューター	P.128

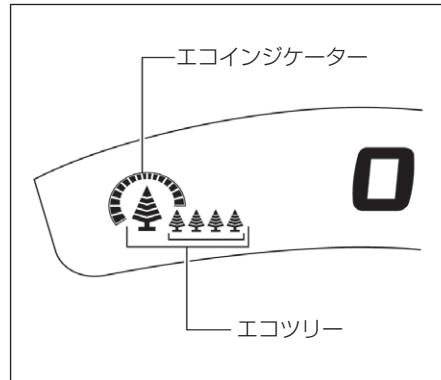


エコインジケーター／エコツリー

- 電源ポジションを走行可能状態にしてから OFF にするまでの、走行区間全体のエコ運転レベルが表示されます。

■エコインジケーター

- 走行中、その瞬間のエコ運転レベルを表示します。
- エコ運転ができているほど、表示されるバーの数が多くなり、エコツリーの成長速度が速くなります。



■エコツリー

- エコ運転の度合いを表示します。
- エコ運転を続けていると、エコツリーが徐々に成長し、1度の運転でエコツリーが最大5本まで表示されます。

知識

- エコ運転レベルは、アクセルおよびブレーキペダルの操作、エアコンの使用量などにより算出されます。
- ナビゲーションシステム付車は、電源ポジションを OFF になると、蓄積されたエコツリーの情報がナビゲーションシステムに保存され、履歴の確認などができます。詳細は、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 「エコツリー／ECO TREE」は、日野自動車株式会社の商標です。

スピードメーター（速度計）

- 走行速度を表示します。

時計

- 電源ポジションがONのとき、時刻を表示します。
- ナビゲーションシステム付車は、ナビゲーションシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- ナビゲーションシステム無車は、車両情報ディスプレイの「設定」画面で時刻を調整します。

☞時刻の調整…P.131

知識

- ナビゲーションシステム無車の時計は、12Vバッテリーを外すと記憶が消去されます。12Vバッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

外気温度計

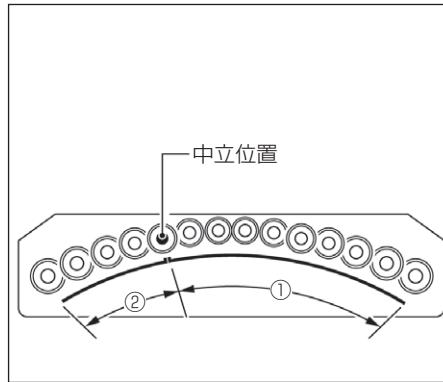
- 電源ポジションがONのとき、外気温を表示します。

知識

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

パワーメーター

- 走行中のモーターの出力および回生量（電力の回収量）を表示します。
- 中立位置から右側①に向かってドットが点灯しているときは、モーターに電力が供給されています。
- 中立位置より左側②に向かってドットが点灯しているときは、回生ブレーキにより電力を回収しています。
- モーターの出力または回生量が制限されると、ドットの点灯範囲が狭くなります。点灯しない範囲は、ドットの外側の2本線が1本になります。

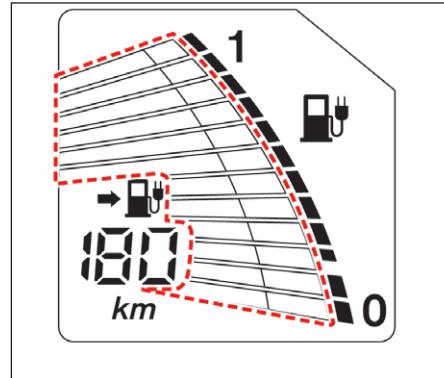


知識

- 次の場合、ドットの外側の線が1本となり、モーターの出力または回生量が制限されます。
 - リチウムイオンバッテリー温度計（P.110）の表示が極端に高いまたは低いとき
 - 走行用モーターの温度が高いとき
 - 充電量が低下しているとき（①側のみ）
 - 満充電のとき（②側のみ）

リチウムイオンバッテリー残量計

- 電源ポジションが ON のとき、リチウムイオンバッテリーの残量を表示します。

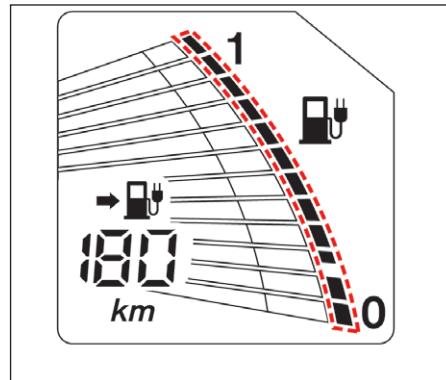


知識

- リチウムイオンバッテリーの温度の影響で、同じ充電量でも表示が次のように変化することがあります。
 - リチウムイオンバッテリーが冷えてくると、蓄電能力が低下するため、全体の容量に対する現在の充電量の割合が大きくなり、点灯する数が多くなります。
 - リチウムイオンバッテリーが暖まってくると、蓄電能力が高くなり、全体の容量に対する現在の充電量の割合が小さくなり、点灯する数が少なくなります。
- 充電量が低下してくると、バッテリー残量警告灯  (P.115) が点灯します。

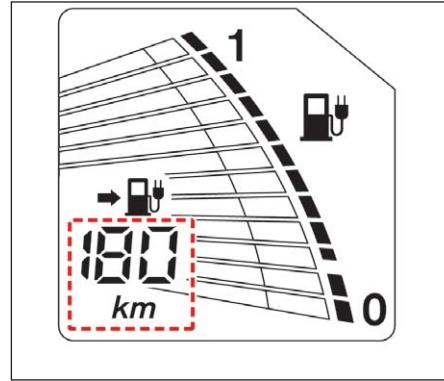
リチウムイオンバッテリー容量計

- 電源ポジションがONのとき、リチウムイオンバッテリーの容量を表示します。
- リチウムイオンバッテリーの経年数などにより蓄電能力が低下すると、上側から順に消灯します。



航続可能距離表示

- 電源ポジションが ON のとき、現在のリチウムイオンバッテリーの残量と平均電費から航続可能な距離を表示します。（今の走り方を続けた場合に走れる距離を表示しています。）
- バッテリー残量警告灯  (P.115) が点灯すると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- バッテリー残量警告灯  点灯後も充電しないと「---」と表示します。

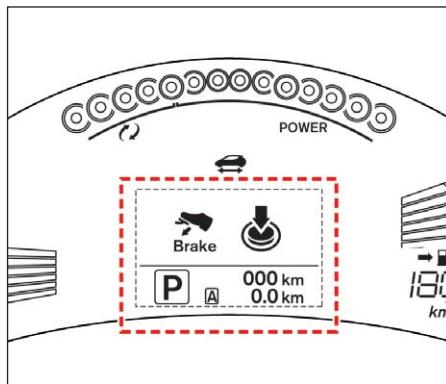


知識

- 数値は約 100m 走行ごとに算出しています。
- 充電直後は充電前の平均電費をもとに算出されるため、同じ満充電でも数値が異なることがあります。
- 表示される数値は、エアコンや ECO モードの ON・OFF により変化します。
- 外気温が極端に低いときや、長い上り坂を走行した直後は、表示される距離が大幅に減少することがあります。

車両情報ディスプレイ

- 次の情報を表示します。
 - オドメーター
 - トリップメーター
 - イルミネーションコントロール
 - ドライブインジケーター
 - ドライブコンピューター
 - タイマー設定状態確認表示
 - ASCD(クルーズ表示・セット表示)



■ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

■ オドメーター（積算距離計）

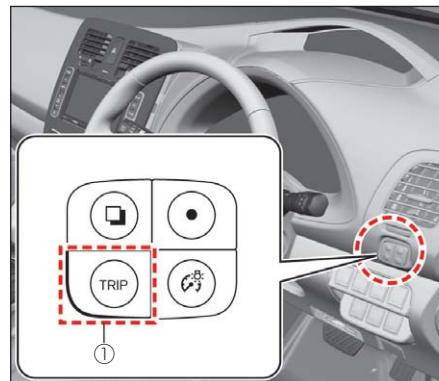
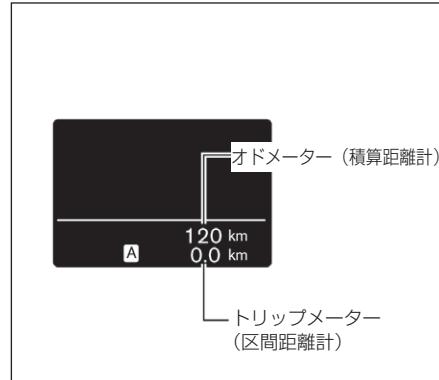
- 総走行距離を km で車両情報ディスプレイに表示します。

■ トリップメーター（区間距離計）

- ⒶとⒷの 2 種類の区間走行距離を km で車両情報ディスプレイに表示します。

- トリップ切り替えスイッチ①を押すごとにⒶとⒷが切り替わります。

- リセットするときは 0 にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチ①を 1 秒以上押します。



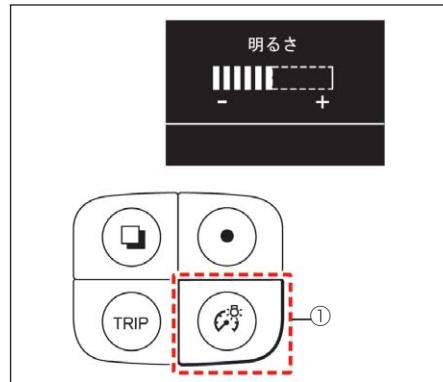
知識

- 12V バッテリーを外したときは、トリップメーターのⒶとⒷの記憶が消去され 0 に戻ります。

イルミネーションコントロール

電源ポジションが ON のとき、車外の明るさに応じてメーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチ①を押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、メーター内の車両情報ディスプレイに表示されます。

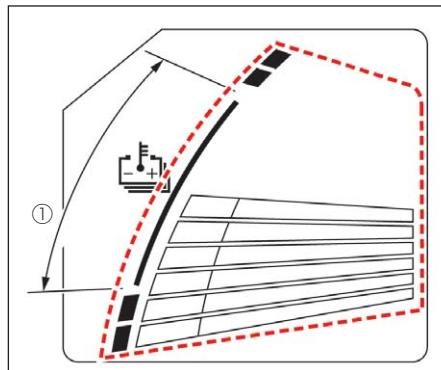


知識

- 12V バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

リチウムイオンバッテリー温度計

- 電源ポジションが ON のとき、リチウムイオンバッテリーの温度を表示します。
- 通常は、目盛りがイラストの①の範囲にあります。
- リチウムイオンバッテリーの温度は、外気温や充電状況、走行条件などにより変化します。

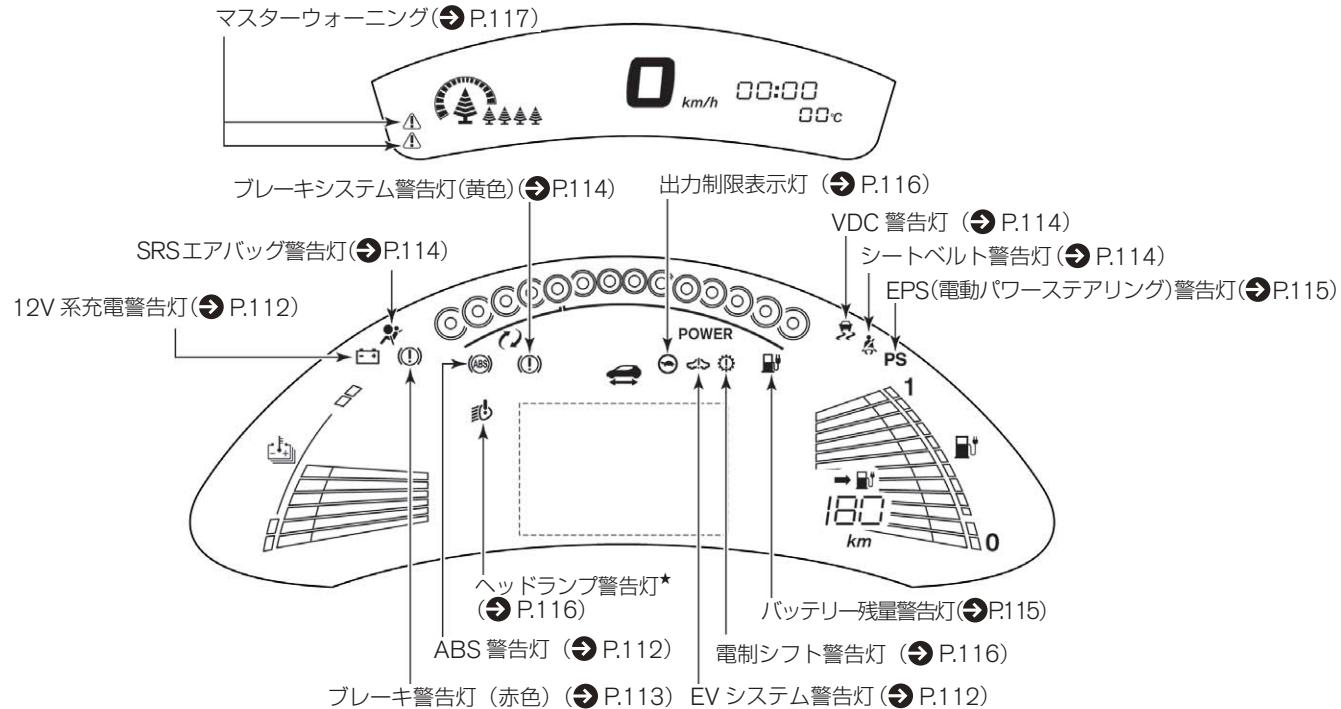


アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの温度が上がり①の範囲から外れると、出力制限表示灯  が点灯し、出力が制限されることがあります。リチウムイオンバッテリーの温度が下がるまで、風通しのよい日かけなどに停車してください。

知識

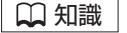
- 外気温が極端に低く、リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが表示されない場合は、走行可能状態にできないことがあります。
 - 急速充電にかかる時間は、リチウムイオンバッテリー温度計を目安にすることができます。
-  [急速充電にかかる時間について…](#)
P.48



名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
EV システム警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 モーター や 高電圧システムなどに異常が発生すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
12V 系充電警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、走行可能状態になると消灯します。 12V バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 12V 系充電警告灯が点灯したまま走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
ABS 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 ABS のシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p>車両 アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ABS 警告灯が点灯したときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

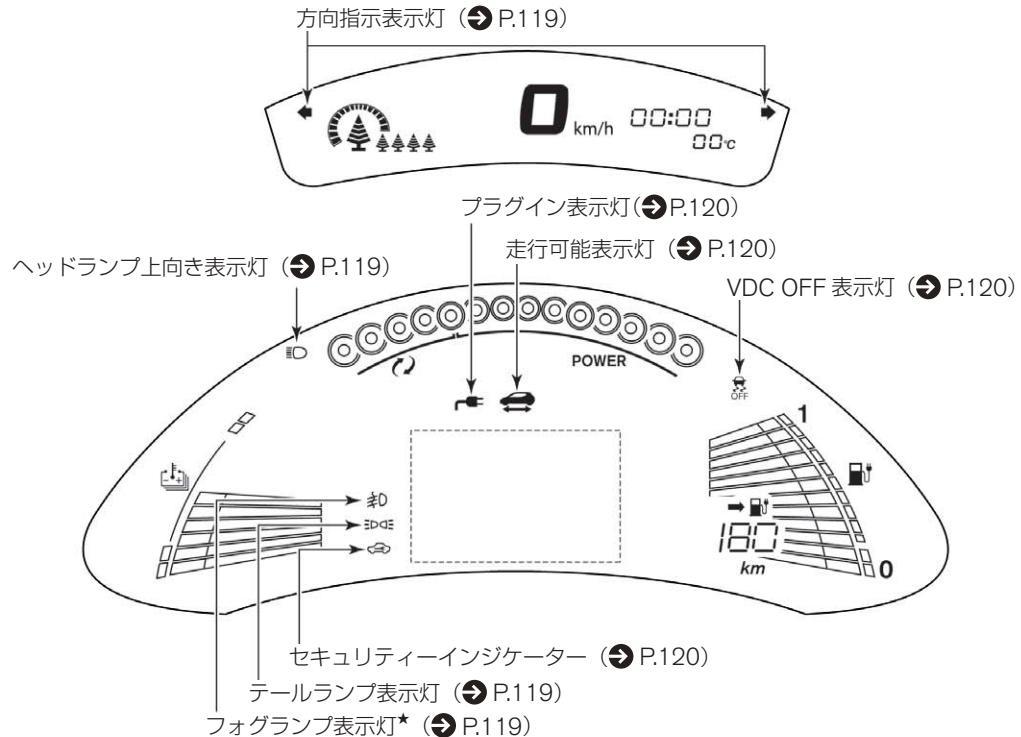
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
<p>ブレーキ警告灯 (赤色)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パーキングブレーキを解除して、電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 電源ポジションが ON のとき、次の場合に点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキをかけたとき。 ブレーキ液が不足しているとき。 ブレーキシステムに異常があるとき。 	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ブレーキ液が正常で ABS 警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p> 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行可能状態でパーキングブレーキを解除しても、ブレーキ警告灯(赤色表示)が点灯し続けるときは、走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキシステム警告灯  と同時に点灯するとブザーが鳴ります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキシステム 警告灯（黄色） 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 電源ポジションが ON のとき、回生ブレーキのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; display: inline-block;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキシステム警告灯  が点灯しているときは、回生ブレーキが作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
シートベルト 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションが ON のとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）が鳴ります。 シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー） 運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約 15km/h 以上）、約 90 秒間ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> シートベルトを着用してください。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; display: inline-block;">  警告 </div> <ul style="list-style-type: none"> 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
SRS エアバッグ 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 SRS エアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。 	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; display: inline-block;">  警告 </div> <ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にしても点灯しないときや、点灯または点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のとき SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
VDC 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 VDC 作動中に点滅します。 VDC のシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯中は、VDC の作動は停止しますが、VDC システムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
バッテリー残量 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。
EPS (電動パワー ステアリング) 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、走行可能状態になると消灯します。 電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたら停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。 システムが過熱するような操作を繰り返すと故障の原因になります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがあります、異常ではありません。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
出力制限表示灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 次の場合に点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高いとき 一部の車両故障が発生しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯中は出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ナビゲーション画面または車両情報ディスプレイにメッセージが表示されたときは、それらの指示に従ってください。 リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EV カスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。
ヘッドランプ 警告灯★ 	<ul style="list-style-type: none"> LED ヘッドランプ★に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
電制シフト警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 電制シフトに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 車両情報ディスプレイにメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
マスター ウォーニング	<ul style="list-style-type: none">口アメーター（メータ下部）の警告灯や一部の表示灯が点灯したとき、または車両情報ディスプレイに一部の警告メッセージが表示されたときに同時に点灯します。	<ul style="list-style-type: none">同時に点灯した警告灯または表示灯、警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。



名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
方向指示表示灯 	● 方向指示器または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。	● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。
ヘッドランプ 上向き表示灯 	● ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。	⇒ ヘッドランプの上向き、下向きの切り替え…P.169
テールランプ 表示灯 	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	⇒ ライトの点灯・消灯…P.168
フォグランプ 表示灯* 	● フォグランプを点灯させると点灯します。	⇒ フォグランプの点灯…P.171

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
VDC OFF 表示灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 VDC OFF スイッチを押すと点灯します。 	⇒ VDC…P.95
セキュリティ インジケーター 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションが ON 以外のときに点滅します。 ⇒ イモビライザ…P.81 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
プラグイン表示灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。 充電コネクタを車両に接続すると点灯し、充電中は点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> 充電コネクタを接続しても点灯しないときや、充電中に点滅しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
走行可能表示灯 	<ul style="list-style-type: none"> 走行可能状態になると点灯します。(走行中も点灯し続けます。 	—

警告メッセージ

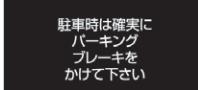
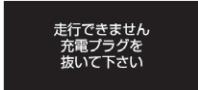
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
EV システム始動操作表示	<ul style="list-style-type: none"> EV システムを始動するときは、ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すことを表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、電源ポジションが走行可能状態になります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、EV システム始動操作表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> EV システムを始動したとき 電源ポジションを OFF にしてから約 15 秒経過したとき リモートコントロールエントリー機能、またはリクエストスイッチでドアを施錠したとき シフトポジションが P 以外になったとき
インテリジェントキー非作動時 EV システム始動表示	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させてください。

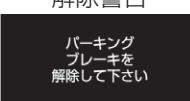
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
インテリジェントキー電池切れ表示	<ul style="list-style-type: none">インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。	<ul style="list-style-type: none">新しい電池に交換してください。 ☞電池の交換…P.140次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。<ul style="list-style-type: none">表示から約 30 秒経過したとき。電源ポジションを ON 以外にしたとき。



名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
インテリジェントキー持ち出し警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> – 電源ポジションが ACC で、インテリジェントキーが車外に持ち出されたとき – インテリジェントキーを携帯していないとき – 携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているとき – 登録されていないインテリジェントキーを携帯しているとき 	<p>点灯・点滅した条件に応じて次のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーが車外に持ち出されているか確認してください。 ● 電源ポジションを OFF にしてください。 ● インテリジェントキーを携帯してください。 ● 新しい電池に交換してください。 ⇒ 電池の交換…P.140 ● 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。
ドア開き警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションが ON のとき、ドアが確実に閉まつていないと、開いている位置を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを確実に閉めてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
キーシステム警告 	● インテリジェントキーのシステムに異常があると表示します。	● 日産販売会社に連絡してください。電源ポジションを切り替えられないことがあります。
走行時間アラーム 	● ドライブコンピューター(P.128)で設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	—
凍結注意アラーム 	● 外気温が3°C以下になったことを知らせます。	—
ランプ消し忘れ警告 	● 電源ポジションがOFFで運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO★以外のON位置にあると表示します。	● ライトスイッチをOFFにしてください。
プラグイン表示 	● 充電コネクタが接続されているときに表示します。	—

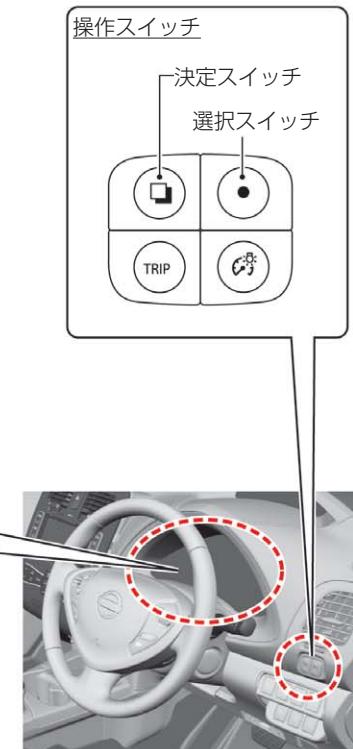
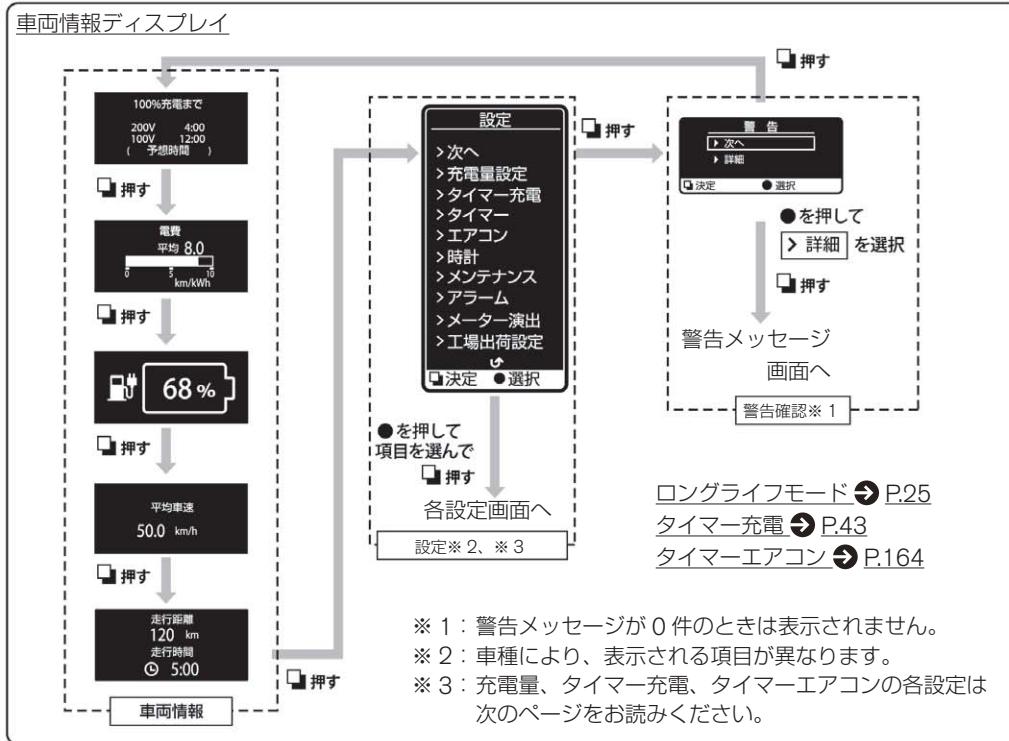
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
電制シフト警告 A 	● 電制シフトに異常が発生すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、電源ポジションを OFF にできないことがあります。
電制シフト警告 B 	● 電制シフトに異常が発生すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、セレクトレバーを操作するときは、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 駐車するときは、セレクトレバー上部の②スイッチを押し、Pに切り替わったことを確認してください。
充電コネクタ取り外し警告 	● 車両に充電コネクタが接続された状態で、電源ポジションを走行可能状態にしようとすると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 走行可能状態にするときは、充電コネクタを取り外してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
シフトポジション警告 	● セレクトレバーが中央の位置以外で保持され続けると表示します。	● セレクトレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ● セレクトレバーが正しい位置にあるときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
リチウムイオンバッテリー残量警告 	● リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、バッテリー残量警告灯  の点灯と同時に表示します。	● すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。
出力制限警告 	● 出力制限表示灯  (☞P.116) が点灯すると同時に表示します。	● 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ● ナビゲーションシステムにメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EV カスタマーセンター (0120-230-834) へご連絡ください。
パーキングブレーキ解除警告 	● パーキングブレーキをかけたまま車速が 3km/h 以上になると表示します。	● 停車して、パーキングブレーキを解除してから発進してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
12V 系充電警告  すみやかに 安全な場所に 停車してください	● 走行中、12V バッテリー系のシステムに異常が発生すると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
パーキングブレーキ 操作警告  すみやかに パーキングブレーキ をかけてください	● 停車中に 12V バッテリー系のシステムに異常が発生すると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
P 戻し忘れ警告  P レバージに 入れて下さい	● シフトポジションが P 以外で運転席ドアが開いていると表示されます。	● シフトポジションを P に切り替えてください。
ポジション インジケーター  P	● 電源ポジションが ON のとき、セレクトレバーのシフトポジションを表示します。	—
ECO モード インジケーター  ECO	● 電源ポジションが ON のとき、ECO モードを ON にすると車両情報ディスプレイに表示します。	☞ ECO モード…P.91

電源ポジションを ON にすると、決定スイッチ ① でモードを選択できるようになります。

画面の切り替えかた



車両情報

項目	概要	詳細説明
予想充電時間  100%充電まで 200V 4:00 100V 12:00 (予想時間)	● 充電完了（80% または 100%）までにかかる時間の目安を表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 充電中は、使用している電圧以外の表示が「-- : --」になります。 充電が完了したときは、すべての表示が「-- : --」になります。 充電完了後は、しばらく走行して電力を消費すると、再び時間が表示されます。 充電中にエアコンを ON にすると、表示された時間が変化しなくなります。エアコンを OFF にして 15 分以上経過すると、再び表示が変化するようになります。 電源ポジションを ON にした直後は、実際にかかる時間より長めに表示されることがあります。
瞬間電費／ 平均電費  電費 平均 8.0 0 5 10 km/kWh	瞬間電費 ● 走行中の瞬間電費をグラフで表示します。 平均電費 ● リセットしてから現在までの平均電費を瞬間電費の上に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 走行中、回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリーが充電されているときは、瞬間電費は最大値を示し、発電された電力が消費されるまで最大値を表示し続けます。 リセットするときは選択スイッチ (●) を 1 秒以上押します。（平均電費と平均車速を同時にリセットします。）

項目	概要	詳細説明
バッテリー残量 	● 現在のリチウムイオンバッテリーの推定残量を%で示します。	● 5%以下になると「---」と表示します。
平均車速 	● リセットしてから次にリセットするまでの平均車速を表示します。	● リセットするときは、選択スイッチ ● を1秒以上押します。 ● 12Vバッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。 ● 数値は約30秒ごとに更新します。
走行距離／走行時間 	● リセットしてから現在までの走行距離、走行時間を表示します。	● リセットするときは、選択スイッチ ● を1秒以上押します。
タイヤ交換表示 	● 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。	● タイヤ交換距離は設定したり、リセットしたりできます。
ユーザー 1～ユーザー 3 	● タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。	● その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。

■ 設定

選択スイッチ (●) と、メニューを選択します。決定スイッチ (□) を押すと決定し、設定画面が表示されます。なお、走行中は操作できません。

項目	操作
時計	<p>アッパーメーターにある時計の調整ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 24/12 時間 12 時間表示または 24 時間表示を選択できます。 ● 時計調整（ナビゲーションシステム無車） 選択スイッチ (●) を押して “時” を調整し、決定スイッチ (□) を押します。 選択スイッチ (●) を押して “分” を調整し、決定スイッチ (□) を押します。 12V バッテリーを取り外すと、表示時刻がリセットされます。
メンテナンス	<p>各種の交換時期を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タイヤ タイヤ交換距離の設定またはリセットします。 ● ユーザー 1／ユーザー 2／ユーザー 3 交換／メンテナンス項目の距離を設定します。

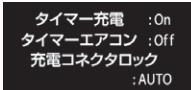
項目	操作
アラーム	<p>各種のアラーム表示を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">● 走行時間 運転者への警告時間を設定します。● 外気温 凍結注意アラームの ON または OFF を設定します。
メーター演出	<p>スタートアップサウンドの作動音の変更と消音を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">● サウンド1／サウンド2／サウンド3 選択スイッチ  を押し作動音を選択し、決定スイッチ  を押します。● Off 作動音を消音に設定します。
工場出荷設定	<ul style="list-style-type: none">● 初期化 オドメーター以外のすべての値を初期設定値にリセットできます。

警告確認

項目	表示される情報	説明
警告確認	<ul style="list-style-type: none">ドライブインジケーターの警告メッセージを検知すると表示します。	<ul style="list-style-type: none">警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。警告表示中に決定スイッチ  を押すと、元の表示に戻す（また、処置されていない警告を確認する）ことができます。

■ タイマー設定状態確認表示

電源ポジションを OFF にすると、約 10 秒間表示されます。決定スイッチ  を押すごとに、表示が切り替わります。約 10 秒間押さないと表示が消えます。

表示	名称	説明
	タイマー設定／充電コネクタロックの状態確認	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマー充電、タイマーエアコン、充電コネクタロックの設定状況が確認できます。
	タイマー充電の設定確認	<ul style="list-style-type: none"> ● ナビゲーションシステム付車は、タイマー充電の開始時刻、終了時刻、曜日を確認できます。 ● ナビゲーションシステム無車は、タイマー充電の終了時刻を確認できます。
	充電時間	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマー充電で設定されている充電量（80% または 100%）までにかかる予想所要時間を確認できます。
	タイマーエアコンの設定確認	<ul style="list-style-type: none"> ● タイマーエアコンの出発予定時刻、曜日（ナビゲーションシステム付車のみ）を確認できます。

ドアの施錠と解錠

インテリジェントキー	P.136
インテリジェントキーの電池交換	P.140
ドア	P.141
バックドアの開閉	P.146

ウインドーの開閉

パワーウィンドー	P.148
----------	-------

エアコンの使いかた

オートエアコン（ナビゲーションシステム付車）	P.150
オートエアコン（ナビゲーションシステム無車）	P.154
吹き出し口	P.158
エアコンについて	P.159
タイマーエアコン	P.162

スイッチの操作

ライトスイッチ	P.168
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.172
ステアリングヒータースイッチ	P.175
ヒーターシートスイッチ	P.176

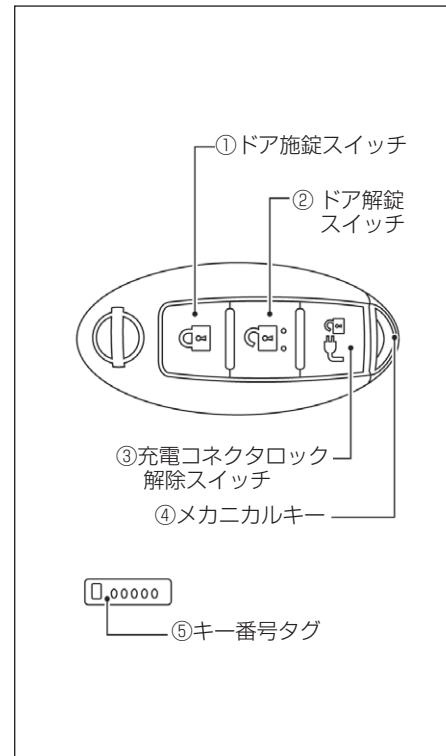
室内装備

マップランプ／ルームランプ	P.177
トノカバー★	P.179
ゴルフバッグの収納	P.180
充電ケーブル格納バッグ	P.181
グローブボックス	P.182
センターコンソールボックス	P.183
カップホルダー／ボトルホルダー	P.184
オーバーヘッドコンソール	P.185
サンバイザー／バニティミラー	P.186
電源ソケット	P.187
フロアーカーペット	P.188

インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなく
ドアの施錠・解錠(☞P.141)や始動操作(☞P.87)ができます。

各部名称と機能

- ①ドア施錠スイッチ
 - スイッチを押すと、全ドアを施錠します。
- ②ドア解錠スイッチ
 - スイッチを押すと、全ドアを解錠します。
- ③充電コネクタロック解除スイッチ
 - スイッチを1秒以上押すと、充電コネクタのロックが解除されます。また、充電ポートが閉まっているときは、充電ポートが開きます。
☞充電コネクタロック…P.31
- ④メカニカルキー
 - インテリジェントキーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ⑤キー番号タグ
 - キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



インテリジェントキーに関する注意事項

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようしてください。ドアおよびバックドア開閉時、各リクエストスイッチ操作時、EVシステム始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 航空機内ではインテリジェントキーのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万ースイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

⚠ 注意

- インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。
- インテリジェントキーは、EVシステムの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。
- インテリジェントキーは、必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。
 - － 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - － 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - － インテリジェントキーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - － 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき
 - － インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - － コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - － 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - － 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）

 **アドバイス**

- インテリジェントキーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - － 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したのちを使用することは法律で禁止されています）
 - － 日本国内のみで使用する
- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
 - ☞ 電池交換のしかた…P.140
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、応急処置としてEVシステムの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。
 - ☞ インテリジェントキーで始動できない…P.197
 - ☞ インテリジェントキーでドアが開かない…P.196
- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。電池を著しく消耗することがあります。
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - － 長時間高温になる場所に置かない
 - － 分解しない
 - － 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない
 - － 水にぬらさない
 - － 超音波洗浄器などにかけない
 - － 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - － テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない



アドバイス

- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。



知識

- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- インテリジェントキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。

➡ 電池交換のしかた…P.140

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。(施錠時1回、解錠時2回)

- アンサーバック機能を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

オートロック機能

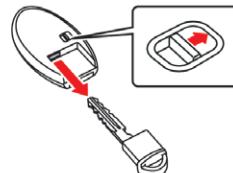
- リクエストスイッチ（またはインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれかの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。(施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。)
 - ドアを開ける
 - パワースイッチを押す

インテリジェントキーの電池交換

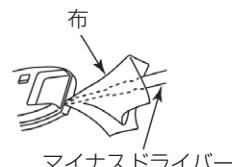
ドアの施錠と解錠

インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。

- 1 キー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。



- 2 スリットにマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。(カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。)

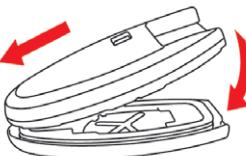


- 3 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。(新しい電池は、+ 極を下にして取り付けてください。)

使用電池：CR2025



- 4 カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



⚠️ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

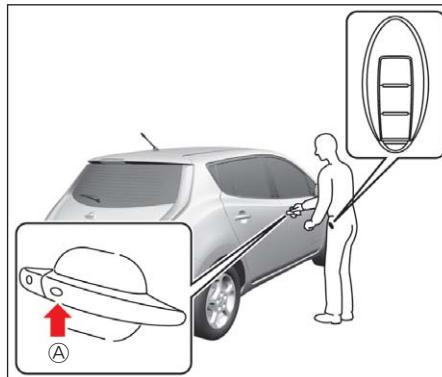
🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。

インテリジェントキー機能による施錠・解錠

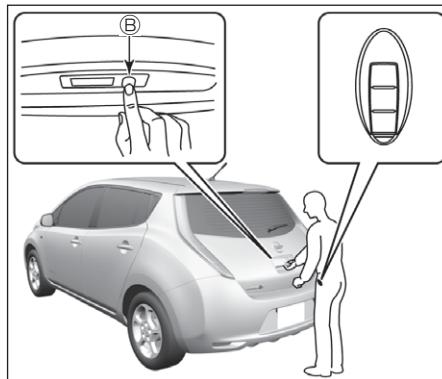
■前席ドア／後席ドア

- ・インテリジェントキーを携帯し、運転席ドアまたは助手席ドアの施錠・解錠範囲内でドアハンドルのリクエストスイッチⒶを押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- ・施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



■バックドア

- ・インテリジェントキーを携帯し、バックドアの施錠・解錠範囲内でバックドアのリクエストスイッチⒷを押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- ・施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備



アドバイス

- ・車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- ・作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

知識

- ・インテリジェントキーを検知しているリクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ・ドアの施錠・解錠時には、アンサーバック機能およびオートロック機能(☞P.139)が作動します。

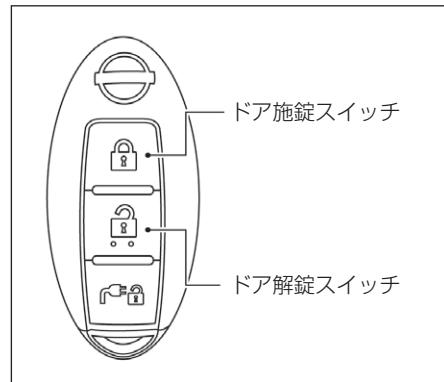
リモコンによる施錠・解錠

車に近づき、リモコンスイッチを押します。

作動範囲は、車両から約 1m です。（作動範囲は周囲の状況によって変化します。）

ドア施錠スイッチ  を押すと全ドアを施錠します。

ドア解錠スイッチ  を押すと全ドアを解錠します。

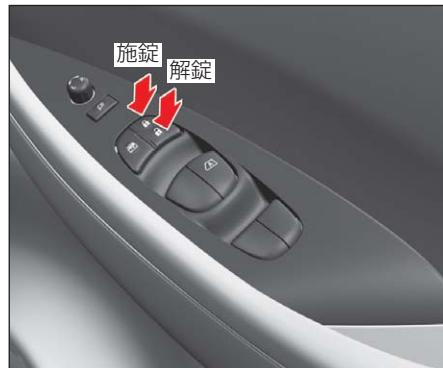


ドアロックスイッチによる施錠・解錠

運転席のドアロックスイッチを押します。

ドア施錠スイッチ  を押すと施錠します。

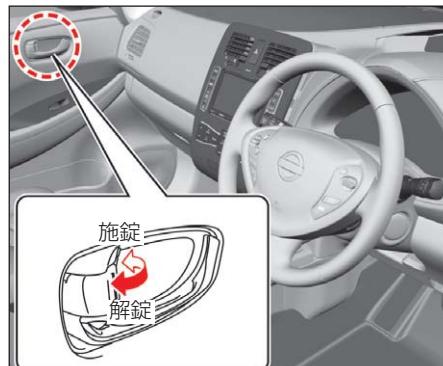
ドア解錠スイッチ  を押すと解錠します。



ロックノブによる施錠・解錠

ロックノブを前方に押し込むと施錠します。

ロックノブを手前に引くと解錠します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

キーを使わない施錠

● 前席ドア

車室内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

● 後席ドア

車室内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

チャイルドセーフティドアロック

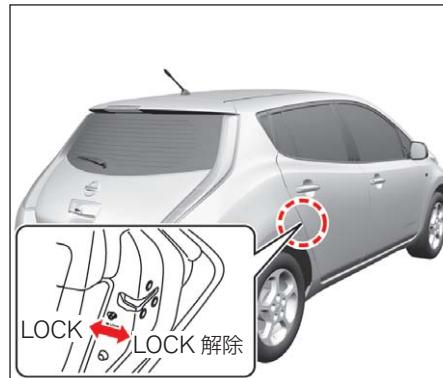
車室内のロックノブの位置に関係なく、後席ドアを車室内から開けられなくできます。

● ドアロックのしかた

後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

● ドアを開けるとき

ロック作動中にドアを開けるときは、ドアが解錠していることを確認し、車外からドアハンドルを引きます。



知識

キー封じ込み防止機能

- インテリジェントキーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

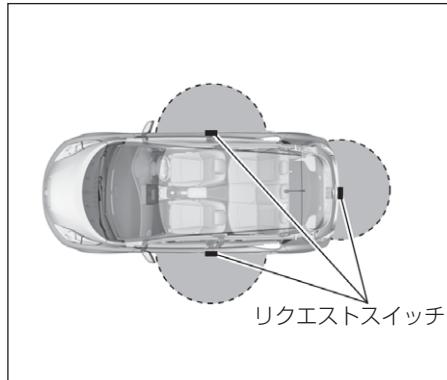
知識

- 車室内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各リクエストスイッチを中心とし球状になっています。地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

インテリジェントキーが作動範囲内にある場合は、インテリジェントキーを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠・解錠できます。



- ドアハンドルのリクエストスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのリクエストスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ず電源ポジションをOFFにして施錠してください。

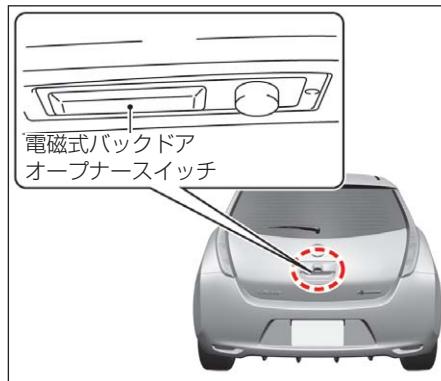
★：車両型式、オプションなどで異なる装備

警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分に注意してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ バックドアの開けかた

インテリジェントキーを携帯して電磁式バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
(ドアも同時に解錠します。)

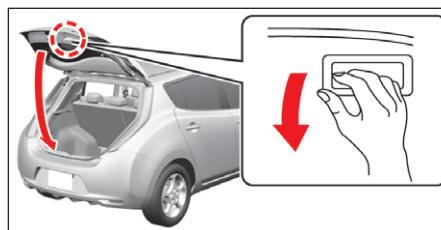


▲ 注意

- 電磁式バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。

■ バックドアの閉めかた

ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカに異物をかみ込まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



バックドアの開閉時の注意事項

⚠ 警告

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。

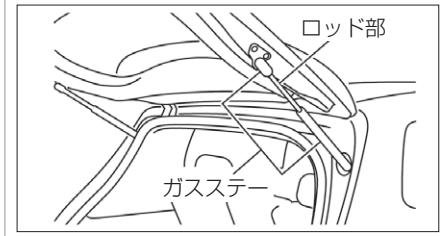
⚠ 注意

- バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。
- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。



アドバイス

- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを開めたり、ぶら下がったりしないでください。手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

電源ポジションが ON のとき操作できます。

■ 開閉のしかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。また、助手席のスイッチおよび後席のスイッチで自席の窓ガラスの開閉ができます。

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

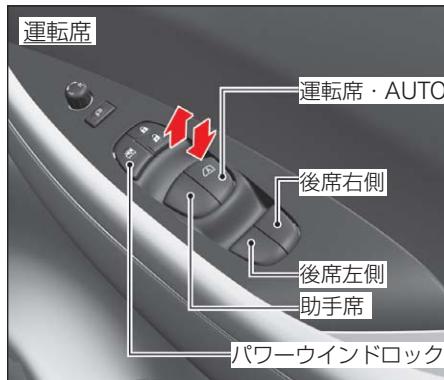
■ ワンタッチ開閉のしかた (AUTO)

運転席の窓ガラスは、ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

■ ロックのしかた

- 運転席のパワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。



⚠ 警告

- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- お子さまを乗せているときは、パワーウィンドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

BOOK 知識

キー OFF 後作動機構

- 運転席の窓ガラスは、電源ポジションを ACC または OFF にしたあとでも、約 15 分間は開閉することができます。ただし、その約 15 分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチ開閉で閉めているときやキー OFF 後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

▲ 注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。

正常に作動しないとき

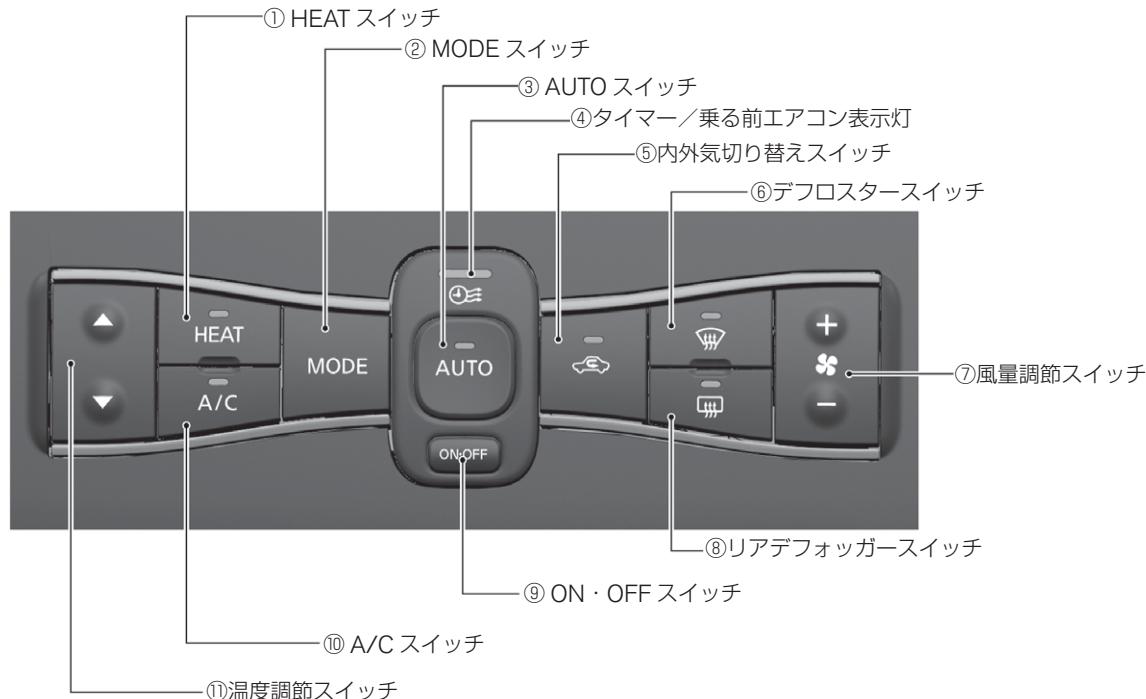
バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キー OFF 後作動機構が正常に作動しないことがあります。以下の操作を行い、初期設定してください。

- ①電源ポジションを ON にします。
- ②スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- ③スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して 3 秒以上たってから手を離します。
- ④正常に作動することを確認します。正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべての機能が使えます。

各スイッチの名称と機能



① HEAT スイッチ

スイッチを押すごとに、暖房機能の ON・OFF が切り替わります。

② MODE スイッチ

スイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

③ AUTO スイッチ

スイッチを押すと、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

④ タイマー／乗る前エアコン表示灯

タイマーエアコン（☞P.162）を予約しているときに点灯します。

タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★が作動しているときは点滅します。

⑤ 内外気切り替えスイッチ

スイッチを押すごとに内気循環／外気導入が切り替わります。

（内気循環のときにスイッチの表示灯が点灯）

⑥ デフロスタースイッチ（☞P.212）

フロントガラスのくもりを取るときに使います。

⑦ 風量調節スイッチ

スイッチを押すごとに、風量が切り替わります。

⑧ リアデフオッガースイッチ（☞P.213）

バックドアガラスのくもりを取るときに使います。

⑨ ON・OFF スイッチ

スイッチを押すごとに、オートエアコンの ON・OFF が切り替わります。

⑩ A/C スイッチ

スイッチを押すごとに冷房・除湿機能の ON・OFF が切り替わります。

⑪ 温度調節スイッチ

スイッチを押すごとに、設定温度が切り替わります。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

 **アドバイス**

- A/C スイッチの表示灯と HEAT スイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、エアコンの消費電量が多くなるため、航続可能な距離が減少することがあります。

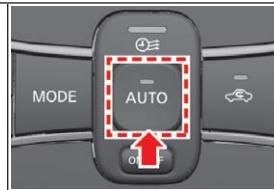
 **知識**

- HEAT スイッチと A/C スイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、除湿暖房運転になります。
- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要なときのみ使用することでエアコンの消費電力を抑え、航続可能な距離を延ばすことができます。

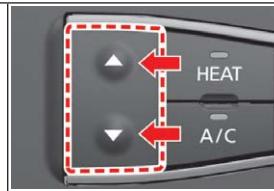
オートで使用すると、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動で制御して室内温度を一定に保ちます。

オートで使うとき

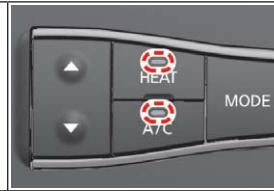
- 1 AUTO スイッチを押します。
(スイッチの表示灯が点灯)



- 2 温度調節スイッチを押して、設定温度を調節します。
 ◆▲ : 設定温度を上げる
 ◆▼ : 設定温度を下げる



- 3 A/C スイッチまたは HEAT スイッチのどちらかの表示灯が点灯します。
 A/C スイッチ点灯時：冷房・除湿機能 ON
 HEAT スイッチ点灯時：暖房機能 ON



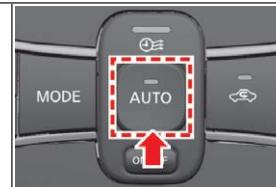
知識

- オートで使用中に、冷房、暖房の切り替え、風量、吹き出し口、内気／外気の切り替えをマニュアル操作したときは、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- AUTO スイッチの表示灯が点灯しているときは、消費電力を抑えた最適な状態でエアコンが作動します。

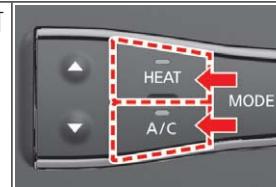
送風で使うと、エアコンの消費電力が少なくなるため、航続可能距離を延ばすことができます。

送風で使うとき

1 AUTOスイッチを押します。



2 A/CスイッチまたはHEATスイッチ（表示灯が点灯しているスイッチ）を押し、表示灯を消灯させます。



3 風量調節スイッチで風量を調節します。

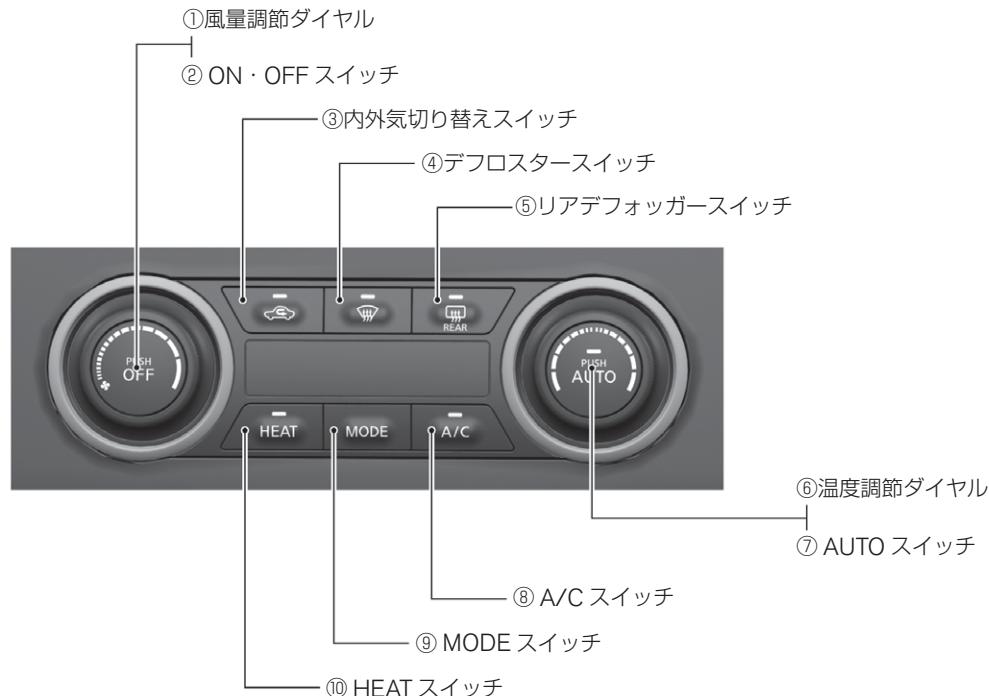


知識

- 送風になると、ナビゲーション画面に温度表示が表示されなくなります。
- AUTOスイッチ、A/Cスイッチ、HEATスイッチの表示灯がすべて消灯すると、送風になります。

走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべての機能が使えます。

各スイッチの名称と機能



①風量調節ダイヤル

ダイヤルを回すと、風量が切り替わります。

②ON・OFFスイッチ

スイッチを押すごとに、オートエアコンのON・OFFが切り替わります。

③内外気切り替えスイッチ

スイッチを押すごとに内気循環／外気導入が切り替わります。

（内気循環のときにスイッチの表示灯が点灯）

④デフロスタースイッチ（ P.212）

フロントガラスのくもりを取るときに使います。

⑤リアデフォッガースイッチ（ P.213）

バックドアガラスのくもりを取るときに使います。

⑥温度調節ダイヤル

ダイヤルを回すと、設定温度が切り替わります。

⑦AUTOスイッチ

スイッチを押すと、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

⑧A/Cスイッチ

スイッチを押すごとに冷房・除湿機能のON・OFFが切り替わります。

⑨MODEスイッチ

スイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

⑩HEATスイッチ

スイッチを押すごとに、暖房機能のON・OFFが切り替わります。



アドバイス

- A/Cスイッチの表示灯とHEATスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、エアコンの消費電量が多くなるため、航続可能な距離が減少することがあります。

知識

- HEATスイッチとA/Cスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、除湿暖房運転になります。

エアコンについて…P.159

- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要なときのみ使用することでエアコンの消費電力を抑え、航続可能な距離を延ばすことができます。

オートで使用すると、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動で制御して室内温度を一定に保ちます。

オートで使うとき

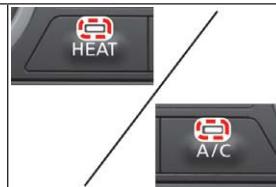
- 1 AUTO スイッチを押します。
(スイッチの表示灯が点灯)



- 2 温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。
右回し：設定温度を上げる
左回し：設定温度を下げる



- 3 A/C スイッチまたは HEAT スイッチのどちらかの表示灯が点灯します。
A/C スイッチ点灯時：冷房・除湿機能 ON
HEAT スイッチ点灯時：暖房機能 ON



知識

- オートで使用中に、冷房・暖房の切り替え、風量、吹き出し口、内気／外気の切り替えをマニュアル操作したときは、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- AUTO スイッチの表示灯が点灯しているときは、消費電力を抑えた最適な状態でエアコンが作動します。

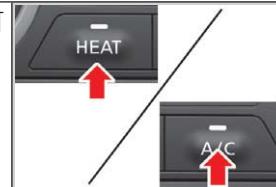
送風で使うと、エアコンの消費電力が少なくなるため、航続可能距離を延ばすことができます。

送風で使うとき

1 AUTOスイッチを押します。



2 A/CスイッチまたはHEATスイッチ（表示灯が点灯しているスイッチ）を押し、表示灯を消灯させます。



3 風量調節ダイヤルで風量を調節します。



知識

- 送風になると、操作パネルに温度表示が表示されなくなります。
- AUTOスイッチ、A/Cスイッチ、HEATスイッチの表示灯がすべて消灯すると、送風になります。

吹き出し口の切り替え
りかた

上半身に送風



上半身と足元に送風



主に足元に送風

窓のくもり取りと
足元に送風

窓のくもり取り

吹き出し口の位置

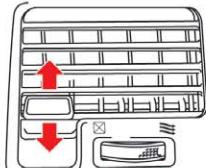
窓のくもり取り



上半身



足元



閉める 開ける



開ける 閉める

- この車両のエアコンは、冷房／暖房機能と送風機能でそれぞれ使える条件が異なります。
それぞれの機能は次の条件のときに使用できます。

電源ポジション	OFF	ACC	ON	走行可能状態
送風機能	-	-	○	○
冷房／暖房機能	-	-	○※ 1	○
タイマーエアコン	○※ 2	○※ 2	-	-
乗る前エアコン (リモート) *	○	○	-	-

※ 1：充電中のみ使用できます。

※ 2：充電ケーブルの接続が必要です。

- この車両のエアコンは、4つの運転モードがあります。

スイッチ				
運転モード	送風運転 HEAT スイッチ： OFF A/C スイッチ：OFF	冷房運転 HEAT スイッチ： OFF A/C スイッチ：ON	暖房運転 HEAT スイッチ： ON A/C スイッチ：OFF	除湿暖房運転 HEAT スイッチ： ON A/C スイッチ：ON

知識

- イラストは、ナビゲーションシステム付車です。
- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要なときのみ使用することでエアコンの消費電力を抑え、航続可能距離を延ばすことができます。

⚠ 警告

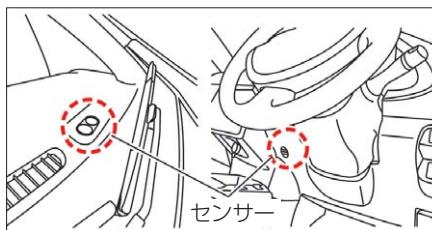
- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損なわれ危険ですので、一時的に使ってください。
- おさま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さないでください。炎天下では車室内が高温になり、生命にかかるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスター スイッチを ON しているときに、エアコンの設定温度を低くすると、フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。
- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- エアコンの消費電力は、外気温とエアコンの設定温度により変化します。特に夏に車室内を冷やしすぎたり、冬に車室内を温めすぎたりすると、消費電力が多くなり航続可能距離が大幅に減少する原因になります。



- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンフィルターは定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは
12,000km 走行ごと



アドバイス

- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどき A/C スイッチを ON にしてください。なお、外気温が 0°C 近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ず HFC134a(R134a)を入れてください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- この車両では、エアコンのシステムに特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。



知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したり見えることがあります、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が 0°C 近くまで下がると、A/C スイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンが ON のとき、または OFF にした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがあります、異常ではありません。
- タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）の作動時もコンプレッサーおよび冷却ファンの音がしますが、異常ではありません。
- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。

● エアコンの運転中、運転後または充電中などに車両の下に水が垂れることがあります。

● 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

プラズマクラスターイオン® フルオートエアコン（除菌機能付き）★

● 送風中は常時作動し、高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。さらに肌の保湿効果をプラスしました。

● プラズマクラスター、プラズマクラスターイオンおよび Plasmacluster はシャープ株式会社の商標です。

ナビゲーション画面で出発予定時刻を設定すると、エアコンが自動的に作動し、お出かけ前に車室内を快適な温度にします。

タイマーエアコンの設定（ナビゲーションシステム付車）

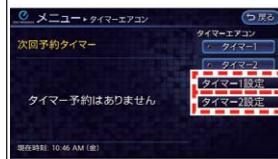
- 1 Zero Emission（ゼロエミッション）ボタンを押します。



- 2 タイマーエアコンをタッチします。



- 3 タイマー1設定またはタイマー2設定をタッチします。



- 4 出発時刻を入力します。



⚠ 警告

- タイマーエアコンを設定しても、システムの自動停止などの理由で車室内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とする方、ペットを車室内に残さないでください。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

📖 知識

- 2種類の出発予定時刻を登録できます。また設定した2種類の時刻は、どちらの時刻で作動させるかを1週間分予約できます。設定した予約は継続されるため、毎回設定する必要はありません。



前のページから

5

曜日の指定をタッチし、曜日ごとに作動させたい設定を選択したあと **決定**をタッチします。



6

決定をタッチすると、確認画面が表示されます。内容に間違いがなければ **はい**をタッチします。



7

設定が保存され、**タイマー1**または**タイマー2**の表示灯が点灯します。
また、エアコン操作パネルのタイマー／乗る前エアコン表示灯が点灯します。



8

充電ケーブルを接続します。
充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた(→ P.38)の手順1～8をお読みください。
※予約した時刻にあわせて自動的に開始されます。



知識

- **曜日の指定**でOFFを選択すると、その曜日は作動せず、次回の予約まで待機します。
- タイマーエアコンの予約を解除する場合は、解除したい設定（**タイマー1**または**タイマー2**）をタッチして表示灯を消灯させます。
- タイマーエアコンを予約したあとは、必ず電源ポジションをOFFにし、充電ケーブルを接続してください。タイマーエアコンが作動しません。
- タイマーエアコンが作動すると、タイマー／乗る前エアコン表示灯と充電インジケーターが点滅します。
- タイマーエアコンの温度はナビゲーション画面で変更することができます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

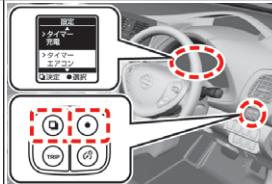
メーター内の車両情報ディスプレイで出発予定時刻を設定すると、エアコンが自動的に作動し、お出かけ前に車室内を快適な温度にします。

タイマーエアコンの設定（ナビゲーションシステム無車）

- 1 メーターのドライブコンピューターで決定スイッチ  を数回押し、「設定」画面を表示します。
⇒ドライブコンピューター…P.128



- 2 選択スイッチ  を押して「タイマーエアコン」を選択し、決定スイッチ  で決定します。



- 3 現在の設定内容が表示されるので、選択スイッチ  を押して変更画面へ進みます。



- 4 選択スイッチ  を押して「On」を選択し、決定スイッチ  で決定します。
タイマーエアコンがONになると、時刻を入力する画面に切り替わるため、タイマーエアコンを終了させたい時刻を入力します。



⚠ 警告

- タイマーエアコンを設定しても、システムの自動停止などの理由で車室内が高温または低温になることがあります。お子さまや介護を必要とする方、ペットを車室内に残さないでください。最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

📖 知識

- タイマーエアコンは、温度の設定はできません。室内温度が約25℃になるように設定されています。
- 出発予定時刻は、一度設定すれば毎日設定した時刻に作動します。タイマーエアコンが不要な日は、設定をOFFにしてください。



前のページから

- 5 選択スイッチ (●) を押して“時”を調整し、決定スイッチ (□) で決定します。
(選択スイッチ (●) を押し続けると速く進みます。)



- 6 選択スイッチ (●) を押して“分”を調整し、決定スイッチ (□) で決定します。
(選択スイッチ (●) を押し続けると速く進みます。)



- 7 設定した内容が表示されたら間違いがないか確認し、決定スイッチ (□) を押します。(タイマーエアコンがセットされます)
時刻を変更するときは、もう一度手順 3 からやり直します。



- 8 充電ケーブルを接続します。
充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた(P.38)の手順 1 ~ 8 をお読みください。
※予約した時刻にあわせて自動的に開始されます。



アドバイス

- タイマーエアコンを予約したあとは、必ず電源ポジションを OFF にし、充電ケーブルを接続してください。タイマーエアコンが作動しません。

■ タイマーエアコンを使用するときの注意事項

- 充電中にタイマーエアコンが作動すると、充電に必要な時間が伸びることがあります。
- 出発予定時刻になると、エアコンが自動的に停止します。設定した出発予定時刻よりも早く、または遅れて車に乗り込むと、車室内の温度が快適な温度になっていない場合があります。
- 外気温が低いときにタイマーエアコンを作動させると、リチウムイオンバッテリーの充電量が低下することがあります。
- 充電施設によっては、電源が時間帯によって ON・OFF するタイマー機能を持った設備があります。そのような充電施設でタイマーエアコンを設定する場合は、充電機の電源が ON になっているか確認してください。
- タイマーエアコン作動中でも設定した時刻を変更することができます。設定変更後に電源ポジションを OFF にすると、新しい設定が反映されます。
- タイマーエアコンは、家や充電器などから供給される電力を使用するため、外気温が極端に高い、または低いとき、AC100V の充電ケーブルを使用しているとき、設定温度と外気温の差が大きいときなどは、エアコンの性能が制限され、車室内が設定した温度にならないことがあります。

■ ナビゲーションシステム付車

- ナビゲーション画面でタイマーエアコンの設定温度を変更することができます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- タイマー充電とタイマーエアコンが同時に作動する場合は、どちらの機能を優先するか設定できます。詳しくは、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

- **タイマーエアコン優先** に設定されているときは、リチウムイオンバッテリー残量計が2目盛以上になるまでタイマーエアコンが作動しません。
- **タイマー充電優先** に設定されているときは、リチウムイオンバッテリー残量計が10目盛以上になるまでタイマーエアコンが作動しません。

■ナビゲーションシステム無車

- リチウムイオンバッテリー残量計が2目盛以上になるまでは、タイマーエアコンが作動しません。

■ ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせます。

スイッチ位置	点灯する灯火
OFF	全ライトが消灯
AUTO*	自動点灯・消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



■ オートライトシステムについて*

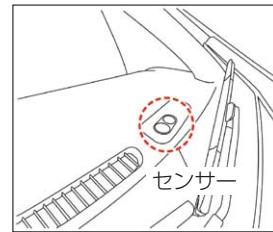
- 車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯させるシステムです。
- 電源ポジションが ON のときに使えます。
- 電源ポジションを OFF にすると消灯します。

■ フロントワイパー運動、薄暮れ感知機能

- 夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故などが多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者やドライバーへの注意を喚起します。

アドバイス

- 電源ポジションが走行可能状態以外のときは、長時間点灯させないでください。12V バッテリーがあがるおそれがあります。
- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

バッテリーセーバー

- ライトを点灯したまま電源ポジションを OFF にし、リモコンまたはリクエストスイッチで施錠すると 12V バッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。(次回、運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。)

ヘッドライトの上向き、下向き切り替え

下向き：レバーを中立位置にします。

上向き：ヘッドライト点灯時にレバーを前方に押します。

パッシング：スイッチ位置に関係なく、レバーを手前に引きます。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

⇒電球（バルブ）の交換…P.237

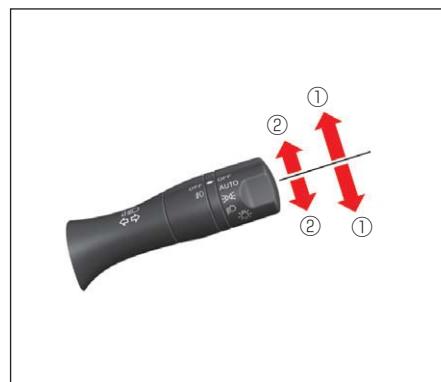
方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上または下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
(メーター内の表示灯が点滅)

- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上または下に軽く押さえます。

スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。



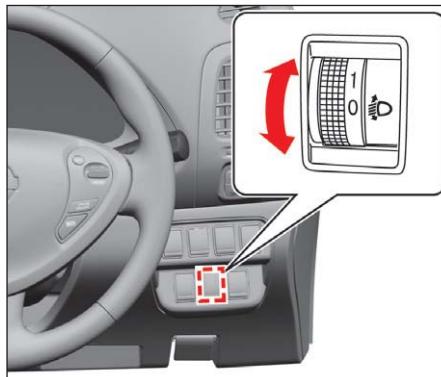
知識

- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

■ ヘッドランプレベライザースイッチ*

ハロゲンヘッドライト付車はヘッドライトが下向き点灯時に、照らす向きを調整します。

- 通常は、スイッチが0の位置で使います。
- スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



■ 各スイッチ位置の目安

乗員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ	積載なし	0
前席 2名	積載なし	1
5名	積載なし	2
運転席のみ	満載	3

アドバイス

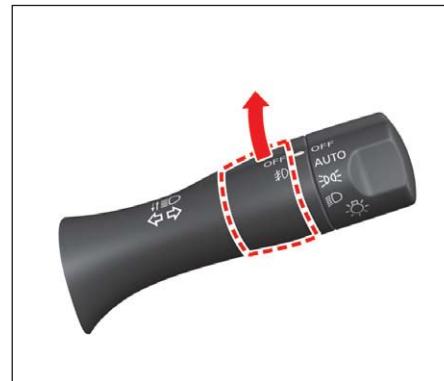
- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドライトが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調整してください。

知識

- LED ヘッドライト付車は、ヘッドライトが下向き点灯時の乗車人員や荷物量の違いによる車両姿勢の変化を自動的に調整するオートレベルライザー機能が付いています。

■ フォグランプスイッチ*

- ライトが点灯しているときに使えます。
霧などで視界が悪いときに使います。
- スイッチを回してマークを●の位置にあわせると点灯します。
(メーター内の表示灯が点灯)
 - 消灯するときは、OFFに合わせます。
(メーター内の表示灯が消灯)

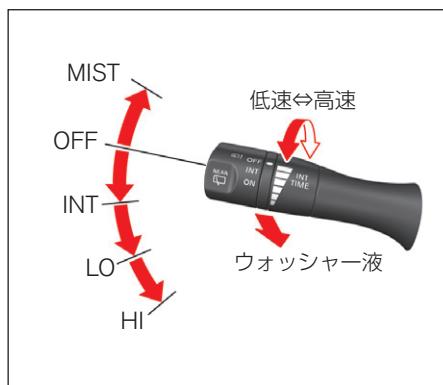


電源ポジションが ON のときに作動します。

■ フロントワイパーの使いかた

スイッチを上下に動かします。

スイッチ位置	作動
MIST	1回作動
OFF	停止
INT	間けつ作動 スイッチを回して、低速、高速に調節
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動



■ ウォッシャーの使いかた

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射しワイパーが数回作動します。

知識

- MIST の位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的に OFF 位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- オートライトシステム付車は、ライトスイッチが AUTO 位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。

⇒ オートライトシステムについて…
P.168

リヤワイパーの使いかた

スイッチを回してマークを●の位置にあわせると作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止
INT	間けつ作動（調整機能なし）
ON	低速連続作動



■ウォッシャーの使いかた

- スイッチを車両前方に軽く押すと、ウォッシャー液が噴射しリヤワイパーが数回作動します。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- 寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。



アドバイス

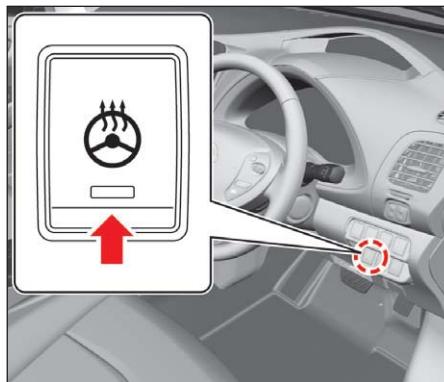
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパー アームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチを OFF にし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約 1 分程度）待ってから、再度スイッチを ON にしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、そのまま 30 秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ハンドルを温めます。

電源ポジションが ON のときに使えます。

ON・OFF のしかた

- スイッチを押すと約 30 分間作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 作動中は、ハンドルの表面温度が約 20°C を超える温度を保ちます。
- 作動中にスイッチを押すと作動が停止します。
(スイッチの表示灯が消灯)



アドバイス

- ハンドルの温度が約 20°C 以上のときは、スイッチを押してもステアリングヒーターは作動しませんが、故障ではありません。
- 外気温が低い(約 10°C 以下)とき、タイマーエアコンまたは乗る前エアコン(リモート)★を作動させると、エアコンの作動開始から約 15 分間ステアリングヒーターが自動的に作動します。

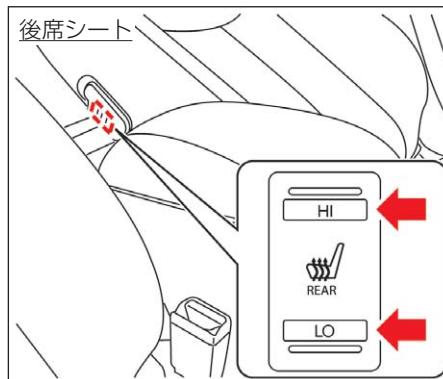
前席シートまたは後席シートを温めます。(後席は、左右席の座面部分のみ温まります。)
電源ポジションが ON のときに使えます。

ON・OFF のしかた

- スイッチの HI 側または LO 側を押すと作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)

スイッチ	働き
HI	早く温めたいとき
LO	保温したいとき

- 止めるときは、スイッチを水平な位置に戻します。
(スイッチの表示灯が消灯)
- スイッチを HI 側または LO 側にしてあると、タイマーエアコンおよび乗る前エアコン（リモート）*作動時、同時に作動します。



注意

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- シートに毛皮や座布団を載せたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。加熱するおそれがあります。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

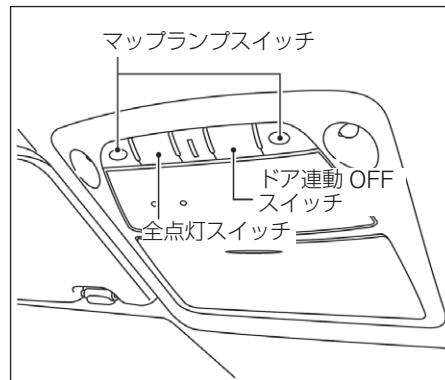
アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能状態で使ってください。

マップランプ

- 次のようにマップランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
全点灯スイッチ	スイッチを押すと、マップランプが常時点灯します。もう一度押すと消灯します。
ドア連動 OFF スイッチ	スイッチを押すと、常時消灯します。
マップランプスイッチ	スイッチを押した方のマップランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- 電源ポジションが OFF のときは、マップランプを長時間点灯させないでください。12V バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- ドア連動 OFF スイッチが押し込まれていないときは、次の条件で点灯します。
 - 電源ポジションを OFF にしてから約 15 秒間
 - 電源ポジションが OFF のとき、ドアを解錠してから約 15 秒間
 - 電源ポジションが OFF のとき、ドアを閉めてから約 15 秒間
 - ドアが開いているとき

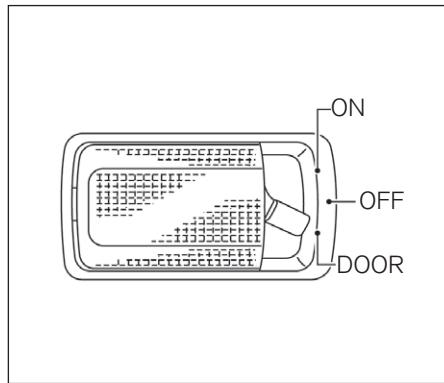
バッテリーセーバー

- 12V バッテリーあがりを防止するため、室内照明は 15 分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

ルームランプ

- スイッチの位置により、次のようにルームランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯します。
OFF	常時消灯します。
DOOR	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。



アドバイス

- 電源ポジションが OFF のときは、ルームランプを長時間点灯させないでください。12V バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- スイッチが DOOR 位置にあるときは、次の条件で点灯します。
 - 電源ポジションを OFF にしてから約 15 秒間
 - 電源ポジションが OFF のとき、ドアを解錠してから約 15 秒間
 - 電源ポジションが OFF のとき、ドアを閉めてから約 15 秒間
 - ドアが開いているとき

バッテリーセーバー

- 12V バッテリーあがりを防止するため、室内照明は 15 分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

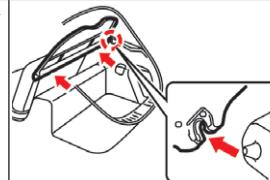
トノカバーは、ラゲッジルームの荷物を車外から見えないようにするために使います。

トノカバーの取り外しかた

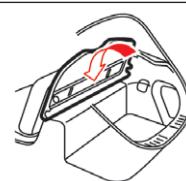
1 ストラップをバックドアのフックから取り外します。



2 トノカバーを引き上げ、トノカバーホルダーを受け軸から取り外します。

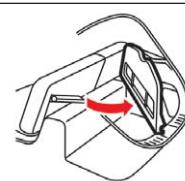


3 2の位置からそのまま後席の背もたれに沿ってトノカバーをスライドさせて下げます。



4 左側または右側を後方へ引き、トノカバーを取り外します。

取り付けるときは、操作した逆の手順で戻します。



⚠ 警告

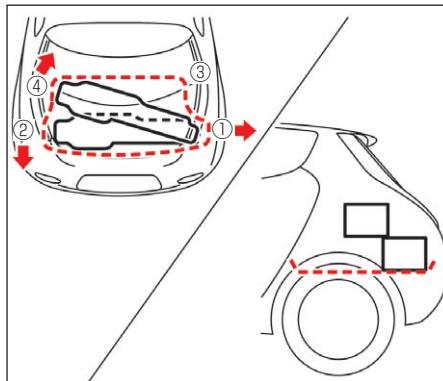
- ISO FIX 対応チャイルドシートを取り付けるときは、トノカバーと干渉していないことを必ず確認し、干渉する場合はトノカバーを取り外してください。衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- トノカバーの上に重い物を載せないでください。急ブレーキ時に思わぬケガをしたり、トノカバーが破損するおそれがあります。

ラゲッジルーム内には 2 個のゴルフバッグを上下に重ねて収納できます。

- ① 1 個目のゴルフバッグの上部がラゲッジルームの右側になるようにして入れます。
- ② 2 個目のゴルフバッグの上部がラゲッジルームの右側になるようにして上に重ねて入れます。



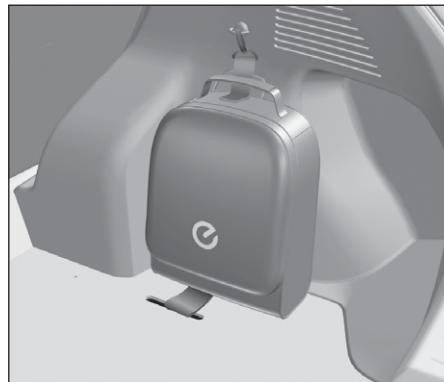
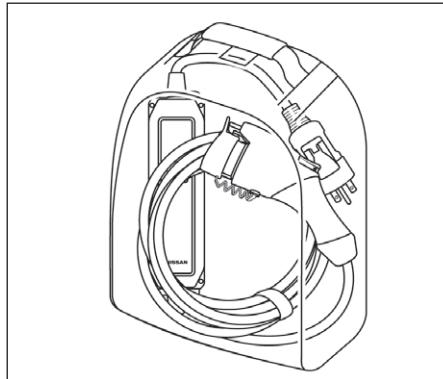
知識

- ゴルフバッグの大きさや種類によっては、2 個積めない場合があります。

充電ケーブルはケースに収納します。

充電ケーブルをケースに収納するときは、次の手順に従ってください。

- ①ケーブル部分をケースに収まる大きさ（直径約 25cm）に巻きます。
- ②コントロールボックスをケースの奥側に入れます。
- ③ケーブル部分と充電コネクタをコントロールボックスの手前側に入れて、ふたを閉めます。
- ④ラゲッジルームの側面にあるフックに充電ケーブル格納バッグを固定します。



⚠ 警告

- 充電ケーブルのケース下側についているベルトは、ラゲッジボード下のフックに確実に通してください。フックにベルトが確実に通されていないと、事故などでケースが飛び出しあります。



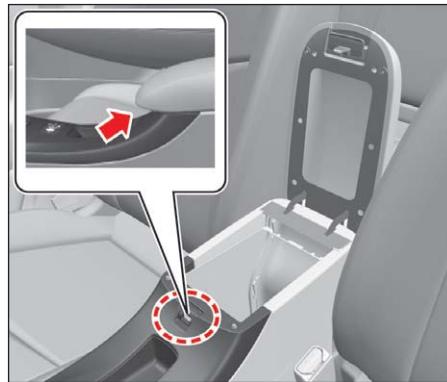
- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

- 開けるときは、ノブを押しながら、ふたを引き上げます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



▲ 注意

- コンソール・ボックスを開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

■ カップホルダー

- カップホルダーは、センターコンソールにあります。



⚠ 警告

- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲み物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 飲物の容器のよっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

■ ボトルホルダー

- ボトルホルダーは、運転席および助手席のドアポケットにあります。

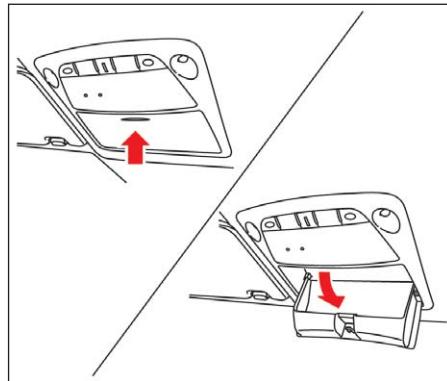


オーバーヘッドコンソール

室内装備

サングラスなどを収納することができます。

- 開けるときは、ふたを押します。
- 閉めるときは、ロックするまで押し戻します。

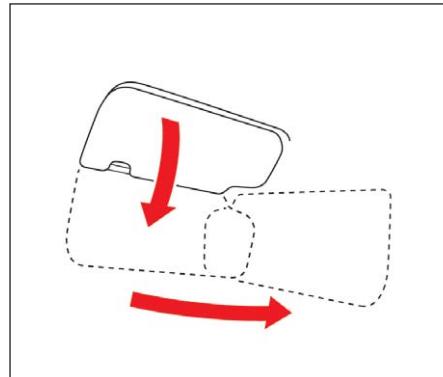


▲ 注意

- 開閉は停車中に行い、開けたまま走行しないでください。また、重量のある物を入れないでください。落下して思わぬケガにつながるおそれがあります。
- 炎天下での駐車は大変高温になりますので、サングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしないでください。変形するおそれがあります。

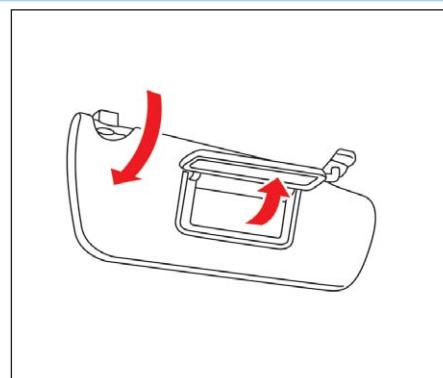
サンバイザー

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げるときます。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げるフックから外し、横にして使います。



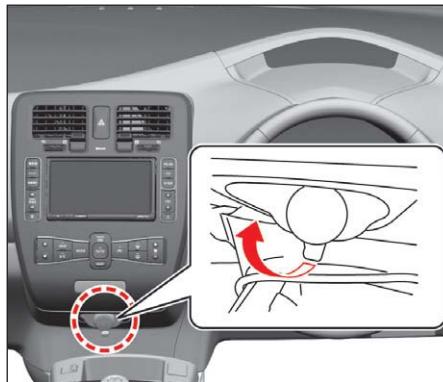
バニティミラー

- サンバイザーを下に下げるとき、ふたを開けて使います。



カーアクセサリーの電源をとるときに使います。
電源ポジションが ACC または ON のとき使えます。

- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチを OFF にするか、電源ポジションを OFF にしてください。



▲ 注意

- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力 120W 以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全だと、発熱し車両のヒューズが切れる場合があります。
- 使用中や使用直後はソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

アドバイス

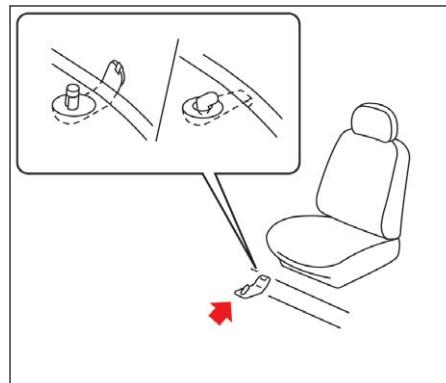
- 12V バッテリーあがりを防止するため、走行可能状態で使用してください。また、長時間使ったり、エアコン、ヘッドライト、リアデフォッガーなどを同時に使わないでください。

フロアーカーペット

この車（年式）専用のフロアーカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

- 床面には日産純正フロアーカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアーカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアーカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアーカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアーカーペットを敷くときは、次のことをお守りください。
 - 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアーカーペットは使用しない
 - フロアーカーペットでペダルを覆わない
 - フロアーカーペットを重ねて敷かない
 - フロアーカーペットがずれないよう固定クリップで確実に固定する
 - 運転席専用のフロアーカーペットを使用する
 - フロアーカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアーカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認してください。
- 運転する前、電源ポジションが OFF の状態で各ペダルをいっぺいに踏み込み、フロアーカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認してください。

トラブルがおきたときは

タイヤのパンク

タイヤパンク応急修理キット P.190

ドアが開かない

インテリジェントキーでドアが開かない P.196

始動しない

インテリジェントキーで始動できない P.197

ジャンプスタートのしかた P.198

バッテリー残量がなくなったとき

充電がなくなったときは P.201

充電ができない

充電作業中に困ったときは P.202

各種警告機能について

警告灯がついたときは P.206

ブザー（警報音）が鳴ったときは P.210

くもりが取れない

窓ガラスのくもりの取りかた P.212

動かないとき

雪道やぬかるみからの脱出のしかた P.214

けん引について P.215

故障したとき

発炎筒の使いかた P.217

故障したときの対処方法 P.218

この車両は、スペアタイヤの代わりにタイヤパンク応急修理キットが搭載されています。
タイヤパンク応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。

タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理できます。

次の場合は応急修理ができないため、日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

- 修理剤の有効期限が切れているとき
- 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- タイヤサイド部が損傷を受けたとき
- ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
- タイヤがリムの外側、または内側へ完全に外れているとき
- リムが破損しているとき
- タイヤが2本以上パンクしているとき



※車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

知識

- 本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

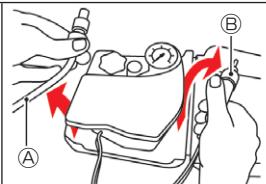
車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

タイヤパンク応急修理キットの使いかた

- 1 コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者の良く見えるところに貼ります。



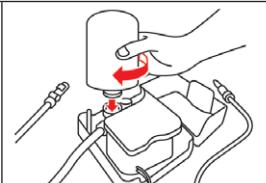
- 2 コンプレッサーからホースⒶと電源プラグⒷを取り出します。



- 3 コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



- 4 修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



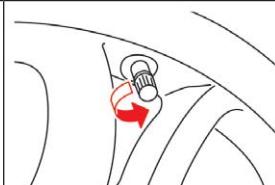
▲ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

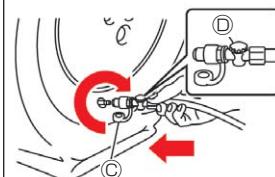
次のページへ続く

◀ 前のページから

5 パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。



6 ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。



7 コンプレッサーのスイッチが OFF (「○」の位置) にあることを確認し、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。



◀ 次のページへ続く

⚠ 注意

- ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるためコンプレッサー作動中はタイヤから離れてください。亀裂や変形が発生している場合は、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。
- バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が 600kPa に達することがあります。異常ではありません。通常は、30 秒ほどで下がります。

アドバイス

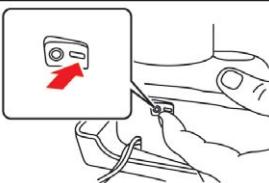
- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがあるので、10 分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。



前のページから

8

電源ポジションを ACC にしてコンプレッサーのスイッチを ON (「-」の位置) にし、タイヤを指定空気圧または 180kPa 以上まで昇圧させます。



9

指定空気圧または 180kPa 以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグを電源ソケットから抜きます。ホースをバルブからしばらく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。



次のページへ続く



注意

- 10 分以内に 180kPa まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することはできません。日産販売会社または JAF などに連絡してください。



アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホールダーにつけたままにしておいてください。



知識

- コンプレッサー作動中は、ときどきコンプレッサーを一時停止して、圧力計で空気圧を測定してください。空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。

※タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



10 修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間または3km程度走行してください。
80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

11 走行後、再度コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

12 指定空気圧より低下していたら、再度指定空気圧まで昇圧してください。
空気圧が低下していなければ、応急修理は完了です。
修理完了後は、すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

▲ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあります。やけどをしないように注意してください。
- 走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 空気圧が130kPa以下に低下したり、手順の7～10を繰り返しても空気圧が低下したりする場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

⚠ 注意

修理キットについて

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

修理剤について

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

🚗 アドバイス

- 応急修理後の恒久修理のとき、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。

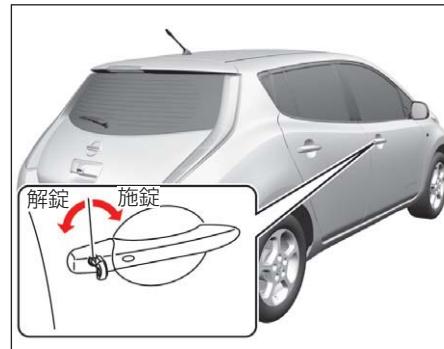
📖 知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。
- 修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、バルブは新しいものと交換してください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

メカニカルキーによる施錠・解錠

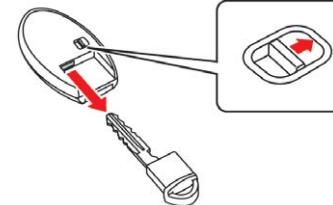
運転席ドアにある鍵穴にメカニカルキーを差し込んで回します。

車両前方にキーを回すと施錠します。
車両後方にキーを回すと解錠します。



知識

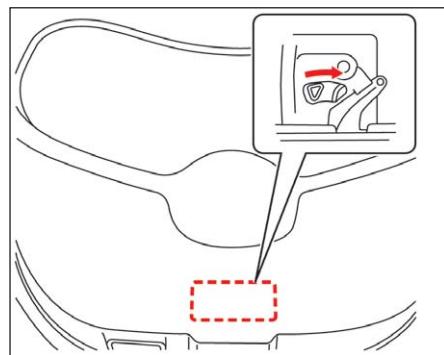
- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。



バックドアの開けかた

12Vバッテリー上がりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるカバーの上側をお手持ちのマイナスドライバーなどにあて布をして外します。
- レバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。

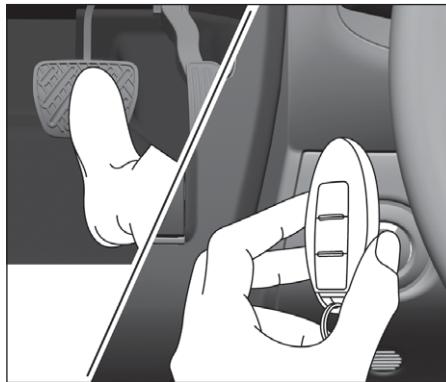


アドバイス

- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順で始動してください。

- ①ブレーキペダルを踏み、インテリジェントキーの裏面をパワースイッチに接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります。)
- ②ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、電源ポジションが切り替わります。



アドバイス

- 左記の手順で始動できない場合は、早めに日産販売会社に連絡してください。

知識

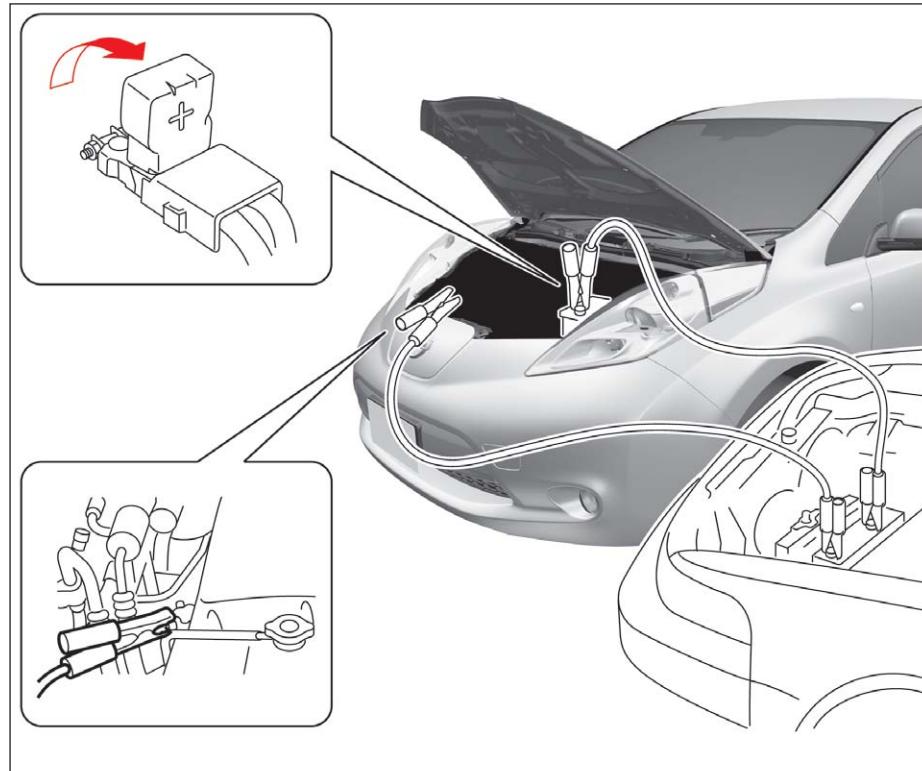
- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキー(P.196)を使って行ってください。
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。

⇒電池交換のしかた…P.140

ジャンプスタートのしかた

始動しない

12V バッテリーがあがり、EV システムの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ
 - ブースターケーブルを自車バッテリーの \oplus 端子に直接つながない
 - ブースターケーブルの \oplus 端子と \ominus 端子を接触させない

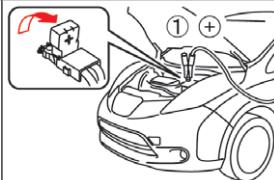
車 アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- リーフを救援車として使用しないでください。
- 救援車には 12V バッテリー仕様の車両を使用してください。

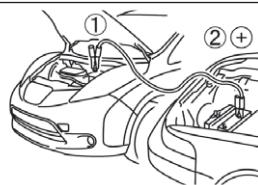
- 1 自車と救援車の電源ポジションを OFF にします。
②パワースイッチ…P.80



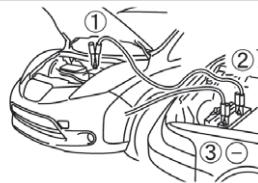
- 2 ブースターケーブル①を自車の 12V バッテリーの \oplus 端子に接続します。



- 3 手順 2 のケーブルの反対側②を救援車の 12V バッテリーの \oplus 端子に接続します。



- 4 もう 1 本のブースターケーブル③を救援車の 12V バッテリーの \ominus 端子に接続します。



▲ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

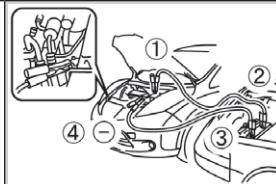
- 充電ケーブルを接続したままジャンプスタートを行わないでください。車両または充電機器を破損するおそれがあります。

次のページへ続く

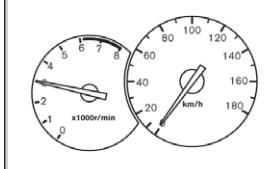
★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備

前のページから

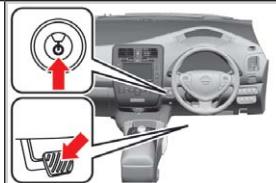
- 5 手順4のケーブルの反対側④を自車の車体(12Vバッテリーから離れたステーなど)に接続します。



- 6 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。



- 7 自車のブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押し、電源ポジションを走行可能状態に切り替えます。



- 8 走行可能状態に切り替えられたら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

⚠ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

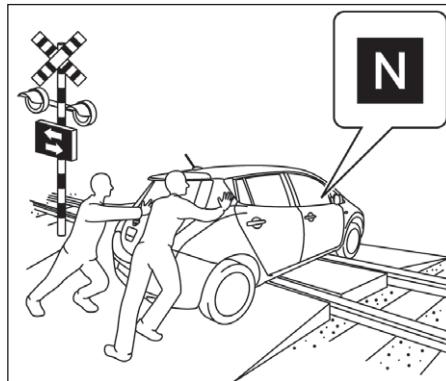
充電がなくなったときは

充電がなくなると走行できなくなります。

充電がなくなったときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産 EV カスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。

万一、安全な場所に移動する前に走行できなくなったときは、付近の人に応援を求め、車両を手で押して安全な場所に移動してください。

このとき、シフトポジションは **N** にします。



バッテリー残量がなくなったとき

アドバイス

- 救援を待つ間は、電源ポジションを OFF にしてください。電源ポジションを ACC または ON のままにしておくと、12V バッテリーがあがるおそれがあります。
- 充電が完全になくなると、電源ポジションが自動的に ON に切り替わり、走行可能状態にできなくなります。このとき、シフトポジションも **N** に切り替わるため、自力での走行ができなくなります。
- 充電がなくなったときは、メーターの航続可能距離表示が「---」ではなくなるまで（数値が点滅表示されるまで）充電されると、再び走行可能状態にできるようになります。

充電作業中に困ったときは

充電ができない

充電の作業中に困ったときは次のことをご確認ください。

これらを確認しても問題が解決できないときは、車両または充電機器の故障のおそれがあるため、日産販売会社にご連絡ください。

トラブルがおきたときは

症状	原因	対処方法
充電ができない	電源ポジションがONになっている	パワースイッチを押して、電源ポジションをOFFにしてください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されている	どちらかの充電コネクタを取り外してください。
	すでに設定した充電量になっている	すでに設定した充電量になっているときは、充電が行われません。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。
	12Vバッテリーがあがっている	電源ポジションをONにしてもメーターなどが点灯しない場合は、12Vバッテリーがあがっている可能性があります。12Vバッテリーを充電または交換してください。
普通充電ができない	コンセントまで電力がきていない	漏電遮断器が作動していたり、停電していないか確認してください。 <ul style="list-style-type: none">電源にタイマー機能がついている場合は、電源に設定されている時間帯まではコンセントに電力が供給されないものがあります。立体駐車場の場合、駐車パレットが完全に格納されるまでの間やエレベーターの作動中は、電力が遮断されるものがあります。
	コンセント側のアースが正しく接続されていない	日産自動車の推奨する工事に準拠したアース設置工事が行われているか確認してください。 充電ケーブルは、コンセントに接続したときにアースの接続を自動的に確認しており、コンセント側のアースが正しく接続されていない場合、表示灯が点滅し充電が開始しません。
	プラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクタが正しく接続されていない	充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。

症状	原因	対処方法
普通充電ができない	充電量が80%に設定してあり、すでに充電量が80%を超えてしまっている	80%以上充電するときは、ロングライフモード(☞P.25)を解除してください。
	日産自動車が推奨している配線ではない	電源設備が日産自動車の推奨している配線ではない場合、充電できない場合があります。
即充電ができない	タイマー充電が設定されている	即充電スイッチを押すか、タイマー充電を解除してから充電を開始してください。
タイマー充電ができない	充電ケーブルを接続し忘れている	あらかじめ充電ケーブルを接続してください。
	時計がずれている	時計の時刻が正しいか確認してください。 ナビゲーションシステム付車でも、12Vバッテリーの脱着をしたあとは、GPSとの通信が行われるまでの間、時刻が設定されません。
	タイマー充電の予約が設定されていない	タイマー充電が設定されていないときは、即充電が開始されます。 タイマー充電の時刻および曜日を設定してください。
	充電開始時刻と充電停止時刻の両方が設定してあり、その時刻を過ぎている	タイマー充電の設定時刻と現在の時刻を確認し、状況に応じて時刻を設定し直すか即充電を行ってください。
	充電開始時刻のみが設定してあり、その時刻を過ぎている	
	充電停止時刻のみが設定してあり、その時刻を過ぎている	
リモート充電*ができるない	充電ケーブルが接続されていない	あらかじめ充電ケーブルを接続してください。
	通信ができない	携帯電話をお使いの場合は、通信圏外になっていないか確認してください。パソコンをお使いの場合は、インターネットの接続状態を確認してください。

症状	原因	対処方法
リモート充電★ができるない	通信ができない	車両が通信圏外にあるときは通信ができません。 2週間以上電源ポジションがOFFのままだと、リモート機能は自動的にOFFになります。一旦電源ポジションをONにしてください。
普通充電が途中で止まってしまう	コンセントまで電力がきていない 充電ケーブルが抜けている 充電コネクタのリリーススイッチが押されている 充電量が80%に設定してある 普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された タイマー充電の停止時刻になった リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりしたおそれがあります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電が再開されます。 充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 充電コネクタのリリーススイッチが押されていないことを確認してください。 80%以上充電するときは、ロングライフモード(⇒P.25)を解除してください。 急速充電の充電コネクタを取り外してください。 充電停止時刻が設定されている場合は、指定した充電量まで充電できていなくても充電が停止します。 メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。
急速充電ができない	急速充電コネクタが正しく接続されていない	急速充電コネクタが正しく接続され、ロックがかかっていることを確認してください。

症状	原因	対処方法
急速充電ができない	急速充電器のセルフチェック機能でNGになった	車両故障の可能性があります。ただちに充電を停止し、日産販売会社にご連絡ください。
急速充電ができない	急速充電器の電源がOFFになっている	急速充電器の電源がONになっていることを確認してください。
急速充電が途中で止まってしまう	急速充電のタイマーにより終了した	急速充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります。一定時間を経過した場合は充電が停止します。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。 急速充電の時間は最大で60分に設定されており、30分～60分(リチウムイオンバッテリーの温度に応じて変化します)を経過した場合は自動的に充電が停止されます。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電量が80%に設定してある	80%以上充電するときは、 <u>ロングライフモード</u> (☞P.25)を解除してください。
	急速充電器の電源が何らかの理由でOFFになってしまった	急速充電器の電源がOFFになっていないか確認してください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された	普通充電の充電コネクタを取り外してください。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計を確認してください。リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが赤色または青色の範囲に入っているときは、充電できない場合があります。

警告灯がついたときは

各種警告機能について

運転中に警告灯・表示灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯の説明は、[②警告灯・表示灯…P.111](#)をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
12V 系充電警告灯 	<ul style="list-style-type: none">電源ポジションを ON にすると点灯し、走行可能状態にすると消灯します。走行可能状態のとき、DC/DC コンバーターシステムに異常があると点灯します。	点灯し続けるときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 また、走行可能状態のまま、12V バッテリーを外部電力で充電しないでください。車両が破損するおそれがあります。
ABS 警告灯 	<ul style="list-style-type: none">電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。電源ポジションが ON のとき、ABS のシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときは ABS が作動しなくなるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。
EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 	<ul style="list-style-type: none">電源ポジションを ON にすると点灯し、走行可能状態にすると消灯します。走行可能状態のとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しないため、ハンドルの操作力が重くなります。注意して運転してください。
VDC 警告灯 	<ul style="list-style-type: none">電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。VDC 作動中に点滅します。電源ポジションが ON のとき、VDC、ヒルスター・アシストのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯したときは、VDC の作動は停止しますが、それらのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
EV システム警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 高電圧システムや冷却システム、電制シフトなどに異常があると点灯します。 	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
SRS エアバッグ警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 電源ポジションが ON のとき、SRS エアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。 	電源ポジションを ON にして約 7 秒たっても点灯、点滅し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <u>点灯、点滅したまま放置すると、万一のとき SRS エアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。</u>
シートベルト警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションが ON のとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。 	点灯したときは、シートベルトを着用してください。走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
ブレーキシステム警告灯（黄色表示） 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 走行可能状態のとき、回生協調ブレーキのシステムに異常があると点灯します。 	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。状況によりブレーキペダルの踏み込みに大きな力が必要になる場合があるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 (赤色表示) 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。また、パーキングブレーキをかけていると点灯し続けます。 ブレーキ液が不足しているか、ブレーキシステムに異常があると、パーキングブレーキを解除しても点灯し続けます。 	走行中に点灯したときは、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。 <u>パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。</u> この場合ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあるため、必要に応じ、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
電制シフト警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 電源ポジションが ON のとき、電制シフトのシステムに異常があると点灯します。 	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。また、この警告灯が点灯したときは、パワースイッチを押しても電源ポジションが OFF にできないことがあります。その場合、パーキングブレーキを確実にかけた状態でパワースイッチを押すと、電源ポジションを OFF できます。
ヘッドランプ警告灯★ 	<ul style="list-style-type: none"> LED ヘッドランプ★に異常が発生すると点灯します。 	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
バッテリー残量警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると点灯します。 	点灯したときは、ただちに最寄りの充電施設で充電してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
マスター ウォーニング	  <ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションが ON のとき、ロアメーター（メータ下部）の警告灯または一部の表示灯が点灯するか、車両情報ディスプレイに警告が表示されると、同時に点灯します。 	点灯している警告灯または一部の表示灯、車両情報ディスプレイの内容を確認し、それぞれの説明・対処方法をお読みください。
出力制限表示灯	 <ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションを ON にすると数秒間点灯後、消灯します。 電源ポジションが ON のとき、以下の状態になると点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーの残量が極端に少ないとき リチウムイオンバッテリーの温度が低すぎるとき リチウムイオンバッテリーや走行用モーター、インバーター、冷却システムなどの温度が高すぎるとき EV システムが故障しているとき 	<p>状況に応じて以下の手順に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電がなくなる直前で、バッテリー残量警告灯  と同時に点灯しているときは、すみやかに安全な場所に停車し、EV カスタマーセンター（0120-230-834）に連絡してください。 リチウムイオンバッテリー温度計の表示が極端に低いときは、充電をするか、車両を屋内などの暖かい場所へ移動させてください。 リチウムイオンバッテリー温度計の表示が極端に高いときは、すみやかに安全な場所に停車して、温度が下がるまで自然冷却してください。 <p>上記以外で表示灯が点灯したときは、故障のおそれがあります。日産販売会社にご連絡ください。</p>

ブザー（警報音）が鳴ったときは

各種警告機能について

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピピ…	ドアハンドルのリクエストスイッチを押したとき	電源ポジションは OFF になっているか インテリジェントキーを車室内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していないか
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押していないか
		ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していないか
	ピッピッピッピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションが ACC または ON のまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
		インテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチを押したとき	充電ポートが開いたことをお知らせする音で、異常ではありません
		充電ポートトリッドオープナースイッチを押したとき	
	ピッピッピッ… (約 30 秒)	充電コネクタを接続したとき	充電コネクタが正しく接続されているか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションが ACC のままになっていないか
	ピピッピピッピッ…	ドアを閉めたとき	電源ポジションが ACC または ON のまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
		パワースイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯しているか インテリジェントキーを携帯してもブザーが鳴るときは、 インテリジェントキーの電池を交換してください
	ピピッピピッ…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションが ON のままになっていないか シフトポジションを P にしているか

フロントの窓ガラスがくもるときは、デフロスター スイッチを押します。
電源ポジションが ON のとき使えます。

デフロスター スイッチ

- スイッチを押すとデフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。
(表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(表示灯が消灯)



⚠ 注意

- デフロスター スイッチを ON しているときにエアコンの設定温度を低くすると、フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

車 アドバイス

- デフロスター スイッチを ON しているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- デフロスター スイッチは、連続して長時間 ON にしないでください。消費電力が多いため、航続可能距離が減少する原因になります。

知識

- デフロスター スイッチを ON になると、自動的に A/C スイッチ、HEAT スイッチの表示灯が点灯し、外気導入に切り替わります。

リヤの窓ガラスがくもるときは、リアデフォッガースイッチを押します。
電源ポジションが ON のときに使えます。

リアデフォッガースイッチ

- スイッチを押すと約 15 分間作動します。
(表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(表示灯が消灯)



★：車両型式、オプションなどで異なる装備



アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいため 12V バッテリーあがりの原因になります。

知識

- ヒーター付ドアミラー付車は、リアデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

動かないとき

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

トラブルがおきたときは

1 VDC OFF スイッチを押して、VDC を OFF にします。

2 車両の前後に障害物が無いことを確認します。

3 ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。

4 ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

⚠ 警告

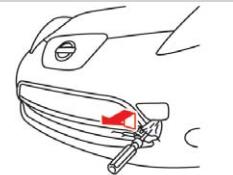
- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出しあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

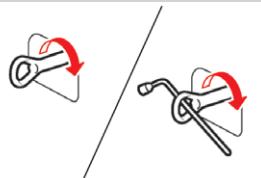
- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社または JAF などのロードサービスに連絡してください。

他車にけん引してもらうとき

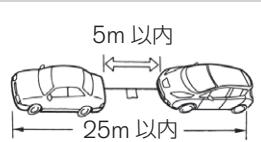
- 1 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



- 2 ホイールナットレンチを使って、けん引フックを取り付けます。
→工具類の格納場所…P.220



- 3 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に 30cm × 30cm 以上の白い布を取り付けます。



- 4 電源ポジションを切り替えられるときは、ON または走行可能状態にして、シフトポジションを **N** に切り替えます。

パーキングブレーキを解除します。



▲ 注意

- 走行可能状態以外でけん引されているときは、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりりますので注意してください。

アドバイス

- 4輪接地の状態でけん引するときは、電源ポジションを ON にしてシフトポジションを **N** にした状態で行ってください。この車両は、オートP機能(→P.83)が付いているため、電源ポジションが OFF のときは、4輪接地の状態でのけん引ができません。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

- けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。やむを得ずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。
- 車両が動かなかつたり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。12Vバッテリー上がりなどで、シフトポジションがPから切り替えられないときは、前輪が接地した状態でけん引することができません。
- 車両を運搬するときは、前輪または4輪を持ち上げてください。

■後ろ側のフックについて

- 後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。この車で他車をけん引することはできません。

⚠ 注意

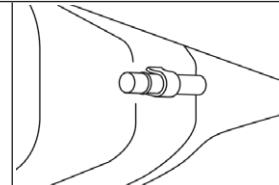
- 前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。

アドバイス

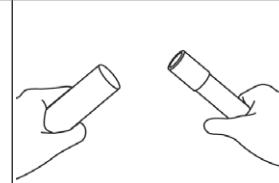
- けん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

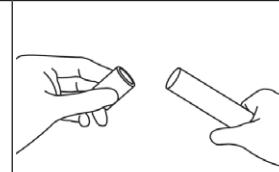
1 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2 本体を回しながらケースから引き抜きます。



3 ケースのすり薬で先端をこすって点火します。



⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

アドバイス

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

故障したときの対処方法

故障したとき

車両が故障したときは、次の手順を実施してください。

トラブルがおきたときは

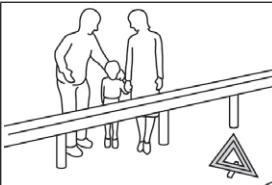
- 1 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



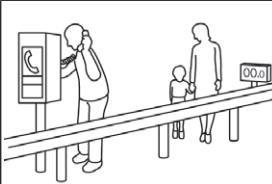
- 2 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、発炎筒(☞P.217)や停止表示板(停止表示灯)を車両の後方に置きます。
高速道路や自動車専用道路では、50m以上後方に置いてください。



- 3 運転者もガードレールの外側などに避難します。
ガードレールの外側に避難ができない場所では、車両から離れてガードレールに身を寄せます。



- 4 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



⚠ 注意

- 故障によりEVシステムが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなりますので注意してください。

🚗 アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板(停止表示灯)の表示が法律で義務づけられています。
- ガードレールの外側などに退避するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように、車両の後方に避難してください。
- 非常電話は、高速道路上に1kmごとに設置されています。

メンテナンス

点検・整備

点検・整備について	P.220
ジャッキアップ	P.221
モータールーム	P.223
寒冷時のメンテナンス	P.226
タイヤ	P.229
ワイパー	P.233
ヒューズ	P.234
電球（バルブ）交換	P.237

清掃・お手入れ

洗車のしかた	P.246
内装のお手入れ	P.250

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.252
車両仕様	P.253
イベントデータレコーダ (EDR)	P.255
車両状態記録機能	P.256

点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
点検・整備については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検・整備の種類

● 日常点検

走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。(音、振動、におい、水もれ、油もれなど)

● 定期点検

1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。

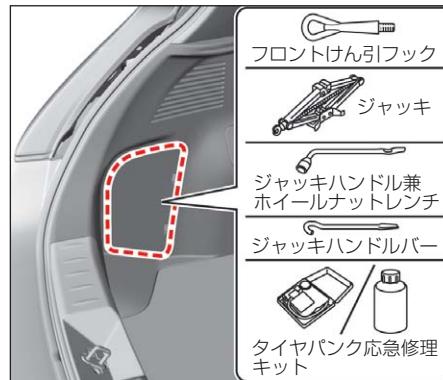
● その他の点検

日産自動車が指定している、新車時の点検や厳しい使われかたをした場合に必要な点検があります。

工具類の格納場所

- 工具、ジャッキ、タイヤパンク応急修理キットは、ラゲッジルーム左側に格納されています。

ジャッキはゆるめてから取り出します。



⚠ 警告

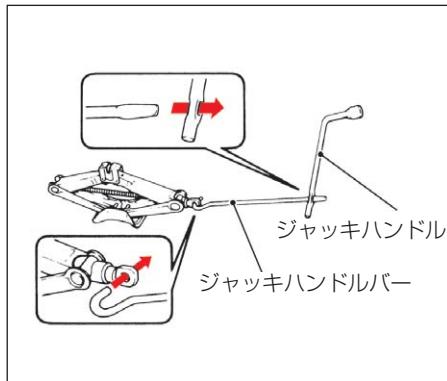
- 充電インジケーターが点灯・点滅しているとき、またはタイマーエアコン表示灯が点滅しているときは、高電圧システムが作動しているため、絶対に整備作業を行わないでください。
- 整備作業を行うときは、車両から充電コネクタを取り外した状態で電源ポジションを一旦 ON にし、再度 OFF にしてから、12V バッテリーの \ominus 端子を外してください。

📖 知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



▲ 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかりと握って回してください。ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

ジャッキアップポイント

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ ジャッキアップのしかた

1 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面(平坦な硬い場所)に停車し、人や荷物を車から降ろします。

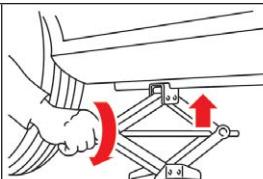
② 停車・駐車のしかた…P.90

2 ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

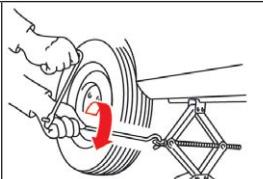
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



3 ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



4 ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

車 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

□ 知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

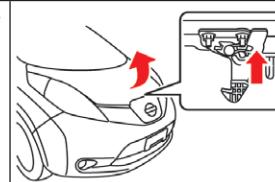
モータールームを点検するときは安全な場所に駐車し、
パーキングブレーキをかけた状態でフードを開けます。

フードの開閉

- 1 運転席右下にあるフードオープナーを引きます。
フードの先端が少し浮き上がります。



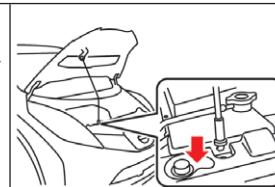
- 2 フードと充電ポートリッドの間にあるレバーを引き上げながらフードを持ち上げます。



- 3 ステーを持ってフックからステーを外します。



- 4 ステーの穴に確実に差し込みます。
閉めるときはエンジンフードをゆっくり降ろして
20～30cmの高さからエンジンフードを落とし、
確実にロックします。



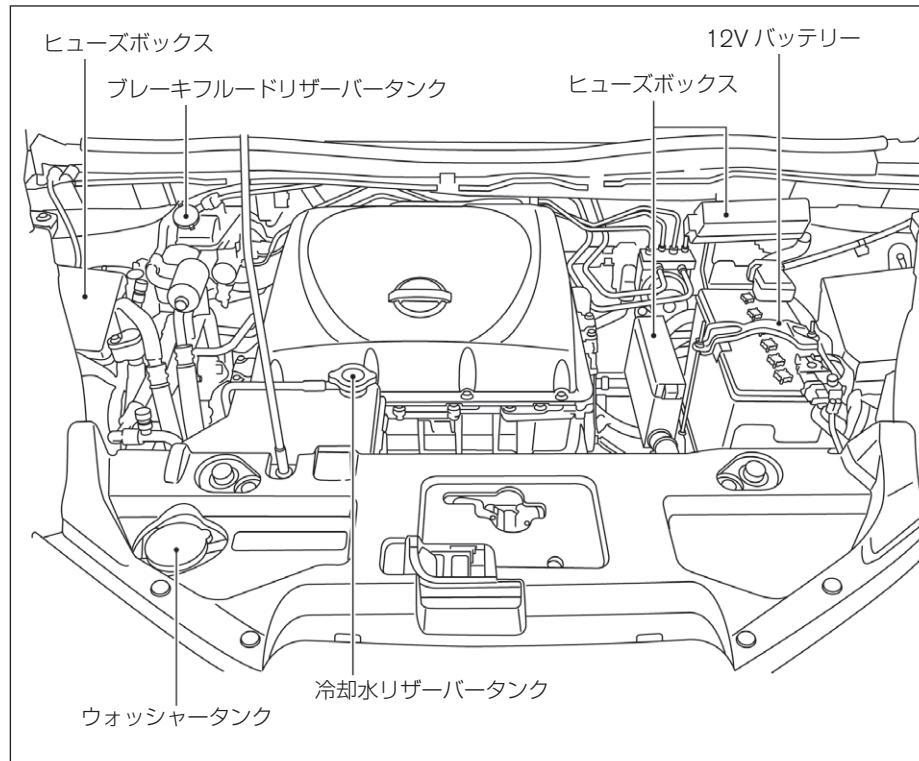
⚠ 警告

- 走行前に、フードが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中フードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- フードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。
- ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- フードを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろしてください。

モータールーム内の配置図



注意

- 点検や整備に使用した工具や布などは、モータールーム内に置き忘れないように気をつけてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

アドバイス

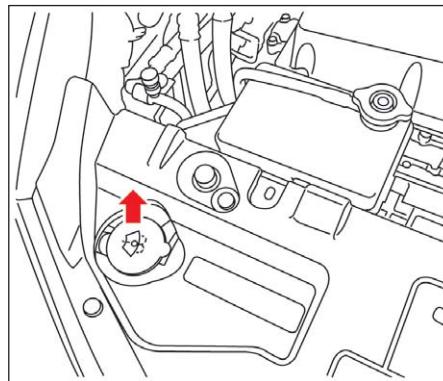
- ワイパーームを起こしたままフードを開けないでください。フードやワイパーを損傷します。

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

ウォッシャー液の補給

- ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップを外し、ウォッシャー液を補給してください。ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポット式にウォッシャー液の残量が点検できます。
- 引き抜いたときにウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドーウォッシャー液をおすすめします。

☞ウォッシャータンク容量…P.252



▲ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

車アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。

冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、クーラントの濃度を点検してください。

クーラントの濃度	凍結温度
30%	約 -15°C
50%	約 -35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント(50% 希釈品)をお使いください。

☞サービスデータ(冷却水)…P.252

車が凍結したら

- 凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- 寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

靴の雪を落とす

- 乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

窓ガラスの雪や霜を落とす

- プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

足回りの着氷を落とす

- 足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

☞タイヤチェーンについて…P.232

走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。時々確認して雪を取り除いてください。

長時間駐車するとき

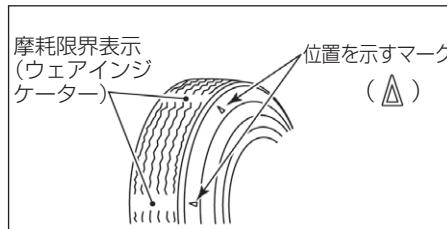
- セレクトレバーを **P**に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

■ タイヤの点検項目

■ タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。扁平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいため、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しづつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤ空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。



▲ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。5~7年を目安に必ず点検してください。

■ タイヤ摩耗の点検

- 摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。

タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載しています。

▲ 注意

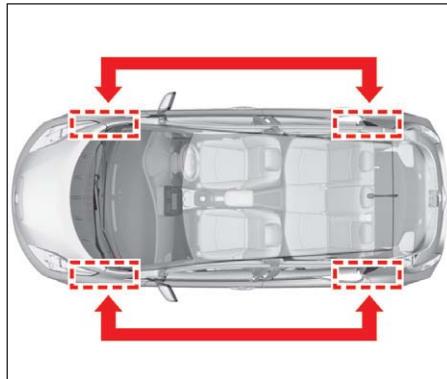
- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。

■ タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約 5,000km ごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



▲ 注意

- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。



アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

タイヤチェーンは必ず前 2 輪に装着してください。

■ タイヤチェーンについて

■ 装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけ電源ポジションを OFF にします。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

■ 装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

▲ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

■ アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損なわれたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

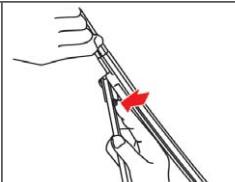
ワイパーべレードを交換するときは、次の手順に従ってください。

ワイパーべレードの交換のしかた

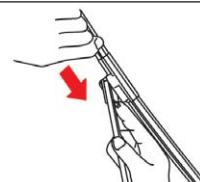
1 ワイパーべレードを持ち上げ、少し傾けます。



2 ワイパーべレードのツメを押したままにします。



3 ワイパーべレードを矢印の方向に動かして取り外します。



4 新しいワイパーべレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーべレードが確実に固定されていることを確認します。



▲ 注意

- 交換するときは、ワイパーームおよびワイパーべレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーべレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

知識

- リヤワイパーべレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。
- ワイパーゴムの交換のしかたは、メンテナンスノートの「簡単なお手入れのしかた」をお読みください。

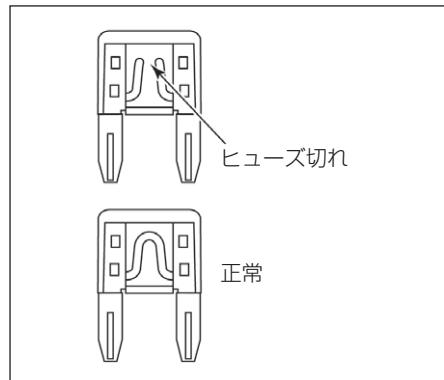
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズを確認する前に

- ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

ヒューズボックスの位置

- ヒューズボックスはモータールーム(☞P.235)とグローブボックス側面(☞P.236)にあります。
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側に表示してあります。

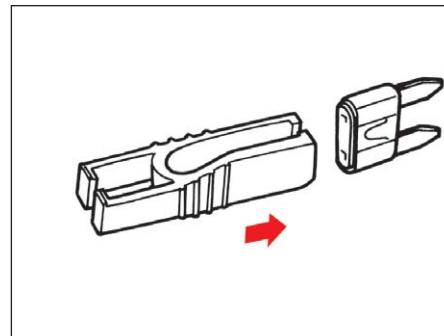


警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

ヒューズ抜きについて

- グローブボックス側面のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。
- 電源ポジションをOFFにしてから、ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

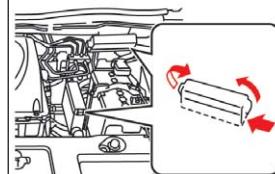
モータールームのヒューズを点検・交換するときは、次の手順に従ってください。

ヒューズの交換のしかた（モータールーム）

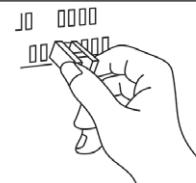
- 1 電源ポジションを OFF にし、フードを開けます。
☞フードの開閉…P.223



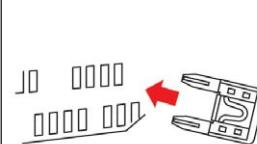
- 2 ツメを押しながら持ち上げ、ふたを外します。



- 3 グローブボックス側面のヒューズボックスにあるヒューズ抜きを使ってヒューズを取り外します。
☞ヒューズの交換のしかた（車室内）…P.236



- 4 新しいヒューズと交換します。
交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。



⚠ 警告

- 高電圧部位、サービスプラグ、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わないでください。重大な傷害を受けるおそれがあります。

車室内のヒューズを点検・交換するときは、次の手順に従ってください。

ヒューズの交換のしかた（車室内）

1 電源ポジションを OFF にします。



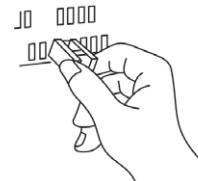
2 お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を①のスリットに差し込み、ヒューズボックスカバーを外します。



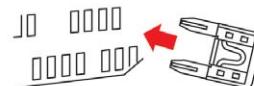
アドバイス

- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。

3 ヒューズ抜きでヒューズを取り外します。



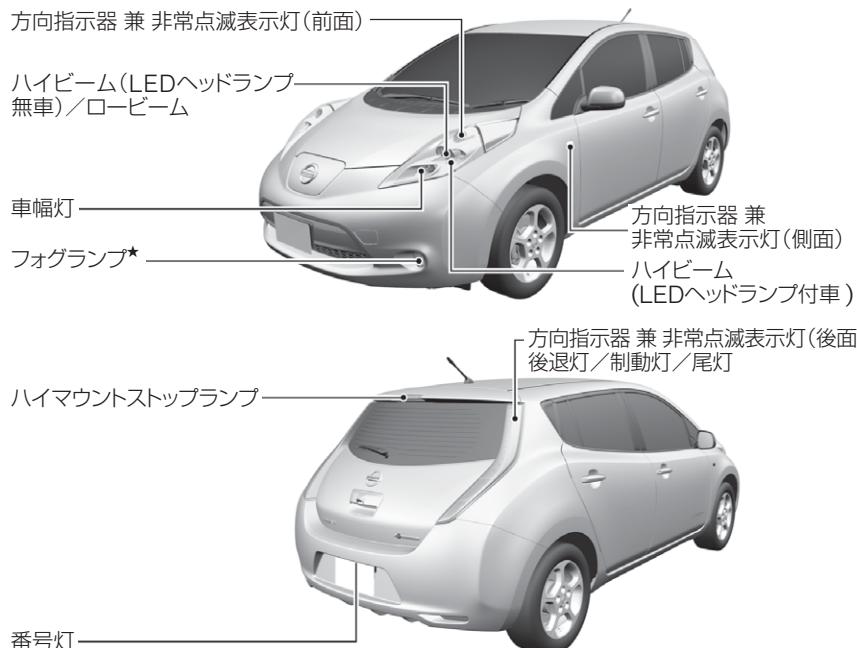
4 新しいヒューズと交換します。交換したあとは、確実に差し込まれていることを確認してください。



外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。

バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

▲ 注意

- バルブ交換は、モータールームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

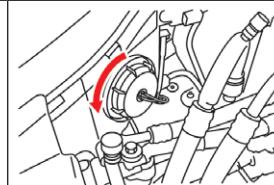


アドバイス

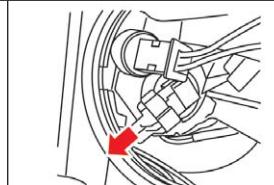
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

ハイビーム（LED ヘッドライト付車）

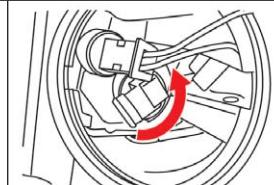
1 カバーを取り外します。



2 コネクターを取り外します。
(ツメを押しながら外します。)



3 ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、バルブを交換します。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。

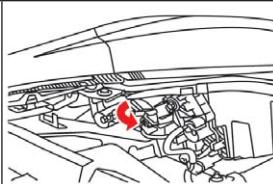


▲ 注意

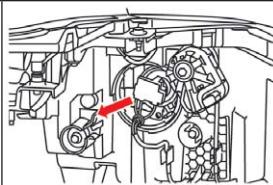
- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

ハイビーム／ロービーム（LED ヘッドライト無車）

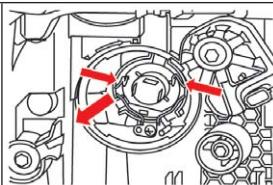
1 カバーを取り外します。



2 コネクターを取り外します。
(ツメを押しながら外します。)



3 リテーニングスプリングのロックを外し、バルブを交換します。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。



▲ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

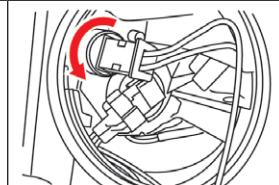


アドバイス

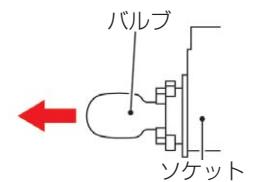
- リテーニングスプリングは必ず固定されたことを確認してください。

車幅灯

1 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

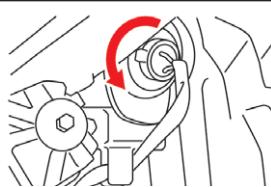


2 古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。

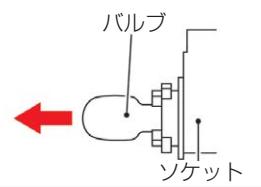


方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

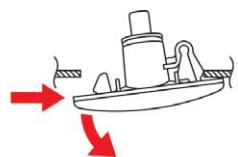
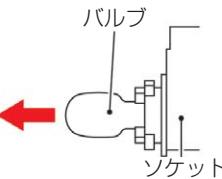
- 1 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 2 古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。



方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）

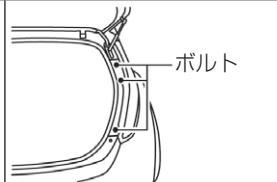
1	左右のスライドする方向に押しながらカバーを引き抜きます。	
2	ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。	
3	古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。 取り外したときと逆の手順で取り付けます。	

アドバイス

- 無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- ソケットをテープなどで車体に貼り付けてバルブを交換すると、フェンダー内部に落ちるのを防ぐことができます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯

- 1 バックドアを開け、お手持ちの工具でボルトを外します。

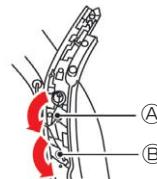


- 2 カバーをまっすぐ後方に引いて取り外します。

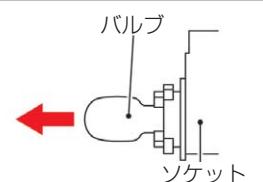


- 3 交換したいバルブのソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

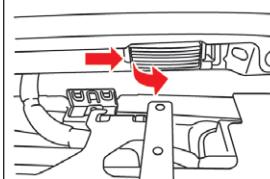
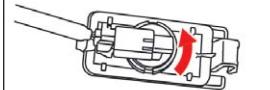
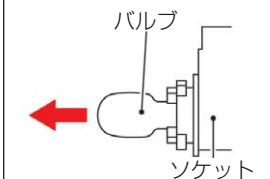
Ⓐ：方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）
Ⓑ：後退灯



- 4 古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。



番号灯

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | カバーを右側に押しながら下側に引き抜きます。 |  |
| 2 | ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。 |  |
| 3 | 古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。 |  |

■ その他の電球（バルブ）

以下の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム（LED ヘッドライト付車）
- 制動灯／尾灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- フォグランプ*

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - － ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - － 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - － ほこり、汚れがひどいとき

■水洗いするとき

- ①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

車 アドバイス

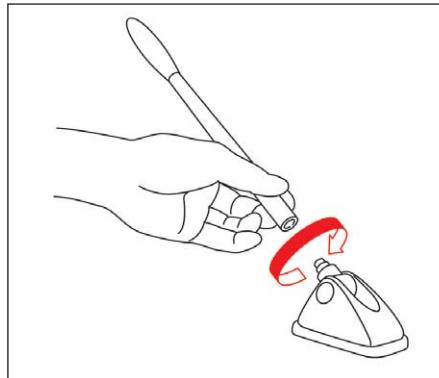
- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。
- 洗車するときは、モータールーム内に水をかけないでください。電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

- 洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。
- 自動洗車機を使用するときは、ドアミラー（☞ P.78）を格納してください。
- 高圧（コイン）洗車機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

■アンテナの外しかた

- アンテナを取り外すときは、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることができます。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- 洗車機の種類によってはspoイラーが引っ掛けたり、洗車できないことがあります。

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

ワックスをかけるとき

- ワックス掛けは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

- 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

ソーラーセルモジュール*のお手入れ

- 正常に機能させるため、定期的に汚れを落としてください。お手入れのしかたは、ほかの外装部品と同じです。
- から拭きやコンパウンド入りのワックスをかけないでください。

■ アルミロードホイール★のお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない

■ 軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

☞ フロアカーペット…P.188

▲ 注意

- 車室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。
- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

本革シートのお手入れ*

■通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

- ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

メーター表面の汚れ取り

- 柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。



アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

点検値

項目	点検値
ブレーキペダル ^{※1}	遊び
	床板とのすき間 走行可能状態で約 196N (20kg) で踏んだとき
パーキングブレーキ	踏みしろ 走行可能状態で約 196N (20kg) で踏んだとき

交換油脂類

項目	規定量 (℥) ^{※2}	指定油脂 (規格)
減速機オイル	1.4	日産純正マチックフルード S ^{※3}
ブレーキフルード	–	日産純正ブレーキフルード No.2500 (DOT3)
冷却水	5.3 ^{※4}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※5}
ウォッシャー液	2.5	日産純正ウインドウォッシャー液 ● 外気温に応じて濃度を調節してください。

※ 1 : ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの高さの調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

※ 2 : 規定量は目安です。

※ 3 : 必ず日産純正マチックフルード S を使用してください。日産純正マチックフルード S 以外のフルードを使用すると減速機が損傷するおそれがあります。

※ 4 : リザーバータンクの MAX レベル容量 (0.5 ℥) を含みます。

※ 5 : 走行用モーター やインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

車載充電システム（普通充電）

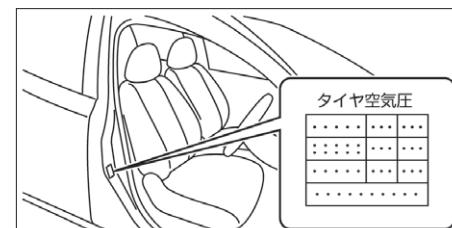
項目	内容
入力電圧	AC 100V～240V
定格周波数	50Hz／60Hz
最大定格電流	18A
最大消費電力	3.6kVA
電源システム	TN-S システム
EVSE 漏電遮断器の検知電流（日産純正 EVSE との組み合わせ）	15mA
保護クラス	クラス I EV
EV 充電モード／接続タイプ	Mode 2／Case B (普通充電、日産純正 EVSE との組み合わせ) Mode 3／Case B/C (普通充電、公共充電スタンドなど) Mode 4／Case C (急速充電)
施工要求（短絡保護電流、保護機器の情報）	過電流、過電圧対策手段は、国内の法規、基準に従うことが必要です。家屋、ビルの配線に適切な過電流保護装置を必ず設置してください。
冷却システム	車両の冷却システムを使用
IP 等級	IP55：車両走行状態の充電ポート IP44：充電中の EVSE と充電ポート結合部（日産純正 EVSE との組み合わせ）
動作温度	-35°C～45°C
保管温度	-40°C～80°C
適合規格	SAE J1772:2010 EN61851-1:2010 EN61000-6-1:2007 EN61851-21:2002 EN61000-6-3:2007 IEC61851-1:2010 IEC61851-21:2001
アダプタ	充電ポート部にアダプタを使用しないでください。

電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）		容量（V-W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドライト）	LED ヘッドライト付車	ロービーム ハイビーム	LED H9
	LED ヘッドライト無車	12-60／55	H4
		12-55	H11
前部霧灯（フォグランプ）*		12-5	W5W
車幅灯		12-5	W5W
番号灯		12-5	W5W
制動灯／尾灯		—	LED
ハイマウントストップランプ		—	LED
後退灯		12-16	W16W
方向指示器兼非常点滅表示灯	前面、後面	12-21（アンバー）	WY21W
	側面	12-5（アンバー）	WY5W

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
205/55R16	16 × 6.5JJ	114.3mm (5穴)	40mm
205/55R16	16 × 6.5J		40mm
215/50R17	17 × 6.5J		45mm



※タイヤの空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。

車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターは EDR (イベントデータレコーダ) 機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDR で車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

■SRS エアバッグシステム

SRS エアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDR に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することができます。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

■ 車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報
- バッテリー消費電力などの電力制御情報

■ 車両状態記録機能

車両状態記録機能は電気自動車としての品質維持を目的として、車両の運行状態を常に記録・蓄積しています。

車両状態記録機能から得られたデータを元に的確なサービスを提供することができま

■ 知識

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

■ データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することができます。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

A

ABS	94
ABS 警告灯	112
A/C (エアコン)	150
ASCD	92

C

CRUISE 表示	92
-----------	----

E

ECO モード	91
ECO モードインジケーター	127
ELR (緊急固定) 付 3 点式シートベルト	73
EPS (電動パワーステアリング) 警告灯	115
ETC	別冊
EV システム警告灯	112
EV システム始動操作表示	121
EV システムの非常停止のしかた	80

I

INT (ワイパー)	172
ISO FIX 対応チャイルドシート用アンカー	63

O

ODO メーター	108
----------	-----

P

PS (電動パワーステアリング警告灯)	115
P 戻し忘れ警告	127

S

SET 表示	92
SRS エアバッグ	50
SRS エアバッグ警告灯	114

T

TRIP (トリップメーター)	108
-----------------	-----

V

VDC	95
VDC OFF 表示灯	120
VDC 警告灯	114

W

W 数 (電球の容量)	254
-------------	-----

ア

アウターミラー (ドアミラー)	78
アップバーメーター	101
ECO インジケーター／エコツリー	101
外気温度計	102
スピードメーター (速度計)	102
時計	102
アラーム (インテリジェントキー)	210
アルミロードホイールのお手入れ	249
アンテナ	247

イ

EV システム警告灯	112
------------	-----

EV システム始動操作表示	121
---------------	-----

イベントデータレコーダ (EDR)	255
-------------------	-----

イモビライザー (盗難防止装置)	81
------------------	----

イルミネーションコントロール	109
----------------	-----

インテリジェントキー	
------------	--

機能・使いかた	136
---------	-----

電池交換のしかた	140
----------	-----

インテリジェントキーで始動できない	197
-------------------	-----

インテリジェントキー電池切れ表示	122
------------------	-----

インテリジェントキー非作動時 EV システム	
------------------------	--

始動表示	121
------	-----

インテリジェントキー持ち出し警告	123
------------------	-----

インナーミラー (ルームミラー)	77
------------------	----

ウ

ウインカー (方向指示器)	169
---------------	-----

ウインドーガラス (パワーウィンドー)	148
---------------------	-----

ウォーニング (警告灯)	111
--------------	-----

ウォッシャー	
--------	--

ウォッシャー液 (規定量)	252
---------------	-----

ウォッシャー液の補給	225
------------	-----

ウォッシャースイッチ	172
------------	-----

運転するときに注意すること	68
---------------	----

運転席・助手席 SRS エアバッグシステム	52
-----------------------	----

運転席・助手席 SRS カーテンエアバッグシステム	58
---------------------------	----

運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム	
--------------------------	--

.....	56
-------	----

工

エアコンの使いかた

エアコンを使用するときの注意事項 159

オートエアコン（ナビゲーションシステム付車） 150

オートエアコン（ナビゲーションシステム無車） 154

タイマーエアコン 162

吹き出し口 158

エアバッグシステム

SRS エアバッグ 50

SRS エアバッグ警告灯 114

ASCD 92

ABS

ABS 94

ABS 警告灯 112

エコインジケーター／エコツリー 101

ECO モード 91

ECO モードインジケーター 127

オ

オイル 252

オートエアコン（ナビゲーションシステム付車） 150

オートエアコン（ナビゲーションシステム無車） 156

オートスピードコントロール（ASCD） 92

オートライトシステムについて 168

オーバーヘッドコンソール 185

お子さまを乗せるときは 60

オドメーター（積算距離計） 108

力

外気温度計 102

回生ブレーキ 10

各種警告機能について 206

カップホルダー 184

寒冷時のメンテナンス 226

キ

キー 136

キーシステム警告 124

急速充電 23, 45

ク

空気圧（タイヤ） 254

くもり取り 212

デフロスタースイッチ 212

リアデフォッガースイッチ 213

クラクション（ホーン） 76

クリアランスランプ（車幅灯）

電球（バルブ）交換 240

電球（バルブ）容量 254

グローブボックス 182

ケ

警告灯 111

警告灯がついたときは 206

けん引について 215

シ

後席シートの調節 72

航続可能距離表示 106

航続可能距離を延ばす運転 13

後退灯 243

電球（バルブ）容量 254

故障したときの対処方法 218

ゴルフバッグの収納 180

コンソールボックス 183

サ

サービスデータ（車両仕様） 254

サイドミラー（ドアミラー） 78

サンバイザー 186

シ

シート 72

後席シートの調節 72

前席シートの調節 70

シートベルト 114

シートベルト警告灯 75

シートベルトの注意事項 73

シートベルトのつけかた 73

事故がおきたときは 12

始動しない 197

始動のしかた 87

シフトポジション警告 126

ジャッキアップ 221

車幅灯

電球（バルブ）交換	240
電球（バルブ）容量	254
車両仕様（サービスデータ）	254
車両状態記録機能	256
車両情報ディスプレイ	107
車両情報ディスプレイの見かた	121
ドライブインジケーター	121
ドライブコンピューター	128
車両接近通報装置	98
ジャンプスタートのしかた	198
充電インジケーター	36
充電ができない	202
充電がなくなったときは	201
充電ケーブル	35
充電ケーブル格納バッグ	181
充電コネクタ取り外し警告	125
充電に関する注意事項	27
充電方法	22
急速充電	23, 45
タイマー充電	22, 41
普通充電	22, 38
充電ポート	29
充電量の確認	24
12 V系充電警告	127
12 V系充電警告灯	112
出力制限警告	126
出力制限表示灯	116

ス

スイッチの操作	168
ステアリングヒータースイッチ	175
ヒーターシートスイッチ	176
ライトスイッチ	168
ワイパー・ウォッシャースイッチ	172
ステアリング（ハンドル）	76
ステアリングヒータースイッチ	175
スピードメーター（速度計）	102
スマートランプ	
電球（バルブ）交換	240
電球（バルブ）容量	254

セ

制動灯	
電球（バルブ）交換	245
電球（バルブ）容量	254
セキュリティーアンジケーター	120
セレクトレバー（ナビゲーションシステム付車）	82
セレクトレバー（ナビゲーションシステム無車）	84
洗車のしかた	246
前照灯（ヘッドラムプ）	254
前席シートの調節	70
センターコンソールボックス	183
前部霧灯（フォグランプ）	254

ソ

走行	89
走行可能状態	87
走行可能表示灯	120
走行時間アラーム	124
即充電のしかた	38

タ

タイマーエアコン	162
タイマー充電	
ナビゲーションシステム付車	41
ナビゲーションシステム無車	43
タイヤ	
アルミロードホイールのお手入れ	249
空気圧	254
空気圧の点検	229
タイヤチェーンについて	232
タイヤの位置交換（ローテーション）	231
タイヤの点検項目	229
タイヤパンク応急修理キット	190
タイヤ・ホイールサイズ	254
タイヤ・ホイールを交換するとき	230
正しい運転姿勢について	69

チ

チャイルドシート	62
チャイルドシート適合表	64
チャイルドセーフティドアロック	144

テ

テールランプ

電球（バルブ）交換	245
電球（バルブ）容量	254
テールランプ表示灯	119
デフロスター・スイッチ	212
電気自動車が事故にあったときの注意事項	12
電気自動車ってどんな車？	10
電気自動車の取り扱いに関する注意事項	11
電球（バルブ）交換	237
電球（バルブ）容量	254
電欠したときは	201
点検・整備について	220
電源ソケット	187
点検値／交換油脂類	252
電制シフト警告A	125
電制シフト警告B	125
電制シフト警告灯	116
電池交換のしかた	140
電動パワーステアリング警告灯	115

ト

ドア	141
ドアが開かない	196
ドア開き警告	123
ドアミラースイッチ	78
ドアロックスイッチ	143
ドアを室内から開けられないとき （チャイルドセーフティードアロック）	144
凍結注意アラーム	124

盗難防止装置（イモビライザー）

時計	102
トノカバー	179
ドライブインジケーター	121
ドライブコンピューター	128
トラブルがおきたときは	189
動かないとき	214
各種警告機能について	206
曇りが取れない	212
故障したとき	217
始動しない	197
充電ができない	202
タイヤのパンク	190
ドアが開かない	196
バッテリー残量がなくなったとき	201
トリップメーター	108

ナ

内装のお手入れ	250
ナビゲーションシステム	別冊
ナビゲーションシステムのサポート機能	16
ナンバー灯	
電球（バルブ）交換	244
電球（バルブ）容量	254

ハ

パーキングブレーキ	86
パーキングブレーキ解除警告	126
パーキングブレーキ操作警告	127
ハザードスイッチ	7

発炎筒の使いかた

バックドアの開閉	146
バックミラー（ルームミラー）	77
発進	87
バッテリーがあがったときは	198
バッテリー残量がなくなったとき	201
バッテリー残量警告灯	115
バッテリーを長持ちさせるには	14
バニティミラー	186
バルブ（電球）交換	237
バルブ（電球）容量	254
パワーウィンドー	148
パワーウィンドーが正常に作動しないとき	149
パワースイッチ	80
パワーメーター	103
パンク	190

番号灯

電球（バルブ）交換	244
電球（バルブ）容量	254
ハンドル	76

ヒ

ヒーターシート	176
ヒーターシートスイッチ	176
非常点滅表示灯	
電球（バルブ）交換	241
電球（バルブ）容量	254
非常点滅表示灯スイッチ	7
尾灯	
電球（バルブ）交換	245
電球（バルブ）容量	254

ヒューズ	234
表示灯	118
ヒルスタートアシスト	97

F

VDC	95
VDC OFF 表示灯	120
VDC 警告灯	114
フードの開閉	223
フォグランプ	
電球（バルブ）交換	245
電球（バルブ）容量	254
フォグランプスイッチ	171
フォグランプ表示灯	119
ブザー（警報音）が鳴ったときは	210
普通充電	22, 38
プラグイン表示	124
プラグイン表示灯	120
ブレーキ警告灯（赤色）	113
ブレーキ警告灯（黄色）	114
フロアカーペット	188

H

ヘッドライト	
電球（バルブ）交換	238
電球（バルブ）容量	254
ヘッドライト上向き表示灯	119
ヘッドライト警告灯	116
ヘッドライトブレーカースイッチ	170

ホ

ホイールサイズ	254
方向指示器	
電球（バルブ）交換	241
電球（バルブ）容量	254
方向指示表示灯	119
ホーン	76
ポジションインジケーター	127
ポジションランプ	
電球（バルブ）交換	240
電球（バルブ）容量	254
ボトルホルダー	184
ポンネット（フード）	223

マ

マスター ウォーニング	117
マップランプ	177

ミ

ミラー	
ドアミラースイッチ	78
パニティミラー	186
ルームミラー	77

メ

メーターの見かた	
アップメーター	101
ロアメーター	103
メンテナンスデータ（サービスデータ）	252

モ

モーター	10
モータールーム	223

ス

雪道やぬかるみからの脱出のしかた	214
------------------	-----

ラ

ライトスイッチ	168
ランプが点灯しないとき（バルブの交換）	237
ランプ消し忘れ警告	124
ランプ（室内照明）	
マップランプ	177
ルームランプ	178

リ

リニアデフォッガースイッチ	213
リクエストスイッチ	141
リチウムイオンバッテリー	10
リチウムイオンバッテリー温度計	110
リチウムイオンバッテリー残量計	104
リチウムイオンバッテリー残量警告	126
リチウムイオンバッテリー容量計	105

リヤコンビランプ	233
電球（バルブ）交換	245
電球（バルブ）容量	254
ワイヤーの交換	248
ワックスをかけるとき	248

ル

ルームミラー	77
ルームランプ	178

レ

冷却水	252
-----	-----

□

アメーター	103
イルミネーションコントロール	109
オドメーター（積算距離計）	108
航続可能距離表示	106
車両情報ディスプレイ	107
トリップメーター	108
パワーメーター	103
リチウムイオンバッテリー温度計	110
リチウムイオンバッテリー残量計	104
リチウムイオンバッテリー容量計	105

ロードホイール

お手入れ	249
交換	230
サイズ	254
ロングライフモード	25

フ

ワイヤー・ウォッシャースイッチ	172
-----------------	-----

MEMO

MEMO